

第九十回帝國議會
衆議院

自作農創設特別措置法案外一件委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案
自作農創設特別措置法案(政府提出)
農地調整法の一部を改正する法律案
(政府提出)

昭和二十一年九月二十六日(木曜日)午前十時三十分開議

出席委員

委員長 葉梨新五郎君

理事 小川原政信君 理事 上林山榮吉君

理事 飯島 祐之君 理事 山口光一郎君

理事 細野三千雄君 理事 富吉 榮二君

理事 藤本 虎喜君 理事 井出一太郎君

理事 菊池 聖君

磯崎 貞序君 古賀 太郎君

田邊 讓君 森田 豐壽君

杉田 一郎君 松浦 賢君

青木清左門君 江川 爲信君

小笹 耕作君 太田秋之助君

寺島隆太郎君 吉澤仁太郎君

井伊 誠一君 大澤喜代一君

高倉 輝君 松澤 一君

堂森 芳夫君 平野市太郎君

麻生 正藏君 橋本 二郎君

松本六太郎君 増井慶太郎君

北 政清君 山本 武夫君

九月二十六日委員白木一平君、佐伯忠義君及比玉井潤次君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松岡運君、荒木武行君及比松澤一君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

農林大臣 和田 博雄君

出席政府委員

北海通商局長 増田甲子七君

農林事務官 山添 利作君
農林事務官 笹山茂太郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案
自作農創設特別措置法案(政府提出)

○葉梨委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前會ニ引續キ遂條審議ヲ續行致シマス、昨日ハ第三條ノ審議ヲ行ツタノデアリマスガ、第三條ノ審議中、第五頁ノ一行目、「法人其の他の團體の所有する小作地」ト云フ點ニ至リマシテ、北政清君カラ此ノ反對ノ理由、即チ法人其の他の團體ガ借地シテ居ル場合ニ對スル政府ノ見解ヲ求メ、政府ハ此ノ見解ヲ協議ノ後答辯スルト云フコトニナツテ散會シテアルノデアリマスガ、コ、カラ進メタイト思ヒマス、政府ハ昨日保留ニナツテ居リマスル、法人其の他の團體ガ賃借シテ居ル、詰リ借地シテ居ル場合ニ對スル解釋ガ一致シマシタナラバ、此ノ際答辯ヲ致シテ戴キマス——答辯ガナケレバ尙ホ之ヲ保留スルモノト致シマス、第三條ニマダゴザイマス

モ田畑並ミデアリマスカラ、此ノ際政府ハ農家ノ宅地ヲ農地トシテ買收シテ、小作農民ニ拂下ゲル意思アリヤ、此ノ點ヲ御尋ね致シタイト思ヒマス
○和田國務大臣 宅地ハ、是ハ通常買收スルト云フコトハ、既農地ニ付テハ考ヘテ居リマセマスガ、未農地ニ付テハシテハ、ヤハリサウ云フ必要ガアルト思ヒマスノデ、農業經營ヲヤル上ニ必要ナト云フ意味デ、サウ云ツタモノモ同時ニ買收スルト云フコトハ考ヘテ居リマス

ニ買上ゲ得ルコトニシナケレバ實際上ニ於テ困ルト思ヒマス、何トカハ一ツ今ノヤウ御考ヘラ考ヘ直シテ戴キタイ、殊ニ農家デハ穀物ノ乾シ場、納屋等、非常ニ廣イ面積ヲ持ツテ居ル、之ヲ地主ノ側ニ置イタノデハ本當ノ樂シミヲナクシテシマフ
○和田國務大臣 多少私モ考ヘ違ヒラシテ居リマシテ失禮シマシタ、是ハ先ノ方ヘ行クト出テ來ルノデアリマシテ、第十五條ニ其ノ規定ガアリマス、此ノ買收スル農地ニ付テ自作農トナルベキ者ガ同ジ地主カラ宅地ヲ借りテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、是ハヤハリ宅地モ買フコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス

村ノ區域「ト云フモノニ付テ、全部括弧内ニアル所ノ意味ガ使ハレルノデアリマス」カ
○和田國務大臣 是ハ法文全部デアリマス
○井伊委員 序デアリマスガ、此ノ自作農創設ノ特別措置法ト併セマシテ、農地調整法モ出テ居ルノデアリマスガ、ソチヲ方ニモ覽ハ市町村ノ區域ト云フコトガ問題ニナリサウナ危險ガアル、固ヨリ此ノ法文ダケ使ハレテ居ルコトデアリマスケレドモ、同時ニ之ヲ施行スル、詰リ市町村農地委員會ノ選舉ト云フヤウナ所ヘ來マスト、又其ノ文字ガ使ハレマスノデ、サウスルト區域ガ違ツテ來ルト云フヤウナ誤解ガ生ジ易イノデアリマス、此ノ點ハドウデゴザイマセウカ、農地委員會ノ方ニ使ハレテ居ルヤウナハ全然關係ナシデゴザイマス

○平野(市)委員 小作人ノ宅地デアリマスガ、農家ノ宅地ハ都市ノ宅地トハ趣キヲ異ニ致シマシテ、五段百姓ト雖モ少クトモ五畝歩或ハ七畝歩ノ宅地ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ御承知ノ納屋或ハ堆肥舎、牛舎又年ニ二回麥ヤ穀ヲ乾燥シナケレバナラナイ廣イ表ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、全ク農家ノ宅地ハ脱穀調製工場デアリ、農地デアリマス、斯ウ云フ點カラ見マスナラバ、都市ノ宅地トハ全然趣キヲ異ニシテ居ルノデアリマシテ、賃貸價格

○平野(市)委員 農家ノ宅地ハ全ク農地ト同ジモノデアリマシテ、之ヲ所有シテ居ル地主モ、宅地トシテ税金ハ納メテ居ナイノデアリマシテ、大抵賃貸價格モ田畑並ミデ拂ツテ居ルノデアリマス、是ガ宅地トシテ殘サレル場合ニハ、地主ハ當然宅地地主トナツテ殘ルノデアリマシテ、平均一町歩ト本案ニハ出テ居リマスガ、耕地段別ノ少イ縣ニ於キマシテハ、殘サレル地主ノ保有面積ハ五、六段シカ殘ラヌノデアリマス、幸ヒニシテ地主ノ中宅地ヲ多ク持ツテ居ル地主ハ二町デモ三町デモ殘サレルコトニナルノデアリマスカラ、是非此ノ際農家ノ宅地ハ農地ト看做シテ買收シテ戴キタイノデアリマス

○井伊委員 第三條ノ第一項ノ一號、二號、三號ノ買取地ヲ決メル前ニ、市町村ノ農地委員會ヤ、都道府縣ノ農地委員會ガ先ニ出來テ居ナケレバナラヌ關係ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ今度改訂ニナリマシタ新シイ組織ニ依ル農地委員會ニ依ツテヤル御考ヘナノデアリマセウカ、或ハ現在ノ組織ニ於テヤルノデアリマス

○井伊委員 市町村農地委員會ハ隣接市町村ノ區域内ニアル當該地主ノ所有ヲ自己ノ市町村ノ區域ニ準ズルモノト指定スル、斯ウ云フノデアリマスガ、此ノ準ズルモノトスルト云フノハ、ドウ云フ所マデヲ意味スルモノデゴザイマス、又サウ云フ風ニスルコトハ、ドウ云フ利益ガアルノデアリマス、其ノ點ヲ明カニシテ戴キタイ

○和田國務大臣 結局準ズルモノト云ヒマスノハ、色々ナ點カラ見テ當該住所ノアリマス市町村ノ區域ト同ジ區域ト見ラレモノ、斯ウ云フ譯デゴザイマス、例ヘバ部落ト部落トクツ付イテ居ツテ、經濟的ニモ其ノ他ノ點カラモ同ジ區域ト見ル方ガ、之ヲワザ、別ノ物トシテ見ルヨリモ、社會的ナ關係カラ言ツテ適當ダ、斯ウ云フヤウナコトデアリマシテ、ソレデ準ズルモノト云フ言葉ヲ使ツタ譯デアリマス

アリマス

○井伊委員 モウ二點バカリ、隣接市町村ガ偶々他ノ道府縣ト云フヤウナ場合ニ、其ノ市町村農地委員會ノ承認ヲ仰ベキ府縣ノ農地委員會ト云フノハ何處ニナルノデアリマスカ

起ル、スルトソレハ土地ノ交換分合ニ依ツテ各小作人ガ土地所有ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ルヤウニスルト云フ御答辯デアリガ、サウ云フ風ニ土地ノ交換分合ト云フモノガ簡單ニ出來ルモノカドウカ、私ハ恐ラク出來ナイト思フ、此ノ點ニ付テ御見込ヲ伺ヒタイト思ヒマス

用水ガ掛ルトカ、掛ラヌトカ、地味ガ良イトカ惡イトカ、草ガ生エルトカ生エナイトカ、色々ノ實情ニ於テ非常ニ難カシイ、サウシテ見ルト、私ハ一町歩殘スト云フ問題ハ恐ラク却テ邪魔ニナルト思フ、寧ロ一町歩殘サナイカ、殘スナラバモウ少シ範圍ヲ廣クスルカ、二ツニ一ツノ問題デ、非常ニ難カシイソレカラ宅地又ハ農場トスル目的ヲ以テ交換分合ヲ、既ニ事實ニ於テ進行中ノモノガアル、是モ自作農トシテ一應交換分合シテ一ツ所ヘ集團的ニ集メタモノヲ、更ニ細分シナケレバナラナイ性質ノモノカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

ヒマスガ、是ハ現狀主義デ押ヘテ行ク譯デアリマスルカラ、將來サウ云フ計畫デアルト云ヒマシテモ、ソレヲ其ノ儘認メテ行クト云フ主義ハ執ツテ居リマセヌ

○青木(清)委員 勿論ソレハ小作人トノ間ニ諒解ガ成立ツテ居ルコトヲ言フノデアリマシテ、唯ソレヲ一般的ニサウ云フコトガ出來ナイ、サウ云フコトニナルト、ソコニ色々ナル紛争ガ起キル、一應小作人トノ間ニ諒解ガ成立ツテ居ツテモ、人間ハ慾ガ出テ來ルカラ、ソコデ色々ナ問題ガ起ルト思フ、ダカラ斯ウ云フ計畫ガ進行中ノモノハ、前ニ家ノ所デモ私ハ申シマシタヤウニ、分家スルト云フヤウナコトモ、モウ既ニ戸籍上分家シテシマツテ、唯家ダケ建テラレナイ狀態ニアリ、又其ノ分家ノ子供モ耕作ヲ開始シテ居ルト云フヤウナモノマデ一律的ニソレハイカヌノダ、此ノ法則何處マデモ法ノ解釋ヲ以テ當嵌メルト云フコトニナルト、私ハソコデ色々ノ紛争ガ起ルト思フ

モウ一ツ茲デ御聽キシタイノハ、自作農ト小作者トノ間ニ協同經營ヲヤツテ居ル土地ガアル、スルトハ要スルニ、協同經營ヲヤツテ居ル五人ナラ五人、六人ナラ六人ノ共有地トシテ賣買スル、登記ヲスルノデアリガ、是ハドウ云フ取扱ヲナサルノデアリカ、分リマセヌカ——ソレハ自作農ノ甲、乙、丙、丁、此ノ四人ナラ四人ノ者ガ協同シテ土地ヲ經營シテ居ル、サウスルト、ソレガ地主ノ規定外ニアル、又規定内デアツテモ、地主獨自ノ自作地トハ認メラレナイ、協同經營地デアリ、ダカラ之ヲ小作人ニ賣渡サナケレバイヤカヌ、賣渡ス場合ニ於テ一旦政府デ買

テゴリ——ノ中ニ入ル、斯ウ云フ譯デアリマス

○井伊委員 其ノ府縣ト申シマス、結局地主ノ住所地ヲ基準トシマスカ

○山添政府委員 成程交換分合ヲ致スノニハ、ソレニ相當シタ土地デナケレバナラス、又ソレノ爲ノ差金デアルトカ、色々ノ條件ヲ考ヘナケレバナラヌ、出來ナイト御見込ニナルノハ、サウ云フ意見モゴザイマセウケレドモ、是ハ從來ト雖モ交換分合ト云フノハ別ノ意味ニ於テ色々獎勵シテ居ル關係モアリ、又相當農村デモヤツテ居ル事例モアルノデアリマス、今回ハサウ云フ經驗ニ基キ、同時ニ又法律ニ依ツテ強制シ得ル所ノ規定モ認メテ居ルノデアリマスカラ、ナン得ル限リサウ云フコトヲ遂行シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○山添政府委員 是ハ區域デアリマシテ、例ヘバ其ノ隣ノ字ト云フヤウナ風ニヤル譯デス

○井伊委員 概括スルノデスカ——分リマシタ、尙ホ此ノ地主住所地タル市町村ノ方ニハ實際ニハ所有地ガナクテ、隣接ノ市町村ノ方ニダケ所有地ガアルト云フ場合ニ、ヤハリ農地委員會ハ此ノ指定ヲ行フデアリマスカ

○山添政府委員 是ハ或ル一人々々ノ地主ノ爲ニ斯ウ云フ地區ヲ指定スルト云フコトデナクテ、先程大臣カラ御答ヘガアリマシタヤウニ、準ズルモノトシテ指定スルニハ、結局何カト云フト、其ノ市町村農地委員會ガ指定スル場合ニ於ケル基準ナラデス、隨テサウ云フコトハ指定ノ問題トシテハ直接ニ關係ガナイ譯デアリマセドモ、指定サレタ場合ニ於テ、サウ云フコトガゴザイマスレバ、ソレハ在村地主ノ「カテゴリ」ノ中ニ入ル、斯ウ云フ譯デアリマス

○井伊委員 其ノ府縣ト申シマス、結局地主ノ住所地ヲ基準トシマスカ

○山添政府委員 成程交換分合ヲ致スノニハ、ソレニ相當シタ土地デナケレバナラス、又ソレノ爲ノ差金デアルトカ、色々ノ條件ヲ考ヘナケレバナラヌ、出來ナイト御見込ニナルノハ、サウ云フ意見モゴザイマセウケレドモ、是ハ從來ト雖モ交換分合ト云フノハ別ノ意味ニ於テ色々獎勵シテ居ル關係モアリ、又相當農村デモヤツテ居ル事例モアルノデアリマス、今回ハサウ云フ經驗ニ基キ、同時ニ又法律ニ依ツテ強制シ得ル所ノ規定モ認メテ居ルノデアリマスカラ、ナン得ル限リサウ云フコトヲ遂行シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○山添政府委員 是ハ附則ノ第二項ニ書イテゴザイマシテ、法律的ニ見マス所ノ原則ニ依リマシテ、買收計畫ヲ立テル所ノ時期ニ依リマシテゴザイマスガ、昭和二十年十一月二十三日現在ニ於テ適用スル方ガ適當デアルト云フ時ニハ其ノ狀況ニ依ルト云フコトニ致シテ居リマス

○青木(清)委員 一町歩殘シタコトニ依ツテ斯ウ云フ問題ガ起ルト思フ、例ヘバ是ハ實際自分ノ大字ノコトヲ言ツテモ宜イガ、自分ノ部落ニ於テ農地ヲ解放スル者ハ結局私ダケデアリ、アトノ地主ハ全部解放シナイデモ宜イ、隨テ小作人ハ私ノ小作人デナケレバ土地ノ所有者ニナレナイ、斯ウ云フ問題ガ

○山添政府委員 是ハ宅地ノ問題ノミニ限リマセヌ、農場トスル計畫ヲ以テ地主ガ集團的ニ其處ニ集メテ、今計畫ガ進行中デアルト云フモノ、之ヲ分散サセルモノデアルカドウカ、之ニ對スル御答辯ヲ承リタイ

○山添政府委員 恐ラクソレハ其ノ土地ニ小作人デモソレノ付イテ居ルノダラウト思ヒマスガ、果シテソレガ直グ返還ニナルヤウナ話ニナツテ居ルカドウカ、其ノ點モ大分問題ニナルト思

○青木(清)委員 勿論ソレハ小作人トノ間ニ諒解ガ成立ツテ居ルコトヲ言フノデアリマシテ、唯ソレヲ一般的ニサウ云フコトガ出來ナイ、サウ云フコトニナルト、ソコニ色々ナル紛争ガ起キル、一應小作人トノ間ニ諒解ガ成立ツテ居ツテモ、人間ハ慾ガ出テ來ルカラ、ソコデ色々ナ問題ガ起ルト思フ、ダカラ斯ウ云フ計畫ガ進行中ノモノハ、前ニ家ノ所デモ私ハ申シマシタヤウニ、分家スルト云フヤウナコトモ、モウ既ニ戸籍上分家シテシマツテ、唯家ダケ建テラレナイ狀態ニアリ、又其ノ分家ノ子供モ耕作ヲ開始シテ居ルト云フヤウナモノマデ一律的ニソレハイカヌノダ、此ノ法則何處マデモ法ノ解釋ヲ以テ當嵌メルト云フコトニナルト、私ハソコデ色々ノ紛争ガ起ルト思フ

モウ一ツ茲デ御聽キシタイノハ、自作農ト小作者トノ間ニ協同經營ヲヤツテ居ル土地ガアル、スルトハ要スルニ、協同經營ヲヤツテ居ル五人ナラ五人、六人ナラ六人ノ共有地トシテ賣買スル、登記ヲスルノデアリガ、是ハドウ云フ取扱ヲナサルノデアリカ、分リマセヌカ——ソレハ自作農ノ甲、乙、丙、丁、此ノ四人ナラ四人ノ者ガ協同シテ土地ヲ經營シテ居ル、サウスルト、ソレガ地主ノ規定外ニアル、又規定内デアツテモ、地主獨自ノ自作地トハ認メラレナイ、協同經營地デアリ、ダカラ之ヲ小作人ニ賣渡サナケレバイヤカヌ、賣渡ス場合ニ於テ一旦政府デ買

上デテシマツテ、一人ノ小作人ニ渡ストカ、或ハ三人、四人ノ小作人ニ分割シテ渡スト云フヤウナコトニナレバ現狀ト變ラナイノデアルカラ、寧ろ是ハ何々外何名ノ名義デ之ヲ賣渡ス方ガ宜イト思フノデアルガ、其ノ實際上ノ取扱ヲ聽キタイト思フノデス

○山添政府委員 此ノ協同經營ノ問題ニ付テハ、此ノ法律デ——法律ト云フトカシイノデスガ、今マデノ實際ニ於キマシテハ、斯ウ云フヤウナ法律ヲ免レル爲ニ協同經營ト云フヤウナ形ヲ執ル場合ガ事實トシテ多イモノデアリマスカラ、隨テサウ云フ脱法的ナコトヲ防グ爲ニ、協同經營ニ類スルヤウナモノハ原則トシテハ一應政府ニ於テ賣ヒ得ルコトニナツテ居ル譯デアリマス、併シナガラ其ノ内容ニ於キマシテ、是ハサウ云フコトデナイト云フコトデアレバ、サウ云フ形モアリ得ルコト考ヘルノデアリマス、併シ御話ノヤウナ場合ノヤウシ、大體協同經營ト云フヤウナ形デアリマシテモ、其ノ内容ガ小作デアル、若シハ實質的ニ小作ニ近イト云フモノハ、是ハ此ノ法律ニ依リマシテ自作農ニシテ行ク譯デアリマス

○青木(清)委員 サウスルト、サウ云フヤウナ實際ノ取扱ハ、成程此ノ委員會ニ於テハ御答辯ガアルカラ分ルノデアルガ、實際ノ時ニナルト、ヤハリ通課カ何カ出シニナリマス、昨日カラモ法ノ解釋ニ付テ色々ノ問題ガアルノデアルガ、サウ云フ問題ハ唯此處デ解釋アルダケデナシニ、恐ラク後カラニナツテ、通課カ何等カノ形ヲ以テ下級官廳ノ方ヘ御徹底ニナルノダト私ハ思フ、所ガソレガ往々ニシテ、議會ノ審議ノ狀況ト實際ソレヲ取扱フ時トデハ色々ノ問題ガ起ル、問題ガ起ルノ

ガウルサイ爲ニ、實際ト違ツタ方向ニ斯ウ云フ通課ヲ出サレル場合ガ往々ニシテアル、私ハ斯ウ云フ問題ハ、此ノ點ヲハツキリシテ、通課ヲ出スナラ出スデ、其ノ案文ヲ此ノ際明示シテ戴キタイ、斯ウ思フ

ソレカラモウ一ツ、私一番初メニ此ノ間御聽キシタ中デ、農村ノ生活水準ヲ高メル上ニ於テノ凡ユル施設、勿論ソレハ廣汎デアアルガ、其ノ廣汎ナ全貌ヲ委員會ノ進行ト脱ミ合セテ御發表ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲタガ、マダ御發表ガナイノデアリマス、是ハ重大ナ事項デアルト思ヒマス、アルカラ、內務省ガ國土計畫ヲ發表シテ居ルガ如ク、農林省ハ農民ノ生活水準ヲ高メル上ニ於テノ諸施設ニ付テノ全貌ヲ此ノ際ハツキリ御發表ニナツテハ如何カト思ヒマスガ、ドウデアリマス

○和田國務大臣 是ハ今後ノ色々ナ施設ガアル譯デアリマス、此ノ委員會ニ於テ私ガ色々御答辯致シタコトヲ以テ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ解釋ノ點ニ付キマシテハ、是ハ勿論此ノ委員會其ノ他ニ於キマスル審議ヲ十分ニ願ツテ居ル譯デアリマス、是ガ方々端ニ行キマスニ付キマシテハ、ドウモ是ハ通課デ解釋其ノ他ニ付テハハツキリト出スコトハ勿論ヤル積リデ居リマス、唯一片ノ通課ヲ出シマシテモ、中々問題ハ納マラナイノデ、其ノ時々ニヤハリ具體的ナ事例ガ起ツテ來ル譯デアリマス、サウ云フ時ニハヤハリ中央カラ、或ハ上カラ答ヲ出ストカ、十分ニ解釋其ノ他ニ付テ審議ノナイヤウニ、又越官ガ徹底スルヤウニ致スコトハ、是ハ勿論ヤリマス

○青木(清)委員 是ハ學問ノ問題デス

ガ、第三條ノ第一項ノ、前ニドナタカ申サレテ居タガ、その隣接市町村の區域内地域で市町村農地委員會が、斯ウナツテ居リマス、其ノ市町村農地委員會ガ地主ノ住所ノアル市町村デアルト云フコトガ分ラナイカラ、之ヲハツキリスル爲ニ、「その」トカ何トカ特別ナ字句ヲ入レナクテハナラヌト思フガ、入レナクテモ是デハハツキリ致シマス、唯市町村農地委員會ト云フコトニナルト、ドウツチノ市町村農地委員會カ分ラナイコトニナリマセヌカ、ハツキリシテ居リマス

○山添政府委員 御答ヘ致シマス、是ハ分ルカ分ラナイカト言ハレマシテモ、主觀的ナ問題デアリマスケレドモ、私共ノ積リ致シマシテハ、「市町村の區域」デ括弧致シマシテ、其ノ下ニ「その隣接市町村の區域内地域」トアリマシテ「住所のある市町村の區域」ト云フコトガアリ、其ノ下ニ「市町村農地委員會」トカ、其ノ上ニ「その隣接市町村の區域内地域」ト云フヤウニ「アリス」ノデ、大體住所主義デ行クコトガ分ルト思ヒマス

○葉梨委員長 北君

○北(政)委員 丁度局長方居ラレマス、御伺ヒ致シマス、私此ノ間カラ四町歩及ビ十二町歩ノ問題ニ付キマシテ、何トカナラスカト思ツテ色々注意シテ、考ヘテ居ルノデスガ、ドウモ、五町歩以上ノ所ガ大部分デアリマス、中々容易デナイト思フノデアリマス、其ノ面積ガ非常ニ多イ、又屯田兵村ハ一町三段三畝十歩トシ、追給地ハ三町六段二畝二十歩、斯ウ云フ分レ方ニナツテ居リマス、此ノ兩方ヲ見マス、ヤリ繰リガシニクイ、斯ウ考ヘマスノデ、元來此ノ五町歩ト云フコトデ

決メマシタノハ、「アメリカ」ノ「ケブロン」氏トカ「クラーク」氏其ノ他ニ指導ヲサレテ此ノ計畫ニナツタノデ、農林省カラ能ク御話シ下サレバ、「マツカ」サ「司令部」ハ能ク分ラヌト思フ、寧ろ五町歩デナケレバナラヌト言ツテ呉レララウト考ヘルノデアリマス、ソコデ單ニ各府縣ノ一町歩ヲ四町歩ニスルトカ、内地ノ方ハ三町歩デカ十二町歩ニスルトカ、斯ウ云フヤウニ機械的ニ出タカノ如キ感ジヲ持ツテハナラヌノデアリマシテ、北海道長官モ是デヤラレル御確信ガアルカドウカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、又農林大臣モ更ニ一ツ「マツカイ」司令部ト御交渉ニナル考ヘガナイカドウカ、之ヲ一ツ御伺ヒシタイ

○和田國務大臣 是ハ北海道ノ内部デ區域ヲ分ケテ、平均四町歩ニナリマスヤウニ、出來ルダケ私共ハヤツテ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマス

○増田政府委員 北海道ハ御説ノヤウニ、内地ト狀況ガ大分違ヒマシテ、謂ハバ此ノ頃流行シテ居ルヤウナ國土計畫ト云フヤウナモノモ風ニ施行サレタ結果、所謂地割ト云フモノガ出來テ、隨ヒマシテ五町歩單位デ農地ヲ經營スルヤウニ既ニ出來上ツテ居リマシテ、之ニ對スル農道トカ或ハ防風林ト云フヤウナモノモ、五町歩單位ニ地割サレ、ソレニ平仄ガ合フヤウニ出來上ツテ居ルト云フノガ御説ノヤウニ大部分ノ狀況デアル、斯ウ存ジテ居リマス、唯統計的ニ、現在ドノ位ノ割合デアアルカト云フヤウナコトハ、此ノ際資料ヲ持チマセヌガ、相當ノ部分ガサウ云フ風ニ地割サレテ居ル、又五町歩單位デ農地ガ經營サレテ居ルト云フノガ實情ニゴザイマス、政府ニ於キマシテハ、

北海道内地トノ土地ノ生産力ト云フヤウナ關係ヲ專ラ勘案サレマシテ、一町歩ニ對スル四町歩ト云フヤウニ御決定ニナツテ此ノ案ガ出來タヤウニナツテ居リマス、一面北海道ハ特殊事情ガアリマシテ、四町歩ヲ單位トシテ彼此レソコノ所ヲ勘案シ合ツテ、サウシテ平均四町歩ニナルト云フヤウナ御説モゴザイマス、長官ト致シマシテハ、ヤハリ地割ノ關係、將來ノ交換分合ト云フヤウナ關係ガ相當困難ヲ極メルト云フコトモ豫想サレマス、アルカラ、相成ルベクハ五町歩單位ト云フコトニ相成ルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ、私長官ト致シマシテハ希望ヲ持ツテ居ル次第デゴザイマス

○北(政)委員 長官ノ御希望ハサウデス、今ノ農林大臣モ成ベクト云フ御言葉デアリマス、カ——是ハ實際上出來スト困ルト云フ點ヲ持チマス、一ツ是非御交渉願ヒタイト思フノデアリマス

更ニ私ハ過般モ御伺ヒシマシタヤウニ、北海道ハドウシテモ有農業デナクレバナラヌ、牧草地ヲ農耕地ニ變ニ入レマスナラバ、有農業ノ根本的破壊ニナルノデアリマス、是ハ此ノ間ノヤウニ耕種肥培ヲシテ居ル所ハ畑地ト見ル、サウデナイト所ハト云フヤウニナルト、ミナ牧草地ハ手入レセヌコトニナル譯デアリマス、北海道ハ牧草地デハ農耕地ト認メナイ、詰リ採草地ト認メル、採草地ト認メルト云フコトハ、肥料ヲヤツテハ惡イト云フコトデハナイ、是非トモサウ御解釋ヲ願ヒ、我々ニサウ解釋サセテ戴キタイト思フノデアリマス、其ノ點大臣カラモウ一度御意見ヲ拜聴致シタイノデアリマス

○和田國務大臣 前ノ御質問ニモ一寸私御答ヘシタイノデスガ、北海道ノ統計ヲ見マス、五町歩以下ノ農家相當アルノデス、斯ウ云フモノハ全部區域ガ五町歩ニ限ラレテ農場ヲ經營シテ居ルト云フコトハ言ヘナイト思ヒマ、五町歩以下ノ農地ノ農家ガ多ク、五町歩以上十町歩マデノ農家ハ少イノデアリマス、ソコデ私ハ四町歩ト云フモノモ、北海道ノ内部デ按配致シマスレバ、平均四町歩トナツテ、十分目的ガ達セラレルノデアリカト考ヘラレマスノデ、四町歩説ヲ固執致シテ居ル譯デアリマス

ソレカラ只今ノ牧草地ノ點デアリマスガ、是ハハヤリ肥培管理ヲヤツテ居ル所ハ農地ト法律ノ建前カラハ認メザルヲ得ナイト思フノデアリマス、ドウモ法律上ハ、農地ト云フコトニナツテ居リマスノデ、其ノ點ハ致シ方ナイト私共トシテハ考ヘテ居リマス

○農製委員長 ソレデハ此ノ際昨日保留ニナツテ居リマス北海道長官ニ對スル質疑ニ付テ小川原君ノ發言ヲ許可致シマス——小川原君

○小川原委員 昨日カラ續ケテ居ル質問ニ對シマシテ、今北君カラ質問ガアリマシテ、北海道長官並ニ農林大臣カラノ御答辯ガアリマシタガ、ドウモマダ私ニハシツクリ腑ニ落チヌノデ、更ニ附加ヘマシテ質問ラシタイト思フノデス、昨日私ノ質問ニ對シマシテ農林大臣ハ、二ツノ地區ニ分ケテヤレバ宜イデハナイカ、斯ウ云フコトガ一つ、ソレカラ只今北君ノ御尋ネニ對シマシテ、四町歩ノ農家ガ多イカラ、平均スレバ宜イデハナイカ、斯ウ云フコトヲ申サレタノデアリマス、ソレハ其ノ通りニモ見エマスケレドモ、是ハ

實際ヲ御知リニナラナイノデ、實際ヲ知ツタ北海道長官ニ出テ貰ハナケレバナラヌト云フノハソコナノデアリマ、サウ致シマス、根拠原野ノ開拓ニ於キマシテハ、少クとも三十町歩入レナケレバ根拠原野ノ一家ノ生活ト云フモノハ出來ナイト思ヒマス、是ハ北海道デヤツテ見マシテ大失敗ヲ致シマシタ、天北原野ニナリマスレバ四十町歩以上入レナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、今以テ草茫茫ト生エテ居ルノデアリマス、若シ之ヲ二ツニ割ツテ、徳川時代カラ開ケテ居ル所ノ面積カラ見ルト、成程四町歩ノ人間モ相當ゴザイマセウ、ナゼサウ云フコトガアルカト云フト、是ハ釧路場ヲ耕作シテ居リマスカラサウ云フ風ニ見エルノデアリマス、ケレドモ今日ノ如ク釧路ノ周期ガ變ツテ參リマシテ、又大漁ヲシテ居ルト云フ實情デアリマスカラ、釧路場ハ干場トシテ使フ條件ガ揃ツテ、是ハ農地デハナイノデアリマス、先程北君ガ言ハレマシタ一町歩ラドウ斯ウト云フコトハ、ソコナコトハ洵ニ少數デアリマス、マダソレハ御知リニナラナイノデス、私共何十年北海道ニ生活シテ、海岸ヲ廻ツテ、北海道ヲ踏破シテ見マシテ、實際問題トシテソコナコトデハトシテモナイ問題ガ起ルト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ考察ヲ致シマス、アナタノ仰シヤル通り、二ツニ割ツテ、南ノ海岸ノ方ハ今申シタヤウデアリマスカラ、是ハ四町歩トシテモ宜イカモ知レナイガ、若シ中央カラ北ノ方、東北ニ掛ケテ北海道ヲ割ツタナラバ、是ハ大變ナコトニナルノデアリマス、サウデアリマス、北海道ノ狀況ト云フモノハ根本カラ覆サレテシマフ、此ノ間モ私イ

タツラ口ノヤウナコトヲ言ヒマシタガ、實際農林省ニハ其ノ人ガナイト云フコトヲ申上ゲタノハ、ソレナノデアリマス、是ハ意見ニナリマスカラ私申上ゲマセヌガ、私ノ肚ニハドウシテモ落チヌノデアリマス、サウデアリマスカラ、是ハ別ノ方法デ私ハ考ヘヨウト思ツテ居リマシタガ、問題ガ出マシタカラ此處デ實際ヲ申上ゲテ、更ニ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌ、斯ウ思フノデアリマス、其ノ一點ヲ農林大臣ハ如何様ニ御考ヘニナリマスカ

○和田國務大臣 ドウモ私ハ、アナタハ經營地ト所有地ヲ混同サレテ居ルト思フ、現在五町歩ヲ自作シテ經營シテ居ルモノハ、何モソレヲ覆スト云フコトハ私少シモ考ヘテ居ナイノデアリマス、地主ガ、唯保有スル面積ハ、北海道ニ於テハ平均四町歩トスル、四町歩出テモ宜イ、北海道ハ平均四町歩デスカラ、都合ニ依ツテ北海道長官ガ地方ヲ二ツ以上ノ區域ニ分ケテ、此ノ地方ハ地主ガ保有シ得ル面積ハ二町歩デ宜イ云フナラバ二町歩、五町歩ヲ宜イト思フナラバ五町歩、サウ云フヤウニ分ケルコトガ出來ルノデ、併シ平均ハ北海道ハ四町歩、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、現在五町歩ニ區劃サレテ、實際五町歩トシテ經營サレテ居ルモノヲ、ワザ／＼四町歩ニ分ケテ、其ノ殘リノ一町歩ヲ他ノ小作者ニ賣渡シテ經營シヨウト云フノデアリナイノデアリマス、現在五町歩デ經營ガ許サレルノデアリマス、是ト地主ノ保有面積トハツキリ分ケテ御考ヘ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ統計ヲ見マスルト、アナタノ御意見ニ對シテ反撥スルヤウデ甚ダ恐レ入リマス

ガ、經營ノ方カラ見マシテモ五町歩未滿ノモノガ可ナリ多イノデアリマス、例ヘバ五段未滿ノモノヲ取ツテ見ルト三萬戸カラノモノガアリマス、五段カラ一町マデノモノガ一萬二千戸カラアル、一町カラ二町マデノモノガ一萬五千戸アル、二町歩カラ三町歩ノモノガ二萬戸アル、三町歩カラ五町歩マデノモノガ四萬戸アル譯デス、五町歩以上十町歩未滿ノモノガ四萬戸アル、十町歩以上ノモノガ一萬九千戸アルト云フヤウナコトデアリマスノデ、恐ラク是ハ北海道全部ヲ睨ミ合セマスレバ、保有面積トシテ平均四町歩ト致シマシテモ、私ハ十分ソコニ地方々々ノ事情ニ應ジタ保有面積ガ出テ來テ、平均ガ四町歩ニナリ得ル、斯ウ保有地ノ方カラ考ヘ得ルノデアリマスカラ、隨テ私ハ四町歩デモ構ハナイノデアリカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小川原委員 ソレデ北海道長官實際ノ問題トシテ宜シノデスカ、誰ガ何ト言ツテモ、アナタガヤルコトナノデスカラ、アナタハソレデ承認ガ出來マスカ、私モ勿論此ノ經營面積ト所有面積トハ區別シテ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハサウ考ヘナクテハナリマセヌ、此ノ法案ニ於テモサウナツテ居リマスカラ、アナタガ五町歩デナケレバナラヌト云フコトヲ仰シヤルノハ、北海道ノ實情ガ私ノ言フヤウナコトガアルカラ五町歩デナケレバナラヌト云フ理論ヲ御立テニナツタト思フノデアリマス、私ハドウシテモ五町歩デナケレバナラヌ、斯ウ考ヘルノデアリマス、是ハ意見ハ相違ダト云フコトニナレバ、モウ議論ニ入リマスカラ、是ハ質問ヲ致シマセヌ、一應北海道長官ノ答辯ヲ得タイ

○増田政府委員 先程ノ御答ヘノ中ニ私統計ノ資料ノ正確ナモノヲ持合セナイカラハツキリシタコトヲ申上ゲ兼ネルト云フコトヲ前提トシテ申上ゲマシタガ、農林大臣ノ御答ヘノ中ニ、統計ノ數字ガ現ハレテ居リマシタガ、實際ニ現地ヲ隅ナクト云フ程度デハゴザイマセヌガ、現地ノ大部分ヲ私巡視致シタ結果ノ觀察デゴザイマスガ、ヤハリ最初御答辯申上ゲマシタヤウニ、地割ガ五町歩ト上ツテ居リマシテ、之ニ對スル農道ノ道線ト云フモノガ實ニ立派ニ出來上ツテ居リマシテ、所謂地方計畫ト申シマスガ、國土計畫ト云フヤウナモノガ明治ノ初年ニケレバ、ソノ指導モアリ、是ハ北君ノ言ハレタ通りデアリマスガ、實ニ立派ニ出來上ツテ居リマス、ソコデ私共ノ觀察ト致シマシテハ、五町歩以上ノ農地ガ壓倒ノ多數デアルト云フ風ニハ觀察サレルノデゴザイマス、併シヤハリ科學ニ基イテ資料ト云フモノヲ現在持ツテ居リマセヌカラ、ハツキリシタコトハ申上ゲ兼ネルト云フコトハ、最初前提シタ通りデゴザイマスガ、地域ト致シマシテ、今小川原君ノ仰シヤツタ根拠原野ハ固ヨリ天北平原、ソレカラ網走地方、十勝地方、所謂地域的ニ見マシテ大部分デゴザイマス、ソレカラ面積カラ申シマシテモ殆ド大部分デアルト私ハ思ツテ居リマス、ソレカラ空知地方、上川地方等ハ何レモ私ハ五町歩以上ノモノガ多イト云フ觀察ノ結果ノ印象ヲ持ツテ居リマス、唯農林大臣モ仰シヤツタシ、小川原君モ仰シヤイマシタガ、道南地方ハ夙ニ開ケタ關係モアリ、他ニ行クモノハ稍少イノデアリカト云フ感ジヲ持ツテ居リマス、併シ之ヲ兩地域ニ分ツテ、サウシテ平

均四町歩ニ達スルカドウカト云フコトハ、私マダ非常ナ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、兩地域ニ分ツテ平均四町歩ニ達スレバ宜イデハナイカト云フコトモ、若シ大體其ノ數ガ同ジナラバサウ云フコトモ言ヘルト思ヒマスガ、私ノ印象ト致シマシテモ、ヤハリ五町歩以上ノ方ガ壓倒的トマデハ申上テ兼ネマスガ、印象トシテハ非常ニ多イ、隨テ是ハ實地ニ付テ相當調査ヲ致シマシテデナケレバ、良心的ニハ強ク主張出來マセスケレドモ、兎ニ角自作農創設ヲ第三條ニ依ツテ立派ニヤツテ行ク上ヨ餘程困難ナ事情ガ出現シハセムカト惧レテ居リマス、繰返シマスガ、長官ト致シマシテハ、ヤハリ北海道ニ付テハ五町歩ト云フヤウナ平均ノ單位ヲ戴イタナラバト云フ希望ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマス

○小川原委員 ソレデハ此ノ問題ハ長官ノ御答辯デハツキリ致シマシタカラ、是レ以上言フコトニナリマスルト、自分ノ意見ニナリマスカラ、ソレハ差控ヘマシテ、更ニ考ヘルコトニ致シマス

次ハ私ハ、第三條ノコトヲ早ク決メテシマハナケレバ皆サンニ對シテ御迷惑ダト思ヒマスガ、農林大臣ニ對シテ昨日申上ゲタコトヲモウ一遍繰返サシテ戴キマス、農林大臣ハ私ノ度々ノ質問ニ對シマシテ、北海道ノ特殊事情ヲ云フモノヲ御認メ下サツタノデアリマシテ、是ハ私ハ有難ク感じ居ルノデアリマス、北海道ノ特殊事情ト云フコトニナレバ、ソコニ一元化シテ行クコトヲ意味シテ行ク、斯ウ思フノデアリマシタガ、昨日ノ答辯ニ依レバ、北海道ニ付テハ矛盾ノヤウデアリマシタ、一應私ハ納得シタノデアリマスケレドモ、

又北海道ハ農林省ガヤラナケレバナラヌト云フ御話ニナルト、今ノ長官ノ方ガ宜イノカ、農林大臣ガ宜イノカソレハ分リマセヌガ、兎ニ角サウ云フヤウナ二ツノ問題ガ起ツテ來ルト云フコトハ當然デアリマス、サウナルト農林大臣ノヤウニ、此ノ土地ヲ北海道ニ御求メニナツテ、サウシテ北海道ノ拓殖ノ上カラ考ヘマス、至ク内務省ト農林省トガ錯誤シ行キ方チスル、オ互ヒニ國家ノ爲ニ働カウ、オ互ヒニ國家ノ爲ニ農産ヲ増産シテ行カウト云フ心ハ一ツデアルガ、手段ニ依ツテハ全ク其ノ結果ハ得ラレナイト云フコトニ私ハ非常ニ遺憾ヲ感ズルモノデアリマス、ソレデ北海道ノ開發ハ政府ヲ初メトシテ日本ノ全部ノ人ノ應援ガナケレバ出來ヌト私ハ思フ、自作農ヲ設定シテ行ク上ニ於キマシテ、土地ヲ處分シテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス、ソコデ四十五萬町歩ヲ考ヘマシタ時ニ、拓殖計畫カラ切離シテハ是ハ出來ナイ、若シ之ヲ今ノヤウナ論理デ御進メニナルト、茲ニ二元化シマシテ非常ニ摩擦ガ起ルノデアリマスガ、此ノ土地ヲ全部内務省所管トシテオヤリナサレタラ如何カト思フノデアリマス、農林大臣更ニ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ

○和田國務大臣 未墾地ノ買收ノ豫算ハ農林省ニ組ンデ居ルノデアリマシテ、ソレヲ何スル譯ニハ參リマセヌ、私ハ屢々言フノデアリマスガ、ドウカ一ツ十分御理解ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレデ私ハ北海道ト云フモノガ、此ノ戰後ニ於テ日本ノ農業ノ上カラシマシテモ、國ノ何カヲ言ツテモ非常ナ比重ヲ持ツテ來タト云フコトハ、十分私ハ認メルノデアリマス、殊ニ私ハ戰爭中カラ農事行政ヲヤツテ居リマシタ

時ニ、北海道ノ農業ト云フモノハ見直サナケレバナラヌト云フコトヲ強ク私自身も感じ居タノデアリマス、併シサウ云フ特殊性ガアレバアルダケ、私ヲシテ言ハシムレバ、行政ト云フモノハ國ノ一本ノ政策ニ從ツテ、地方廳ガ所謂經濟的ナ「ブロック」ノ弊ニ落チナイヤウニヤツテ行クト云フコトデナケレバ、私ハ今後斯ウ云フ狹イ日本デハ十分富ノ開發ト云フモノハ出來ナイト確信シテ居リマス、ソレニハ私ハヤハリ此ノ開拓ヲ開拓ト云フ事業ト、北海道ノ拓殖事業ト云フモノガ矛盾シマセヌヤウニ、北海道ハ恰モ獨立國デアルト云フヤウナ感じヲ持ツタルコトハ出來ルダケ避ケマシテ、國ノ一貫シタ方針ニ從ツテ行政ヲヤツテ行クト云フコトデナケレバナラヌト私ハ總テ確信致シテ居リマス、其ノ點ニ於テ豫算ハ農林省ノ方ニ組ンデ居ルノデアリマス、ソレハナゼナラバ、開拓ト云フ事業ハ國ノ大キナ方針トシテ決メマシテ、ソレデ農林省ガ主管ノ責任省トシテヤルコトニナツテ居リマスカラ、無論豫算トシテハ組ンデ居リマス、ソレデカラト云ツテ、農林省ガ何モ北海道ノ事情ヲ無視シテ勝手ニヤツテ行ク、斯ウ云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、其ノ點ニ付キマシテハ十分北海道ノ特殊ノ事情モ容レ、北海道ノ開拓ノ從來ノ計畫其ノモノヲモ考ヘテ調和ヲ取ツテヤツテ行ク考ヘデ居ルノデアリマス、寧ろ私ハ北海道ニ今後立テマシル拓殖計畫ナラ拓殖計畫ト云フモノガ、ヤハリ全般トノ關係ニ於テ十分調整ノ取レルヤウニ、ソレコソ廣ク知識ヲ求メテサウ云フモノガ決定サレルベキダトスラ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、全部農林省カ

ラ今ノ豫算ニ組ンデ居ルモノハ出スト云フコトデハナクシテ、豫算トシテハ農林省デ一括シテ組ンデアルガ、ソレヲ實際出スニハ、北海道ニハ今長官モ居ル譯デスカラ、農林大臣ハ北海道ノ長官ト云フモノヲ指揮監督致シマスガ、其ノ指揮監督ヲシテ十分連絡ヲ執ツテ、サウシテ實際ニ適スルヤウニヤツテ行ク、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス

○小川原委員 大體農林大臣ハ熱意ヲ持ツテ御答辯下サイマシテ有難ウゴザイマシタガ、御熱意ハ御熱意トシテ敬服ヲ致シ、感謝致シマスガ、私マダ附ニ落チヌ點ガアルノデアリマス、何故カト申シマス、土地ヲ買收サレテ農業ヲヤル、斯ウ云フコトニナリマシテ、ソコニ自作農ヲ設定サレマス四十萬町歩御買ヒ下サツテモ、内地トハ全ク違ヒマシテ、道路モ付ケナケレバナラヌ、工業用地モ其ノ中ニアルノダ、或ハ鐵道モ敷イテ行カナケレバナラヌ、堤防用地モアルノダ、至ク内地トハ事情ガ違ツテ參リマス、サウ云フコトニナリマス、拓殖計畫ト云フモノガ其ノ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ土地ヲ農耕地ニノミ使ハレシマツタノデハ、北海道ノ發展ト云フモノハ出來ヌノデアリマス、私ハ此ノ間カラ之ヲ細カシク申上ゲタイト思ヒマス、意見ニナルカト思ツテ實ハ差控ヘタノデアリマスガ、斯ウ云フ所ニ非常ニソコニ困ルコトガ起ルノデアリマスカラ、農林大臣ノ御熱意ト御方針ハ能ク分リマシタガ、北海道長官ニ對シテ、オ前此ノ通りヤレト、斯ウ仰シヤルト云フト、是ハ拓殖計畫ノ中ニ入ツテ、北海道長官ハ農林省ノ出店ノヤウニシテ拓殖計畫一本デ行クト云

フコトニナリマスレバ、ソコニ摩擦ガナクテ、非常ニ實情ニ適シタ柔ラカイ北海道、増産ノ出來ル北海道、皆樣ノ可愛ガツテ下サル北海道ガ出來テ國ノ御役ニ立ツト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノコトヲ尙ホ御尋ネズスノデアリマス

○和田國務大臣 北海道ノ拓殖計畫ト云フモノハ、農産ノミナラズ、他ノ工業其ノ他ガアルノダラウト思ヒマス、併シ其ノ時ニヤハリ開墾ト云フ事業モ拓殖計畫ノ中ニ當然入ツテ來ルベキコトダト思ヒマス、ソコデ農林省デヤリマス四十五萬町歩ナラ四十五萬町歩ノ開墾ノ計畫ヲ、ソレ等ノ一般ノ北海道ノ拓殖計畫ト矛盾ノナイヤウニ、而モ早ク實行出來ルヤウナ方法デヤツテ行ク、斯ウ云フコトデアラウト思ヒマス

○小川原委員 モウ一點、餘リシツコイヤウデアリマスケレドモ、斯ウ云フコトハ十分明カニシテ置キタイト思フノデアリマス、農林省ノ方デモ御心配下サイマシテ、前々カラ農地營團ヲ北海道ニ御出シ下サツテ、サウシテ色々ト土地ヲ整理シテ戴イタリ、或ハ増産ヲシテ戴キマシタガ、實ハ失敗ニ終ツテシマツタ、見ルベキモノハハツコナイノデス、私モ何處カ見ル所ガアルカト思ツテ、随分廻ツテ見マシタケレドモ、一ツモ——セメテ一石デモ宜イ、穀類ヲ獲ツテ下サツタカト云フト、ナイノデアリマス、其ノ上ニ又之ヲヤラレト云フト、此ノ前ニ申上ゲタ通り、酸性土壌ヲ御買ヒニナツテ、ソレデ又自作農ヲ設定シヨウト云ツテモ、誰ガ買フ人ガアルカ、モウ皆知ツテ居リマスカラ買ヒマセヌ、サウスルト、其ノ詰ラナイ土地ガ農林省ノ手持ニナル、斯ウ

云フコトニナツテシマヒハセヌカ、是ハ取越シ苦勞カモ知レマセヌ、喜ンデ飛ビ付ク人ガアルカモ知レマセヌガ、恐ラク酸性土壌ナドハ飛ビ付ク人ハナイ、サウスルト酸性土壌ノ農業經營ト云フモノハ一體ドウスレバ宜イノカ、斯ウ云フコトニナツテシマフ、折角御心配ニナツテ國幣ヲ御費シマフコトモ結果ガ擧リマセヌカ、私ハ此ノコトヲ憂フルノデアリマス、ソレカラ拓殖計畫ヲシテ居テドウデアツタカト云フト、アノ森林ガ北海道ノ拓殖計畫ガアレバコソ長年ノ戰爭ノ役ニ立ツタノデアリマセウシ、又今後復活スル上ニアノ森林ガ役立ツノデアリマス、農民ニ開放シテシマツタ、復興ニ木一本モナイト云フコトニナツテシマフ、又石炭ニ致シマシテモサウデス、拓殖計畫ガアツタレバコソ石炭ガ役ニ立ツタノデアリマス、アレガナカツタラドシナコトニナツテシマフカ、斯ウ云フ心算ヲ持ツモノデアリマス、ソレデアリマスカラ、アナタノ御考ヘ下サルコトモ私ノ考ヘルコトモ、國ヲ憂フルト云フ途ハ一ツデアリマスガ、行キ途方違フノデアルト云フコトデ、此處ニオ互ヒノ意見ノ相違ガアルノデアリマスガ、今はカラ將來ニ向ツテ國ノ御厄介ニナラナケレバナラヌ所ハ、アノ太キナ泥炭濕地デス、アレラドウ云フ風ニシテ開拓シテ行クカ、私共ノ思ヒマスノニハ、アノ山ヲ崩シテ又酸性土壌ニヤツテ居ルヨリハ、寧ロ酸性土壌ニ軌道ヲ敷イテ機關車デ此ノ泥炭濕地ニ持ツテ來ル、サウスルト泥炭ニアル所ノ有機物ト酸素ト化合シテ良イ土地ガ出來ルノデス、サウ云フコトハ北海道長官ガ計畫シテ居ル所ノ綜合拓殖計畫デ一ツ腕ヲ揮ハシテ見ラレタラドウデア

ルカ、私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、何ト云ヒマシテモ石狩川ノ流域、勇拂原野、十勝川ノ流域、斯ウ云フ所ハ氣候モ好イシ平坦デアルシ、此ノ土ヲ此ノ方面ニ持ツテ來ル、是ハ人力デハ出來マセヌ、斯ウ云フコトニナリマスカラ、私ハ全部北海道長官ニ御任セニナツテオヤリニナツタ方ガ非常ニ利益ガアル、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此ノコトヲ一ツ御答辯願ヒマシテ、最後ニ長官ニ御尋ネシタイト思ヒマス、○和田國務大臣 御氣持ハ能ク分ルノデアリマスガ、私ハ北海道ノ拓殖計畫ト云フモノガ、是ハ私見デアリマスガ、從來ノヤウナ形デ立テラレルノデハナクテ、モット大キナ見地カラ凡ユコトガ望マシイト思フノデアリマス、サウ云フ私ノ前提ヲ許シテ戴ケレバ、其ノ立テラレマシタ拓殖計畫ノ中ニハ、勿論我々ノ關係ノ方カラ言ヘバ開拓事業ガアル譯デアリマスカラ、ソレ等ニ付十分ナル意見モ述べ、現ニ計畫シテ居ル計畫モ、ソコニ提出シ、拓殖委員會ニソレハ各方面ノ權威ガ集マツテ、ソレガ唯農林省ト云フモノニ限定サレルコトナク、色々ナ人ガ集マツテ立テラレル、ソレニ從ツテ北海道長官ガ地方長官トシテ責任ヲ以テヤツテ行ク、併シ其ノヤリ方ニ付テハ、サウ云フ大キナ委員會デ決マツタ方針ニ付テ、農林省關係ノモノハ農林省ガ十分此ノ北海道長官ニ指揮モシ監督モシ打合セモシテヤツテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ初メテ私ハ巧ク動クデアラウ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ只今ノヤウナ農地開發營團ガヤツテ居リマシタ此ノ開拓ニ付テハ、ソレハ色々ノ御批判ガアルト思ヒマス、又

巧ク行ツテ居ナイコトハ私モ存ジテ居リマス、併シソレニ付テハ、ヤハリ例ヘバ適地ノ選定トカ、サウ云ツタヤウナ點ニ付テ拙カウツカデハナイカト思フ、ソコデサウ云フ點ニ付キマシテハ、今後ハ十分大キナ計畫ノ線ニ沿フノミナラズ、ヤハリ適地ノ選定等ニ付テハ、サウ云フ各方面ノ立派ナ權威者ノ委員會ニ依ツテヤツテ實行、斯ウ云フヤウニシテ、其ノ選定ヲヤツタ選定地ニ付テ、營團ナラ營團ガ開發ヲヤツテ行ク、斯ウ云フコトニ致シテ行キタ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、勿論北海道ニ付キマシテハ、是ハ單ニ開發ト云フ點カラノミナラズ、色々ナ問題ガ澤山殘ツテ居ルノデアリマス、又相當開發セキ地面モアルト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付テハ、私ハ御話ノヤウナ御氣持ハ能ク分ツテ居ルノデアリマシテ、只今言ツタヤウナ意味ニ於テ、實際上ノ設計モヤリ機構モヤツテ行クヤウニ、少シデモ開發ノ方ニ行クヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○小川原委員 有難ウゴザイマシタ、段々斯ウシテ話シテ見ルト、私ノ説ニ賛成シテ戴ケテ、非常ニ愉快ニ思フノデアリマスガ、綜合計畫モ大事デアリ、今マデハ第二計畫デアツタカラハハイクマセヌ、今度ハ綜合計畫デアリマスカラ、農林大臣ノ言ハレル通り、多數ノ人ノ衆智ヲ集メタ綜合的ノ開發ニ行カウ、ソレニハ農林省ハ微力ナガラ考ヘテヤラウ、斯ウ云フ話デアリマスカラ、私ノ目的ハ是デ達シタノデアリマス、綜合計畫ヲ立テル上ニ於テ、北海道長官一本トナツテ居ルト云フコトニ付テハ、洵ニ此ノ點ハ結構ダ、洵ニ其ノ點ハ有難ウゴザイマシタ、此ノ上ニ於キマシテ北海道長官ニ御尋ネスルノデアリマスガ、北海道長官ハ斯様ニ致シマシテ、農林大臣ノ仰シヤル通り、今マデノヤウナヤリ方デハイカス、拓殖計畫デハイカス、綜合的ノ開發シテ、衆智ヲ集メテ行クノダ、サウスレバ農林省モ微力ナガラ援ケテヤラウ、斯ウ言ハンバカリノ御話デアツタノデアリマスルカラ、玆ニ、綜合計畫ヲ御樹テニナツテ、今農林省ガ御買ヒニナツタ土地モ綜合計畫ノ中ニ入レテ行ク御意思ガアルリマスカドウカ、一ツ北海道長官ニ御尋ネ致シマス、

○増田政府委員 御答ヘ致シマス、北海道ハ稍、内地ト産業方面ニ於キマシテモ、第一地域ガ非常ニ離レテ居リマスカラ、地理的關係ノミナラズ、産業關係ハ水産、農産、林産業、經營ノ形態其ノ他非常ニ違フノデゴザイマシテ、私ハ地域ガ違フ點ハ、「イギリス」本土ト「アイルランド」ト違フト云ツタヤウナ狀況ヨリモット違フト云フノハ、「アイルランド」ト「イギリス」トハ緯度ニ於テ同ジデアリマシテ、農業經營ニ於テ同ジデアル、所ガサウ云フヤウナ緯度ト云フヤウナ關係ハ全然違フ、耕作ニ致シマシテモ、北海道ハ段々四俵、内地ハ五俵ト云フヤウニ、諸般ノ事情ガ違フカラ、北海道ハ長官ガ責任ヲ以テ一元の綜合的ニ之ヲ開發スルト云フヤウナコトハ、從來カラ其ノ必要性ヲ唱ヘラレテ居リマシテ、又現在事業上ヤツテ居リマス、併シ農林大臣ノ仰シヤルヤウニ、北海道ハ獨立國ト云フ言葉ヲ一寸御使ヒデアリマシタガ、北海道ヲ獨立國視シヨウト云フヤウナコトハ現在アツテハナラナイト私ハ思ツテ居リマス、又私ハサウ云フコトハナイト思ヒマス、ヤハリ大キイ見地ニ立ツテ、北海道ノ終戦後ニ於ケル全日本ニ對スル使命ト云フモノハ、從來ト質量共ニ各段ノ相違ガアル、隨テ北海道ハ全日本ニ對シテ此ノ新使命ヲ達成スルト云フコトガ、日本ノ復興ヲ齎ス所以デモアリ、又北海道自身ノ爲ニモナルト私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ農林大臣ト全然所感ヲ一ニ致シテ居リマス、併シ地域的ノ關係ハ固ヨリ、産業諸般ノ關係ガ非常ニ違フノデアリマシテ、此ノ點ハ彼處ヘ行クニ致シマシテモ、私ハ幸ヒニ飛行機ヲ往來シテ居リマスガ、他ノ部下更僚諸君ハ大體三日ハ掛リマス、ソレカラ非常ニ疲レテ、一日ハ眠ラナイト頭痛クテ仕事ガ出來ナイト云フヤウナ狀況デ、大體四日ハ必ズ掛ル、隨テ青森縣ナドト距離ハ餘リ違ハヌカモ知レマセヌケレドモ、彼處ヘ行クニモ非常ニ困難ヲ極メテ居ルヤウナ關係モアリマス、ソレカラ水産、農産、林産業等、其ノ經營ノ形態ト云フヤウナモノモ大分違ツテ居リマス、隨テ現地ニ居リマサル長官ナリ或ハ指導者階級ナリ、是ハ諸般ノ政治、經濟、産業、農業、商業、鑛工業、電氣、其ノ他サウ云フ方面ニ關スル指導者ト云ヒマス、達識經驗者ノ意見ト云フモノガ綜合サレマシテ、其ノ綜合サレタ意見ガ一定ノ北海道開發計畫ト云フモノニ結集サレナケレバナラヌ、其ノ開發計畫ヲ大々的ニ行フコトガ、終戦後ノ日本ニ對スル北海道ノ新使命ヲ果ス所以デアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘマシテ、先般百數十萬圓ノ豫算ヲ遺事會ニ協賛シテ貰ヒマシテ、北海道綜合開發調查委員會ト云フモノヲ設置致シマシタ、今ノ豫算ハ此ノ委員會ニ要スル費用ダケデアリマス、此ノ委員會ニ於テ、北海道ヲ

諸般ノ見地カラ綜合的ニ開發スルト云
フコトヲ研究シテ實ツテ居リマスガ、
此ノ委員會ニモ部會ガ十ゴザイマシ
テ、水産部門、農畜部門、林産部門、
或ハ鑛業部門、ソレカラ工業部門、開
拓部門、或ハ商業金融部門、或ハ教育
民生ノ部門ト云ツタヤウニ、十ノ部會
ニ分レテ居リマシテ、ソレハ「エキ
スパート」ノ方ヲ委員トシテ委嘱シテ
調査ニ發足致シタ譯デアリマス、其ノ
結果來年アタリハ其ノ綜合開發企畫ト
云フモノガ調査ノ結果出來ルト云フ風
ニ私考ヘテ居リマス、中央ニ於キマシ
テモ、農林大臣ガ先程仰シヤイマシタ
拓殖委員會ト云フヤウナモノヲ作ツテ
イラツシヤルヤウデゴザイマスガ、兩
方ノ企畫ガ平仄ガ合ヒ、調和取レマ
シテ、北海道ノ大開發ガ出來マシタナ
ラバ、私ハ日本ノ爲ニ幸慶ノ至リザン
ルト考ヘテ居リマス、唯小川原サス
ノ仰シヤッタ拓殖企畫デゴザイマス
ガ、是ハヤハリ中央ニ於キマシテ各省
バラ／＼デアルト云フヤウナコトハ、北
海道廳長官ガ綜合的、一元の北海道
行政ヲ運営スル上ニ不便デアルト云フ
感ヲ私持ツテ居リマス、唯拓殖企畫
ヲ編成スル際ニハ、北海道廳長官ハ固
ヨリ各省大臣ノ指揮監督ヲ受ケテ居
ルノデゴザイマスカラ、各省大臣ガ
ソレハ「意見ヲ述ベラレ、或ハ指導サ
レ、或ハ監督サレルト云フヤウナコト
デ、豫算編成上ハ私ハソレハ」ノ本省
ノ指導ヲ受ケベキモノデアル、斯ウ云
フ風ニ考ヘテ居リマス、以上ヲ以テマ
シテ御答ヘト致シマス

ラ、内務大臣ノ監督下ニアルノデアリ
マシテ、力ハ各省ガ力ヲ協セテ呉レル
デアリマセウガ、豫算ノ行使ニ付テ
ハ、是ハ立法的ニ考ヘマシテ、當然内
務大臣ノ認可サヘ、或ハ監督サヘアレ
バソレ宜イト思ヒマスガ、其ノ點ハ
ドウ御考ヘニナリマスカ
○増田政府委員 豫算編成ノ過程ニ付
テ申上ゲタ譯デアリマシテ、豫算ノ
執行上ニ付テハ、御説ノ通り内務大臣
ノ指揮ヲ受ケテ之ヲ執行スルト云フ建
前デゴザイマス
○小川原委員 分リマシタ
○寺島委員 議事進行ニ付テ 逐條
審議ノ狀態ヲ今マデ承ツテ居リマシタ
ガ、私ガ是カラ質問致シタイト云フ事
項ハ、第三條第三項、第四條全部、並
ニ第十六條ニ及ンデ居ルノデアリマス
ガ、他ノ委員諸君ノ考ヘ方モ、斯ウ云
フ風ニ飛ビ／＼細切問ガシニクイ
審議サレタレハ、甚ダ質問ガシニクイ
ト思ヒマスカラ、此ノ際關聯事項ノ條
文ハ、特ニ第三條ニ於テハ土地ヲ政府
ガ買上ゲル場合、第五條ニ於テハ此ノ
土地ヲ賣ル場合、第十五條ニ於テハ此
如何ナル狀態ヲ勘案シテ政府ガ實際ニ
小作人ニ此ノ土地ヲ賣渡スカト云フヤ
ウナ事項ニ互ツテ居リマスカラ、如何
デセウ、斯ウ云フモノハ何箇條カラ一
括シテ質疑サセテ戴クヤウナ譯ニハ參
リマセマスカ
○葉梨委員 例ヘバ其ノ關係條文
ハ、例ヘバ第三條ノ何項ハ第何條ニ關
聯シテ居ルガ、此處ノ所ハドウスル
カ、サウ云フ意味ノ質問ヲオヤリニナ
ルコトハ一向差支ヘナイト思ヒマス
○寺島委員 ソレデハ私ハ第五條ニ付
テ……
○葉梨委員長 關聯事項ハ宜シイト申
テ……

上ゲタノデス、サウ云フヤウニ第三條
ノ審議中ニ第五條ヲ質問スルト云フヤ
ウナコトハ、條文ノ審議上ドウカト思
ヒマス、唯第三條ノ下ノ項ト第五條ノ
下ノ項ガ關聯シテ居ルガ、是ハドウ云
フ風ニスルカト云フヤウナ御質疑ハ、
ソレハ結構デスト申上ゲタノデス
○菊池(豐)委員 第三條ニ「左に掲げ
る農地は、政府ガこれを買収する。」
サウシテ一、二、三ト分ケテアリマス
ガ、ソゴニモウ一條附加シテ、既ニ言
ヒ盡サレタ問題ダト思ヒマスガ、政府
ハ轉業農家、飯米農家ヲ此ノ機會ニ根
絶サセ、農業ノ勳意ノ區別ヲ分明ナラ
シメ、ソゴニ關頭一步ヲ進メテ、是等
ノ非農家ノ土地或ハ小作契約權ヲ強制
收用ニ依ツテ買収スル、サウシテ取上
ゲタ土地ハ、昨日寺島君或ハ其ノ他ノ
人カラ質屋ノアリマシタ善良ナル意思
ニ基テ、而モ働ク意志ト優秀ナル專
門ノ技術知識ヲ持ツテ居ル人達ノ就
農ヘノ均等ナル機會ヲ與ヘル爲ニ使フ
ト云フコトニ付テ、一ツ決斷ヲ願フ譯
ニ參リマセマスカ
○和田國務大臣 サウ云フ譯ニハ參リ
マセス
○菊池(豐)委員 重ネテ御尋ネ致シマ
ス、サウ云フ譯ニ行カヌト云フ、ソレ
ハ私共委員會トシテ相當深クニ考ヘ
サセラレル御答ヘダト思フノデスガ、
更ニ今ノ御言葉ニ對シテ一應反省ヲ促
シタイト思フコトハ、此ノ農村ノ供出
ヲ妨ゲ、増産ノ意欲ヲ退却サセル一ツ
ノ存在デアリマス所ノ非農家
ガ、此ノ儘アナタノ手ニ依ツテ潛存サ
レルト致スナラバ、恐ラクハ農村ノ民
主化ナドト云フコトハ到底望メナイダ
ラウト思フバカリデナク、眞面目ナ農

家ハ一生懸命働イテ増産スルトカ、供
出スルトカ云フヤウナコトハ考ヘナ
イ、殊ニ最近ドシ／＼還ツテ來テ居リ
マス所ノ復員青年男女、農村再建ノ夢
ト情熱ヲ燃ヤシテ還ツテ來テ居リマス
ル此ノ青年男女ガ、働ク百姓ノ馬鹿ラ
シサヲ痛感シテ、サウシテドシ／＼惡
ノ淵ニ轉落シ、アルト云フ嚴肅ナル
事實ヲ大臣ハ見逃スコトハ出來ナイト
私ハ思フ、現在農村ニ盛シニ一ツノ流
行ノ傾向デ勃興シテ、アリマス傳
突、喧嘩、ソレカラ農作物ノ闇ト云フ
モノハ、今將ニ此ノ三段以下ノ轉業農
家ノ支配下ニ於テ、復員青年男女ノ手
ニ依ツテ收拾アレ消化サレルト云フ形
ニ移行シテ、アルコトモ、嚴肅ナ事實
全面的ノ潰滅ト云フコトモ、此處ニ端
緒ヲ發見スルコトガ出來ルト思フノデ
ス、過日ノ本會議デ、私ハ同僚ノ寺島君
ガ、農村文化ノ在リ方ニ付テ極メテ適
切ナ質問ヲシタコトニ對シテ、農林大
臣ハ非常ニ重大ナル關心ト情熱ヲ持ツ
テ其ノ昂揚ニ約束サレタト記憶ヲ致シ
テ居リマス、私ハ「私事ヲ語ツテ恐
縮デスガ、約二十五年間、村ヤ縣ノ青
年團ト共ニ生活ノ大半ヲ費シテ參リマ
シタ關係上、農林大臣ノアノ日ノ答辯
ニ對シテ不覺ナリ涙ヲ流スコトヲ禁ジ
得ナカッタ一人デアッタ、恐ラクアノ
答辯ヲ通ジテ滿天下ノ青年ハ大ナル期
待ト憧レヲアナタノ一身ニ懸ケテ居ル
ト思フ、恐ラクアナタガ思ヒ半バニ過
ギル程重大ナル期待ヲ懸ケテ居ルダラ
ウト思フノデアリマス、然ルニ今ノヤ
ウニ木デ鼻ヲ括ツタヤウニ、左様ナ考
ヘハアリマセヌトモナク一蹴サレル
コトニ依ツテ、農村ノ人達ガ、其ノ青
年ガドンナユガツカリスルカト云フヤ

ウナコトハ、單ニ失望ヲ與ヘルダケデ
ナク、現在此ノ法案ノ審議ノ經過ヲ、
幾多ノ論議のナ一貫性ヲ缺イテ居ルト
云フ内容ヲ包藏シナガラモ、劃期的ノ
改革案デアルト云フ點ニ付テ進歩性ヲ
認め、默々トシテ沈黙ノ讚美ヲ守リ、
此ノ經過ニ對シテ重要ナル關心ヲ怠ツ
テ居リ青年ガドンナユガツカリスル
カ、是ハ將來日本ニ大キナ禍根ヲ貽ス
ダラウト云フコトヲ考ヘナイ譯ニ行カ
ナイト考ヘルノデアリマス、詰リ全面
的ニ農村ノ文化ノ光ヲ遮ツテ居ル惡ノ
溫床デアル所ノ、アノ三段百姓、二段
百姓、サウ云フ農家ニシテ農家ニアラ
ザル人達ヲ此ノ際何トカスルコトニ付
テ、或ハ是カラノ見透シニ付テ、先日
誰カニ答ヘラレタ協同組合運動ニ依ツ
テソレヲ阻止スル、或ハ當然來ルベキ
所ノ農村恐慌ノ際ニ、ソレ等ハ轉落ス
ルダラウト云フコトヲ云フ、サウ云フ抽象的
ナ答ヘデハ私ハ満足出來ナイ、却テ二
段、三段ノ百姓ガ恐ロシイ惡政ニ脂ギ
テ居ツテ農村恐慌ガ出來ル曉ニハ、
其ノ人達ノ手ニ依ツテ幾多ノ零細ナ農
地ガ其ノ人達ノ手ニ集マル處ガアリハ
シナイカ、農村恐慌ハ逆效果ヲ來シハ
シナイカト云フコトモ私共ハ惧レテ居
ルノデアリマス、私ハ詰リ農村文化擁
護者ノ一員トシテノ立場カラ、モウ一
度農林大臣ノ慎重ナル考慮ヲ求メタイ
ト思フノデス、モウ一遍何トカ片ヲ付
ケテ戴キタイ
○和田國務大臣 私ハ過小農ガ耕シテ
居ル其ノ土地ヲ強制的ニ何トカ取ラナ
イカ、斯ウ仰セラレルカラ、ソレハ契
約ヲ強制的ニ解除サセタリスル意思ハ
毛頭ナイ、斯ウ申上ゲタノデアリマ
ス、過小農ノ問題ヲサウ云フコトデ解
決スルト云フコトハ、私ハドウモ適當

ナ策デハナイト思ヒマス、日本ノ過小農ト云フモノノ存在ガ、唯單ニ農地ノ所有ト分配デケカラ來テ居ルト考ヘルコト自體ガ、私ニ言ハセバ間違ヒデハナイカト思フ、私ハ日本ノ過小農ト云フモノハ、是ハヤハリ日本ノ全體ノ經濟ト云ヒマス、産業其ノ他ノ今ノヤウナ破壊サレタ、又從來ノヤウナ發達ノ仕方ニ根本ノ原因ヲ持ツテ居ルト思フ、ソコデ私ハ過小農ノ問題ヲ解決スルノニハ、農地方面ニ於テハ、今回ノヤウナ農地ノ再分配ニ依ル一ツノ自作農ノ創定ト云フモノヲ圖リマスルト同時に、是ハ別途考ヘテ行クベキ問題デアルト思フデアリマス、是ハ一ツハ今ノ食糧事情ニ依ツテ暫定ノ原因カラ農業ヲヤツテ居ル、サウ云フ人達ハ恐ラク經濟ガ變動スレバ直グ止メテシマフ人々ダラウト思フ、隨テサウ云フ者ニ付イテハ、サウ云フ食糧事情ノ一般ノ安定ト云フ面カラ、漸次農業其ノモノカラ脱落シテ行クヤウナ方法ヲ執ルノガ、私ハ一番自然ダラウト思ヒマス、ソレカラサウシテモ尙ホ殘ル、日本ノ所謂狭い領土ニ於ケル謂ハバ宿命ト云フト語弊ガアルノデアリマスガ、過小農ニ付キマシテハ、是ハドウシテモ一面ニ於テハ、他ノ産業ニ其ノ勞働力ヲ按配スル機會ヲ與ヘルヤウナ方法ヲ講ズルカ、ソレデナケレバ、ソレ等ノ者ダケノ協同カニ依ツテ、農業自體ヲモット合理的ナ勞働組織ニ依ツテヤツテ行クカ、ドチラカノ方法シカナイト思フ、其ノ他移民トカサウ云フタモノモ考ヘラレマセウガ、サウ云フコトヲ別トスレバ、私ハ恐ラク考ヘラレルノハ其ノ三ツダラウト思ヒマス

○葉梨委員長 菊池君意見ヲ聞ハスコトハ成ベク御避ケテ願フテ、進行ヲ圖

ラレルヤウニ御願ヒシマス、

○菊池(豊)委員 承知シマシタ、唯一ツ御答ヘノ中ノ一ツヲ盾ヲ指摘シタイト思ヒマスコトハ、御話ノ中ニ、サウスルト過小農ノ整理ハサウ云フ三ツノ形ニ依ツテ存續サセ、或ハ行フト云フ御意見ハ了承致シマシタガ、ソコニ關聯ヲ生ズルコトハ、從來盛ニ論議サレマシタ、先刻青木君モ盛ニ申シマシタ一町歩ノ不耕作地主ノアリ方ト云フモノガ重大ナ關聯ヲ持ツテ來ルダラウト私ハ思フゾデス、是モ一ツノ働カザル過小農ヲ作ルト云フコトニナルト、思ヒマス、山添局長ノ御話ニ依ルト、是ハ原則的ニ絕對ニドウスルコトモ出來ナイ、言葉ノ定義ヲナスモノハ英國案ダ、併シソコハ最高限度ト云フ文字ヲ見逃スコトハ出來ナイト思フゾデス、ドウシテモ一町歩ナリ幾ラカノ地所ヲ取ツテ置カケレバナラナイトモ、ルナラバ、ソレハ一畝デモ一段歩デモ宜イデハナイカト云フ、一ツノ暴論カモ知レヌガ、サウ云フ議論モ成立ツテ來ルト思フ、英國ノ見解ニ依ル一町歩ニ依ツテ最低限度ノ衣食住ヲ保證スルコトガ出來ルト云フテ居リマスガ、七百五十圓デ一箇年ハオロカ、一箇月モ、如何ニ農村ガ最低限度ノ生活トハ申セ、生活水準ヲ維持スルコトガ出來ナイノハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、サウ云フ點ニ付テ一町歩モ同時ニ整理スル、一町歩モ大乗の見地ニ立ツテ一ツ自由黨、進歩黨ノ諸君モ其鳴シテ整理スル、同時ニ過小農家ヲ境界線ヲ引イテ、幾ツカノ形ノモノニ區分スルト云フコトニ付テハ、私共ハ異議ヲ唱ヘルモノデハアリマセヌ、議論ニナルコトハ慎重シマスガ、今御話ノ、然ルベキ時代ガ來レバ解消スルト云フコト

ハ、先程私ガ申上ゲタヤウナ道結果ヲ齎ラスト云フコトニ依ツテ、大臣ノ御話ハ筋ガ通ルマイト思フ、以上簡單ニ私ガ思ツテ居ル心持ヲ申上ゲマスガ、アトハ議論ニ互リマスゾデ、一旦此ノ問題ノ質疑ヲ打切ツテ置キマス

○葉梨委員長 高倉君

○高倉委員 土地ヲ買ヒマシテ小作人ニ賣渡スト云フ點ニ付テ、和田サンハ、中ニハ買ハナイ者ガアルカモ知レナイガ、能ク話セバ買ワラウト云フ、極メテ樂觀的ナ御意見ヲ述ベテ居ラレマシタケレドモ、是ハ買ハナイ農民ガ相當出テ來ルト云フコトハ、ヤハリ豫想シタケレバイケナイダラウト思ヒマス、先達テ……

○葉梨委員長 高倉君ニ申上ゲマスガ、第一條ノ審議ノ際ニ、總括的ニシテ關スル質疑應答ガ繰返サレテ居タノデアリマシタ、第三條ニ關スル條項ニ付テ進行サルヤウニ、成ベク該當スル條文ニ付テ御質疑ヲ御希望致シマス

○高倉委員 承知致シマシタ、其ノ積リデ申上ゲマス、其ノ前提デ申上ゲタデアリマスカラ、御聽キヲ願ヒマス、買ハナカッタ所ノ土地ノ處分ニ付キマシテ、是ハ或ル場合ハ農地委員會ノ手デ、或ハ農業會等ノ手デ管理ヲサセルト云フコトヲ此ノ審議ノ初メニ仰シヤイマシタガ、元來農業會ニシマシテモ、農地委員會ニシマシテモ——農地委員會ハ元來ガ土地ヲ買上ゲテ賣渡ス所ノ組織デアツテ、其ノ土地ヲ管理スル爲ノ組織デアリマセヌシ、農業會モ其ノ爲ノ組織デアリマセヌ、デアリマス、カラ、是非當ニ不自然ナコトデアル筈デアリマス、土地ヲ買ハナイト云フ問題ハ、現ニ二合五勺ノ配給ト云フ噂

ガ傳ハリマシタダケデモ、土地ニ關スル關心ハ大キク違ツテ居リマスシ、土地ノ價值段ハ大キク下ツテ居ル現象モ現ハレテ居リマスシ、又現ニ九州全體ノ七縣ノ農民協議會ト云フモノニ於テ、最近、一町歩ヲ殘スコトハ不當デアルカラ、土地全體ヲ國營ニシロト云フ決議ヲ致シテ居リマス、又同ジク最近ニ、是モ山形縣ノ九十二團體全體ノ農民大會ヲ開イタ其ノ席上デ、土地ヲ買ハナイト云フ決議ヲ現ニシテ居ルノデアリマス、是ハ九州全體ニ互ル、山形縣全體ニ互ル農民ノ組織デ決議ヲシテ居リマスゾデ、決シテ土地ヲ農民ガ買フト云フ工合ニ樂觀出來ナイ現象ガ目前ニ現ハレテ居リマス、サウ云フ風ナ事柄ニ對スル和田サンノ是マデノ説明デハヤハリ非常ニ不完全デアツテ、買ハナイ場合ノ對策ト云フモノヲモット完全ニシテ御覽キニナラナケレバイケナイノデアリカ、ソレニハ働カザル農民ニ依ル所ノ共同管理委員會ト云フモノヲ作ツテ、買ハナイ土地ヲ管理ヲシナケレバイケナイノデアリカ、其ノ爲ニハ、ヤハリコデ一町歩ノ土地ヲ殘スカラ非常ニ面倒ニナツテ來ルノデ、一町歩ノ土地サヘナケレバ、買ハナイ土地ヲ共同管理ヲシマス、直グニソレガ耕地整理ハ共同耕作ノ基礎ニモナリマス、一町歩ヲ殘ツテ居リマス爲ニ、ソレガ何時マデ經ツテモ大キナ禍ヒヲ貽スコトニナリマスガ、其ノ土地ヲ農業會或ハ農地委員會デ管理サセルト云フコトハ非常ニ不自然ナコトデアリ、又ソレカラ様々ノゴダ／＼ガ起ルト思ヒマスガ、之ニ對シテドウ御考ヘニナリマセウカ

○和田國務大臣 ソコハドウモ多少意見ニナリマスゾデ、恐入リマスガ、賣

レナイ土地ハ實行組合トカ、農業會ト云ツタヤウナモノニ先ヅ賣渡ス、ソレデアト尙ホ殘ルモノハ農地委員會ノ管理、斯ウ云フ風ニ致シテ居ル譯デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、私ハヤハリ地方ノ村々ニ依ツテ相當違フノ點ト思フデアリマス、一概ニ一町歩ヲ殘スカラ其ノ點ニ付テ色々紛爭ガ起ルトモ考ヘラレナイノデアリマス、一町歩ハ法律的ニ十分殘サレ確保サレテ居ル土地デアリマスガ、地主ガ自發的ニソレヲ賣ルコトモ別段禁ジテ居ル譯デアリナイノデアリマス、實際上、此ノ部落ナラ部落ノ實行組合ナラ實行組合ト云フモノガ相當立派ニ働キ得ルモノデアリマスナラバ、ソレ等ノモノノ手ニソレヲ賣スコトニ依リマシテ十分其ノ土地ノ管理ヲスルト云フコトハ出來ルノデアリカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、意見ニナリマスガ、多少意見ヲ異ニシテ居ルカト思ヒマス

○高倉委員 是ハ今申上ゲマシタヤウニ、實行組合ニシマシテモ、農業會ニシマシテモ、固ヨリ是ハ現在其ノ賣レナイ土地ヲ管理スル爲ノ組織デアリモノニ渡ルノデアリマスカラ、當然不自然デアルコトハ已ムヲ得ナイ、ソレノ爲ニ、例ヘバ農地管理委員會ト云フモノヲ作ラセ、之ヲ管理サセルト云フ風ナ意思ヲ御持チニナリマセヌカ

○和田國務大臣 私ハ過去ノ經驗カラ見マシテ、必ズシモサウデハナイト思ヒマス、例ヘバ、私大分農村ヲ廻ツテ土地ノ農耕ヲ見マシタ、其ノ時實行組合デ土地ヲ管理致シマシテ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ル所ガアツタノデアリマシテ、是ハ實行組合ト云フモノヲ權威スル人達ニモ依レバ、又其ノ實行組合ノ指導ヲシテ居ル人ニモ依ルノデアリマ

ス、實行組合ナルモノハ別ニ管理委員
會ト云フモノヲ作リマセズモ、ソレ
ニ依ツテ働キ得ルモノガアル、斯ウ考
ヘテ居リマス

○高倉委員 優秀ナ人ガ居レバズツ
巧行クト云フ風ナ考ヘ方ハ、是ハ組
織的ニ基本的ナモノデハナイノデアリ
マシテ、ヤハリ管理ヲスル爲ニハ管理
ヲスル本質的ナ組織ガナケレバ出來ナ
イノデアリマセヌカ、例ヘバ今、或ル
場合ニハ農地委員會ニ之ヲ管理サセル
ト仰シヤイマシタケレドモ、農地委員
會ノ中ニハ地主モ、自作農モ、小作人
モ、新シク土地ヲ買フ小作人モ入ッテ
居ル譯デアリマスガ、自作農ニシマシ
テモ、地主ニシマシテモ、其ノ新シク
買ハレタ土地ニ對スル何等ノ利害關係
ガナイノデアリマシテ、サウ云フ人等
ノ組織ニ依ル所ノ農地委員會デソレヲ
管理サセルト云フコトハ不自然ナコト
デアリダケデナク、結局ソレニ關心ノ
ナイ人ガ其ノ管理ヲシマス爲ニ、農村
ニ新シイゴタ／＼ヲ作ル種ニ必ズナル
ト思ヒマスガ、之ニ對シテドウ御考ヘ
ニナリマスカ

○和田國務大臣 土地ハ買ヒマセヌケ
レドモ、耕シテ居ル人ハヤハリ小作人
トシテ耕シテ居ル譯デアリマス、ソコ
ノ所ハサシタル條件ガソレニ依ツテ變
ルコトモナイ譯デアリマスカラ、餘リ
イザコザガ生ズルトハ思ハナイノデア
リマス、ソレカラ實行組合、是ハ御承
知ノヤウニ耕作スル人々ノ組合デアリ
マシテ、殊ニ其ノ土地ト云フモノニ付
テハヤハリ共同ノ利害ヲ十分持ツテ居
ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ組
織トシテモ餘リ心配ハ要ラナイ、斯ウ
思フノデアリマス

○葉梨委員長 高倉君、共同管理ノ御
趣旨ニ依ツテ御質問ノヤウデアリマス
ガ、一町歩ト云フコトハ成程アナタノ
仰シヤルコトニ關聯ハシテ參リマス
ガ、共同管理ノ問題トハ當然主義上
ノ見解ノ相違ノ問題トナルノデアリマ
ス、其ノ主義ヲ採ルカ否カノ問題ニナ
ルノデアリマシテ、此ノ條文ノ逐條審
議ヲ進メルニ當ツテハ甚ダ不適當ナ御
質問カト委員長ハ認メマス、仍テ其ノ
點ハ一ツ御注意ヲ願ヒマス

○高倉委員 モウ其ノ點ハ宜シウゴザ
イマス

○大澤委員 簡單ニ御尋ネ致シマス、
實ハ昨日モ一寸觸レタノデスガ、今度
ノ自作農創設特別措置法、所謂自作農
ヲ作ルト云フコトデ、當局ノ御方針デハ
何ト云ヒマスカ、結局此ノ法案ガ通過
致シマスカ、日本ニハ自作農ト地主、
ソレカラ小作農、斯ウ三ツダケガ日本
ノ農村ノ階級トシテ殘ルノダト云フ建
前デ此ノ法案ガ出來タノデアリマセウ
カ、僕ハ一應此ノ問題ヲ中心ニ御尋ネ
スルノデアリマス、ト云フノハ、昨日
御伺ヒ致シマシタヤウニ、一町歩ヲ殘
スコトニ依リマシテ、實際ハ小作農ガ
相當殘ルノデアリナカ、斯ウ云フコト
ガ考ヘラレルノデアリマス、當局ハ自
作ト地主ト小作ヲ殘シテ、自小作ハ殘
サナイト云フ方針デ此ノ法案ヲ出シタ
カ、場合ニ依ツテハ自小作モ殘ルコ
トガアリ得ルト云フ含ミヲ持タシテ此
ノ案ヲ實現スル積リカ、其ノ點ガ重大
ナル問題ダト思フノデスガ……

○和田國務大臣 私ハ之ヲヤリマシテ
モ自小作ハヤハリ殘ルト思ヒマス

○大澤委員 サウスルト是ハ寧ろ自作
農創設案ト云ウテモ、自小作創設案ニ
ナルト思ヒマス、ト云フノハ、昨日御
伺ヒ致シマシタヤウニ、僕ハ決シテソ

レヲ議論シテ居ルノデアリマセヌ
ガ、例ヘバ和田君ハ此ノ間ノ新聞ノ
發表デ、先月二十九日午後四時カラ東
京都ノ丸ノ内ノ放送會館第五「スタ
ジオ」外人記者團ト會見ヲサレタ、其
ノ會見談ガ新聞ニ書イテアル、此ノ外
人記者團ト會見ノ記事ガ果シテ本當カ
ドウカ分リマセヌガ、私ハ本當ダト思
フノデス、或ハ昨日モ一寸問題ニナリ
マシタヤウニ、此ノ案ヲ實施スルコ
トニ依リマシテ、三百七十萬人ノ小作
人中七十萬人位ガ殘ル、斯ウ仰セラレ
タノデゴザイマス、ダカラ私ハ是ハ何
カノ誤算デハナイカト思フノデス、昨
日御話シマシタヤウニ、一町歩ノ地主
ノ土地ニ付テ、五人、六人、七人ト分
ケテ小作人ガアリ得ルト云フコトハ、
十分大臣モ認メタノデアリマシテ、政
府ハ此ノ點ニ於テ誤算ヲシテ居ルノデ
ハナイカト思フノデアリマス、是レ以
上私ハ聽キマセヌガ、爾ク七十萬人ノ
澤山ノ小作人ガ殘ルト云フコトハ重大
問題ダト思ヒマス、是ハ何レ討論ノ時
ニ殘シテ置キマス、其ノ次ニ此ノ外人
記者團ト會見ノ記事ノ中ニ、自作農ニ
能力ガアレバ三町歩以上ノ土地所有ヲ
認メルト云フコトハ事實カ、斯ウ外人
記者團ガ大臣ニ質問ヲシテ居ルノニ對
シテ、事實デアリ、斯ウ仰シヤツテ居
ルノデアリマス、自作農ニ能力ガアレ
バ三町歩以上ノ土地ヲ認メテ居ルノハ
事實ダ、サウスルト是ハ具體的ニハ今
度ノ場合ハ、我々現在大體自作ヲシテ
居ル者ハ四町歩デモ五町歩デモ概ハナ
イト云フコトニ理解出來ルノデアリマ
スガ、サウ云フ意味ノ外人記者團ニ對
スル回答カ、ソレトモ今後自作農ニ能
力ガアレバ四町歩デモ、五町歩デモ認
メテヤルノカ、私ハハツキリシナイノ

デアリマスガ、是ハ或ハ裏ト表ガ此ノ
法案ノ審議ニアリハシナイカト思ツテ
念ノ爲ニ御尋ネ致シマス

○和田國務大臣 ソレハ現在自作ヲシ
テ居ル者ト云フ前提ガアリマス、其ノ
點外人記者ニ、言葉ノ翻譯モ拙カッタ
ノデ、意モ能ク通ジナカッタノデアリ
マスガ、私ハハツキリ現在ト押ヘテ居
ルノダト云フコトデアリマス

○大澤委員 ソレデ安心致シマシタ、
今私ハ大臣カラ資料ヲ頂戴シタノデス
ガ、此ノ間御質問ヲ致シタ御料地ノ問
題デスガ、先程ノ資料ノ内容ニ依リマ
スト、御料地野農地開放見込面積中世
傳御料地面積ニ關スル調査、之ヲ見ル
ト、帝室林野局調査ノ農地開放面積ハ
四萬九千四百四十町歩、是ハ世傳御料地
ヲ含ムト云フ御回答ナノデス、ソコデ
私ハ念ノ爲ニ御驗キ致シマスガ、世傳
御料地ト云フモノハ御料地ノ中ノ相當
面積ヲ占メテ居リマシテ、大體二十
萬八千五百一十一町歩ト云フ統計ガ出
テ居リマス、而シテ此ノ世傳御料地ニ
十萬町歩以上ノ面積ノ中ニハ、木曾初
メ澤山ノ十六萬町歩近イ所ノ御料地ガ
既ニ世傳御料地トシテ含マレテ居リマ
スガ、此ノ世傳御料地ハ全然農地ニ解放
スベキ餘地ガナイト云フ意味デ對象ニ
シナイノカ、少クトモ此ノ二十萬町
歩ト云フ世傳御料地ハ、ソレ以外ノ理
由デ、日本ノ農業問題ノ解決ノ爲ニハ
ドウモ手ノ付ケウカナイモノダト云
フ御考ヘデ農林省ハ對象ニシナイノ
カ、之ヲハツキリ致シタイ

○笹山政府委員 其ノ點ニ付キマシテ
ハ私カラ代ツテ御答ヘ致シマス、世傳
御料地ノ解放ニ付キマシテハ、是ハハ
マ適地調査ガ済ンデ居リマセヌ、其ノ
意味カ現在ノ世傳御料地ノ調査ノ済

ンダ所ニ於テハ世傳御料地ハ入ッテ居
ラナイ、斯ウ云フ意味合ヒカラ、將來
世傳御料地ニ付キマシテモ開墾適地ガ
アリマスレバ解放シテ戴ケルト思ヒマ
ス

○大澤委員 分リマシタ

○平野(市)委員 議事進行ニ付テ、一
寸委員長ニ御願ヒ致シマスガ、最前菊
池委員ハ、三段歩以下ノ過小農ハ――
デアル、尙ホ其ノ御言葉ノ中ニ三段歩
以下ノ百姓ハ開墾ヲシテ居ルノダ、斯
ウ云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、
私全國ノ農民、過小農ノ立場カラ――
私ハ實際ノ農民デアリマス、過小農民
ノ立場ニ立ツテ、是非此ノ――ト云フ
言葉ダケハ適當ナ言葉ニ取替ヘテ戴キ
タイト思ヒマス、御承知ノヤウニ、我
ガ香川縣ニ於キマシテハ三段百姓ハ數
ガ多イノデアリマス、此ノ三段百姓ニ
追込ンダノハ、今迄ノ制度ガ惡カッタ
ノデス、百姓ハ少クトモ一町歩位ノ土
地ヲ作ツテ百姓ヲシテ生活ヲシタイノ
デスガ、悲シイ哉、今マデノ制度ガ惡
カッタ爲ニ、ソレダケ作ルコトガ出來
ナカッタ、サリトテ三段百姓ハ戰時中
ドレダケノ努力ヲ拂ツタデセウカ、以
ノ生薑モ三段百姓ナルガ故ニ出來タノ
デス、炭焼キデモ薪刈リデモ、皆小作
農民ガアツタ爲ニ出來タノデス、百姓
ダケシテ生活ヲシテ居ッタナラバソソ
ナ暇ハナイノデアリマス、三段百姓ガ
能ク働イタカラ出來タノデアリマス、
又三段百姓ハ絶對開墾ハ出來マセヌ、
開墾ヲスルノハ、大キナ百姓ガ食ヒ殘
シタモノヲ不心得ナ者ガ開墾ヲスルノ
ガ多イヤウデアリマス、ヤハリ開墾ハ
大體「ブローカー」ガヤツテ、純粹ナ
ル農民ハショウウトシテモ出來ルモノデ
ハナイノデアリマス、此ノ點ダケ適當

第六類第二十五號 自作農創設特別措置法案外一件委員會議錄 第十一回 昭和二十一年九月二十六日

二二七

ナ言葉ニ取消シテ載キタイ、農民ノ爲ニ切ニ希望致シマス

○葉梨委員長 了承致シマシタ、適當ナ機會ニ菊池君ノ出席ヲ見マシテ、委員長ニ於テ取計ヲフコトニ致シマス

○松本(ハ)委員 只今大澤君カラ御料地ノ問題ガアリマシタガ、大學林ノ小作地ト云フモノガ相當大キイ面積ガアリマス、ソレハ大學ガ所謂試驗地トシテ持ツテ居ル土地ノ中ニアル譯デスガ、實際農業ノ試驗ヲヤル爲ニ使ツテ居ル土地ハ、是ハ勿論問題ハナイ譯デアリマスケレドモ、林業ヲ經營致シマスガ爲ニ、多クノ小作人ニ耕作ヲサセテ、此ノ小作ノ努力ヲ林業ニ適當ナ時使フト云ク爲ニ北海道ニ於キマシテハ北大ノ農場、或ハ東大ノ農場ト云フヤウナモノハ、其ノ農場ダケデ一箇村ヲ形成シテ居ル所ガアリマス、空知郡ノ東山ト云フ村ハ一村約千戸ノ戸數ガアリマシテ、是ガ全部大學ノ小作デアリマス、サウ云フノガ隣村ノ山部村ト云フ所ニモアル譯デスガ、是ハ自作農ニナリタイト云フコトデアリマシテ、多年熱心ナ請願等モヤツテ居ルノデスガ、大學ガ是マデ解放シナイデ來タノデ、此ノ機會ニ我々ハ斯ウ云フ土地ハドウシテモ自作農ニシテヤルベキダト思ヒマスガ、政府ニ於テハドウ云フ御方針ヲ執ツテ居ラレマスルカ、此ノ點ヲ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○山添政府委員 御質問ノ趣旨ト同様ニ考ヘテ居リマス

○磯崎委員 不在地主ノ土地デゴザイマスガ、隣接市町村ノ區域ノ中、部落ヲ隣合ハセル程度ハ色々境界モ分ルノデスガ、同じ隣接町村トシマシテモ極ク極端ナ、地域ガ相當離レタ所ノ部落、サウシテ方面ニ存在スルモノハ所謂不

在地主ノソレニ當ルカドウカ、ソレヲ御伺ヒシマス

○山添政府委員 「當該市町村ノ區域ニ準ずるもの」ト云フ範圍内デ認メル譯デアリマシテ、餘リ遠隔ナモノ、或ハ山一ツ越エテ隣リモノ、併シ地圖カヲ見レバ隣リダ、斯ウ云フモノハ認ナイ譯デアリマス

○磯崎委員 今一ツ、地主ガ或ル法人ニ一定ノ年度ヲ切ツテ小作ノ契約ヲシテ、三、五町歩ノ土地ヲ其ノ法人ガ經營シテ居ル、此ノ場合當然其ノ經營主デアル法人ノ方デ、土地ヲ與ヘラレル資格ヲ得ラレルモノカ、之ヲ伺ヒタイ

○山添政府委員 ソレハ昨日モ問題ニナリマシタガ、原則トシテ法人ガ賃借シテ居ル土地ニ付テハ、成程其ノ法人ガ小作人デアリマスガ、ソレニ所有權ヲ移サナイト、サウ云フコトハシナイ方針デアリマス、即チ自作農ノ創設ト云フ方針ニ合致シナイ、サウ云フコトハ原則的ニハ致サナイ譯デアリマス

○磯崎委員 變則的ニ多少ヤレル場合ガアリマセウカ、此ノコトニ付テノ御考ヘ...

○山添政府委員 自作農ノ創設デアリマスカラ、サウ云フコトハ認メナイノデアリマス、例ヘバソレ自身ヲ専門ニヤツテ居ル法人、種苗ノ會社或ハ横濱植木、斯ウ云フ例外的ナモノガヤツテ居ル場合ニ、自分ノ所有地ニサウ云フ小作地ガ混ジテ居ルト云フコトガアレバ、一經營地トシテ認メル場合ハアリ得ルカト考ヘマス

○磯崎委員 サウスルト、國策的ナ形カラ相當大キナ或ル法人ガ所謂原種圃ヲ經營シテ居ル場合ハ、今ノ變則ニ當ルト解釋シテ宜イノデアリマス

○山添政府委員 是ハ何處マデモ法律

ノ趣旨カラ見テ、自作農創設ノ譯デアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テ直チニ其ノ經營ヲ壞スト云フコトハ無論適當デアリマセウカ、國トシテハサウ云フコトハ留保シテ居ツタラ宜イト思ヒマス

○葉梨委員 ソレデハ第三條ニ對スル質疑ハ大體出盡シタヤウニ思ヒマス、午後三時ハ終了シタモノト致シマシテ、午後カラハ第四條ニ入りタイト思ヒマス、休憩致シマス

午後零時十七分休憩

午後一時五十二分開議

○葉梨委員長 ソレデハ開會致シマス、午前ニ引續キ逐條審議ニ入りマス

○菊池君

○菊池(ハ)委員 午前ノ私ノ過小農家ノ批判ノ言葉ノ中ニ「ト云フ一節ガ非常ニ一部ノ方々ノ御氣謙ヲ損ジタヤウニ思ハレマスカラ、アツサリト取消シマス

○葉梨委員長 了承致シマシタ、大澤君、御發言ハゴザイマセウカ

○大澤委員 昨日「ト云フ言葉ヲ使ツテ非常ニ誤解ヲ生シダヤウデスカラ、アレバ撤回シテ置キマス

○葉梨委員長 了承致シマシタ、ソレデハ第四條ニ入りマス

第四條 前條ノ規定ノ適用について

は、農地ノ所有者ノ同居ノ戸主若しくは家族又は農地ノ所有者ノ戸主若しくは家族で第二條第三項に規定する特別ノ事由に因リその者と同居しなくつた者が當該農地ノ所有者ノ住所のある市町村ノ區域内において所有する農地は、これを當該農地ノ所有者ノ所有する農地とみなす。

前條第一項ノ規定ノ適用について

ては、農地ノ所有者で第二條第三項に規定する特別ノ事由に因リその所有する農地のある市町村ノ區域内に住所を有しなくつたものは、これを當該市町村ノ區域内に住所を有する者とみなす。

之ニ付テ御質疑ハゴザイマセウカ

○北(政)委員 昨日モ言ツタノデスガ、「同居ノ戸主」ト云フノハ、政府ノ方デハ上ノ方カラ掛ツテ來ルカラ分ルト言ハレルガ、是ハ饑ム人ノ立場カラ見ナケレバナリマス、前條ノ規定ノ適用については、「ト云フ前段ガアツテ、前條ノ規定ヲ適用シテ行ク上ニ於テ、農地ノ所有者ノ同居ノ戸主ト云フノデスカラ、何モ此ノ人ダト云フコトハ關係シナイ、ヤハリ同居ノ戸主ハ同居ノ戸主デアリマスカラ、是ハ昨日ノ御説明デハ之ヲ讀ム人ニ分ラヌ、殊ニ程度ノ低イ農村社會ニ於テハ分ラヌト思フ、誰ガ解釋シタツテハ戸主ト看做ス、別ニ關係ノナイモノニ關係サセル必要ハナイト思ヒマス、ソレカラ「市町村ノ區域内に住所を有しなくつたものは、これを當該市町村ノ區域内に住所を有する者とみなす。」ト云フ字句ニ付テモ、市町村ノ區域内ニ住所ヲ有シナクナツタ者ダツタラ、完全ニ他ヘ行ツテシマフト思フノデアリマス、ソレデハハスウ云フ字句ニ付テハ、此處デ一々ヤツテ行クヨリハ、大體ノ方針デケテ御伺ヒシテ置イテ、後デ小委員會デモ設ケラレテ、少數ノ委員ト政府ノ方ト直シテ行ツタ方ガ、議事ノ進行ガ早イト思フ、サウシナイト全文ニ互ツテ一々申上ゲナケレバナラヌコトニナリマス

○和田國務大臣 此ノ「農地ノ所有者

の」ト云フ「の」ハ「ボゼシタ」ナノデ、「同居ノ戸主」デ切レルノデスカラ、日本語トシテハ分ルト思ヒマス

○北(政)委員 「所有者ノ同居」デカラ家ノ中ニ一緒ニ居ル、是ハ少シモ變ラナイ、大臣ガ言ハレ、バ言ハレル程變ニナツテ來ル、民法デモ刑法デモ「同居」ト云フコトガソレニ關係ガアルトカナイトカ云フ差別ヲ付ケルコトハアリハシナイ、政府モサウコトハアリデ、皆ニ分ルヤウニスレバ宜イ、アナタ方ノ言ハレルハ、所有者ノ其ノ戸主ト云フコトヲシテ、此ノ字句デハサウ讀メマセウ、アナタ方ハ自分デ指ハラレタカラ先入主ガアツテ分ララウガ、私等デモ分ラヌノデカラ、他ノ者ニ分ル僅ガナイト思ヒマス

○葉梨委員長 具體的ニ斯ウダト北サシニ分ルヤウニ御説明ニナツタラ如何デスカ

○和田國務大臣 意味ハ分ツテ居ラレルノデス、唯表現ノ仕方ガ日本語トシテマヅイデハナイカ、斯ウ云フ御話ラシイノデス

○北(政)委員 是等ノ字句ニ付テハ後デ小委員會デモ設ケテ檢討シタラドウデセウカ、此處デ一々ヤツテ居ツタラ非常ニ時間ガ掛ル、私トシテハ相當直シタイト思ツテ居ル箇所ガ随分アリマス

○松本(ハ)委員 議事進行ニ付テ申上ゲタイノデスガ、僕モ北君ト同感デマスカラ、斯様ナ字句ニ付テハ、後デ其ノコトダケニ付テ少數ノ人デ政府ト一緒ニナツテ出來ルダケ分リ易クスルヤウナ方法ヲ執ラレル方ガ、議事進行上宜イダラウト思ヒマス

○葉梨委員長 其ノ外ニ御質疑ハアリ

マセメカ——ソレデハ第五條ニ入リマ
ス

第五條 政府は、左の各號の一に該
當する農地については、第三條の
規定による買収をしない。

一 國又は公共團體が公共用又は
公用に供してある農地

二 都道府縣、市町村、都道府縣
農業會、市町村農業會、農事實
行組合、農地開發營團その他命
令で定める團體の所有する農地
で自作農の創設又は共同耕作の
目的に供するもの

三 試驗研究又は農事指導の目的
に供してある農地で地方長官の
指定したもの

四 都市計畫法第十二條第一項の
規定による土地區劃整理を施行
する土地又は都市計畫による同
法第十六條第一項の施設に必要
な土地の境域内にある農地で地
方長官の指定する區域内にある
もの

五 近く土地使用の目的を變更す
ることを相當とする農地で市町
村農地委員會が都道府縣農地委
員會の承認を得て指定したもの

六 自作農が疾病その他命令で定
める事由に因つてその自作地に
就き自ら耕作の業務を営むこと
ができなかつたため賃貸借又は使用
賃借により一時當該自作地を
他人の耕作の業務の目的に供し
た場合、市町村農地委員會が、
その自作農が近く自作するもの
を認め、且つその自作を相當と
認める當該農地

七 新開墾地、焼畑、切替畑等收

權の著しく不定な農地その他命
令で定める農地で市町村農地委
員會が政府において買収するこ
とを不當と認めるもの

以上ニ付テ御審議ヲ願ヒマス

○上林山委員 昨日農林大臣ニ農地委
員會ノ法的性格ヲ承ツタリマス
ガ、ソレニ依リト、行政官廳トシテ
性格デアルト云フ御答辯デアリマシ
タ、市町村農業會或ハ都道府縣農業會
ノ法的性格ガサウ云フモノデアルト
スレバ、何等カ官制ニモ之ヲ明カニス
ル御意思ガアルカドウカ、此ノ儘デ
ハ、行爲能力或ハ意思能力、サウシ
ヤウナ法的活動ガ十分ニ出來ルノ
デ、何カ官制等ヲ以テ之ヲ明カニシ
ケレバナラヌデハナナカ、斯ウ考ヘ
ルノデアリマスガ、此ノ儘デ宜イト考
ヘテ居ラレカドウカ、是ハ今後殆ド
農地ノ中心勢力ニナツテ總テテ置シ
ケレバナラヌ重大ナ問題デアリマス、
或ハ訴願其ノ他色々ナ問題ガ起ツテ來
ルノデアリマスガ、サウ云フ見地カラ
此ノ點ヲモウ少シ明カニシテ置キタイ
ト考ヘマス

○和田國務大臣 農地委員會ニ付キマ
シテハ農地調整法ノ中ニ組織ト權限ガ
書イテアルマシムレカ例ヲ求メマス
レバ、土地收用法ノ中ノ土地收用委員
會デアリマスガ、サウ云フモノハ法律
ニ書イテアルデケデアルマシテ、ソレ
ハヤハリ一程ノ行政廳トシテノ性格
ヲ持ツモノト云フコトニナツテ居リマ
スノデ、別ニ別段ノ官制ヲ作ル積リハ
ゴザイマセヌ

○上林山委員 官制ヲ作ラナイデ十分
ノ運営ガ出來ル御自信ガアレバ、ソレ
デ結構デアリマスガ、何レ又小委員會

等デ研究シテ見タイト思ヒマス
次ニ御尋ね致シタイノハ、戰災ニ因
ミテ都市デ現在農地ニ準ジテ耕作ヲシ
テ居ル部分ガ相當ニアルノデアリマス
ガ、是ハ勿論都市ト農村トノ人口ノ配
分ト云フ國土計畫カラ勘案ヲシナケレ
バナラヌ根本ナ問題デアリマシテ、
農林當局デケノ所管デハアリマセヌ
ガ、農地ガ一町歩デモ十町歩デモ廣イ
コトヲ解放サレル農民ハ要望シテ居ル
ノデアリマスカラ、此ノ見地カラ、都
市ヲ或ル程度國土計畫ニ從ツテ縮小ス
ル必要ガアル、斯ウ云フ面カラ、此ノ
戰災地ヲ農地ニ編入スル御意思ハナ
イノカドウカ

更ニ私ハ、是モ亦農林當局デケノ御
意見デハ出來ナイノデアリマスガ、農
林當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノハ、農地
ニ付テハ御承知ノヤウニ所有制限ヲ致
シテ居ラレカドウカ、都市ノ宅地ニ付
テハ何等ノ制限ヲ現在シテ居ナイノ
デアリマス、デアリマスカラ、是ハ國土計
畫ニ勿論盛ルベキ根本ノ問題デアリ
マスガ、農林當局ハ是等ノモノニ對シ
テモ、之ヲ農地ニスルト云フヤウナ見
地カラ、ドウ云フ見解ヲ持ツテ居ル
ノデアリマセウカ、私ハ此ノ問題ニ付
テ先ツ御伺ヒ致シテ置キタイノデアリ
マス

○山添政府委員 都市ノ問題デアリマ
スガ、無論、東京市ノ人口ニ致シテ
モ、是ガ何百人ニナルノカ、餘程戰爭
中等トハ様子ガ違フノデアリマス、隨
テ又其ノ市街地ヲ形成スベキ區域ニ付
テモ違ツテ参リマス、隨テソレハ都市
計畫ニ從ヒマシテ、永久ニ區分ノ出
來ル土地ハ、是ハ農地ナラ農地ト云フ
風ニスル部分ガ出來テ來ル譯デアリマ
ス、御承知ノ綠地帶ノ外ニサウ云フ部

分モ出來ルコトト考ヘテ居リマス、サ
ウ云フヤウナコトハ内務當局等ト共ニ
十分研究ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル
譯デアリマス

○上林山委員 研究ヲシタイト云フ程
度デアツテ、國土計畫ニ對シテ、殊ニ
農耕地ヲ擴張セルト云フ意味ニ於ケル國
土計畫ニ對シテ、農林當局トシテハマ
ダ具體的ニ何等折衝ヲサレタコトハナ
イ譯デアリマスガ、是カラ積極的ニシ
タイト云フ意欲ヲ持ツテ居ラレカ、斯
ウ云フ風ニ解スベキデアリマスガ、其
ノ點ヲハツキリ御伺ヒシタイ

○山添政府委員 後ノ方ノ意味ノコト
デアリマス

○上林山委員 此ノ問題ハ重要ナ問題
デアリマスカラ、一ツ積極的ナ御研
究、或ハ内務當局ニ一ツ御折衝下サル
コトニ御願ヒ致シマシテ次ニ進ミマス
御承知ノヤウニ、戰爭中、増産ヲシ
ナケレバナラヌコト云フコトデ、宅地内
ノ五畝歩、一段歩ト云フヤウナモノモ
此ノ二、三年間農耕地ニナツテ居ル
デアリマス、是等ハ土地ノ狭イ方面ニ
於ケル農村ニ取ツテハ、法規上ハ問題
ニナラナイトハ云フモノノ、實際ノ取
扱ノ上ニ於テ間單ニナルコトガ起ツテ
來ルノデアリマスガ、現在一段ナリ二段
ナリ、名義ガ自分ノ宅地ニナツテ居
ルモノヲ農地ニシテ居ル、二、三年デモ
作リナサイト云フヤフナ簡單ナコトデ
之ヲ作ラシテ居ルト云フ場合、是ハ名
義ハ純然タ宅地デアリマスガ、是等
ノモノニ對シテ、法規上ハ勿論今申シ
マス如ク問題ニハナラナイト考ヘマス
ガ、當局トシテ方針ヲ明カニ示サレ
イ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、如何
ニ考ヘテ居ラレカ、此ノ點ヲ御伺ヒ
シタイノデアリマス

○山添政府委員 宅地ノ部分ガ今特別
ノ事情ニ依リマシテ榮園ニナツテ居
ル、或ハ今後モサウ云フ場合ガ相當續
クカト思ヒマスガ、宅地トシテハツキ
リシテ居ルモノハ宅地ト考ヘタ方ガ宜
イト思ヒマス、併シソレガ農地ト見
ト云フ具體的ナ狀況デアレバ、是ハ農
地トシテ見ル、斯ウ云フ譯デアリマ
ス、併シ御話ノヤウナ場合ハ、恐ラク
是ハ一括シタ宅地ト云フモノヲナシ
居ルノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ風ニ
想像スル譯デアリマス

○寺島委員 昨ハ第五條全般ニ付テ御
尋ね申上ゲ且ツ其ノ御考ヘ方ヲ承リマ
シタ後ニ、關聯事項ハ第十六條午前
中審議ニナリマシタ第三條ノ第三號ニ
關聯シテ參ルノデアリマス

政府ガ今回ノ劃期的ナ農地改革ニ依
ツテ、農村ニ存在致シテ居リマシタ封
建的因習ヲ除キ去クコト云フコトニ付
テハ、私モ深く敬意ヲ表スルノデアリ
マスガ、其ノ社會革命ヲ行フ途上ニ於
テ、幾ツカノ犧牲ハ避ケラレベキモノ
デハナイノデアリマスガ、或ベク此犧
牲ヲ少クシテ、本案ヲ極メテ圓滿ニ
行ハシムル爲ニ、昨日モ速記ヲ取ラザ
ル秘密會ノ席上ニ於テ大臣ニ個別的ニ
御尋ね致シタノデアリマスガ、地主
ニ一町歩ノ農地所有權ヲ認メテ居ル此
ノ所有權ハ、私ガ申サマデモナク、耕
作權ヲ伴ハザル所有權デアリマス、隨
テ是ハ、一町歩ト云フ零細ナル土地ヲ
持ツテ居ル地主ノ性格ト云フモノハ、
丁度株券ヲ持ツテ居ル株主カ乃至ハ債
券ヲ持ツテ居ル所有者ト大シテ選所
ハナイ、一定ノ定メラレタ金納小作
料ヲ貰ツテ公租公課ヲ納メルト云フ實
質デシカアリ得ナイノデアリマス、所

ガ此ノ第五條ニ於テ、政府ハ第一項以
降第七項ノ場合ニ於テハ其ノ農地ヲ買
收シテ、斯ウ云フヤウナ措置ヲ講ゼ
ラレテ居ルノデアリマスガ、茲ニ私ハ
特ニ農林大臣ニ御考ヘテ願ヒタイ點ハ
現在マデノ農村ノアリ方、特ニ今日マ
デ農林省當局ガ獎勵シテ參リ、農村ニ
指導ヲシ續ケテ參ツタ所ノ姿ハ、例ヘ
バ皇國農村ノ確立トカ、サウ云フヤウ
ナコトニ依リマシテ——私モハ贊成
デハアリマスガ、日本ノ農村ガ、餘リ
ニモ過剩ナ勢力ヲ注込ムコトニ依ツテ
辛ウジテ生キテ行クコトガ出來ルト云
フ、畸形的ナ存在ヲ成ベク脱却シテ、
彼ノ「アメリカ」其ノ他ノ先進國ニ於テ
考ヘラレテ居ルヤウナ、單位當リノ勞
働力ニ於テ生産スベキ其ノ量ヲ可及的
大ナラシメルコト云フヤウナ方向ヘ、農
林當局ノ農政指導ノ志向ガ注ガレテ
居ツタト考ヘルノデアリマス、其ノ後
戰爭ト云フ、至ク非常ノ事態「ノルマ
ス」ナラザル事態ニ遭遇シテ、而モ農
村ノ相貌ハ、ソレト共ニ一方ニハサウ
シタ農林省ノ指導ト、一方ニ於テハ食
糧増産ヲ絕對ニスベシト云フ至上命令
トノ二ツノ條件ヲ擔當シテ非常ニ農村
竝ニ農家、特ニ現實ニ耕作シツ、アル
姿ハ極メテ畸形的ナ狀態ニアルト云フ
コトガ結論シ得ラレダラウト考ヘル
ノデアリマス、現實ノ姿ハドウシテモ
土地ヲ持テ餘シテ困ル、此ノ土地ヲ
何トモ耕サケレバナラナイト云フ必
然ノ必要ニ迫ラレテ、之ヲ無理ヤリニ
殆ト嚴命デ小作ニ付シタト云フ場合
モアリマセウシ、又極メテ低位ナ、殆
ト農業勞働ニ習熟セザル都會ノ歸農者
ガ、或ハ三段百姓或ハ二段百姓ト云フ
形ニ於テ、極メテ畸形的ナ存在シテ居
ル形ヲ今日ニ於テハ各地ニ於テ見得ラ

レルノデアリマス、農相ガ御考ヘニナ
ツテ居ラレルヤウナ、働者ニ其ノ土
地ガ按分のニ行ハレテ居ルト云フコト
ハ、斷ジテ言ヒ得ナイダラウト私ハ思
フノデアリマス、其ノ場合ニ此ノ第五
條ヲ御規定ナサルニ於テ、私ハ一ツ考
ヘテ見ナケレバナラナイトハ、斯ウ
シテ日本ノ——私ハ根本論カラ先ツ御
伺ヒ致シタイノデアリマスガ、此ノ所
有權ト耕作權ト云フ二ツノ對立ノ中ニ
日本ノ農村ヲ規定シテ行カウト云フコ
トガ、一ツノ無理ナ段階ニ只今來テ居
ルノデハナイカト考ヘルノデアリマ
ス、私ハ本案ニ依ツテ他日ノ農村ニ豫
定セラレル農業恐慌ガ來タ場合ニ於テ
ハ、恐ラク日本ノ社會ガ資本主義社會
デアル限リニ於テハ、其ノ極メテ前面
ニ零細ナ農民ガ押出サレタ結果、假令
其處ニ幾ツカ「ゴオ・ベレ」ニ依ル
企テガ考ヘラレヤウトモ、其處ニ尙ホ
一抹ノ危險性ナキヲ得ナイノデアリマ
ス、仍テ私ハ茲ニ第五條ト關聯シテ前
段ノ根本問題トシテ御尋ね致シタイノ
ハ、特ニ第十六條ニ於テモ規定致シテ
居ルノデアリマスガ、斯ウシタコト以
外ニ、所有權ト耕作權ト云フモノノ上
ニ、例ヘバ經營權ト云フヤウナモノヲ
取上ゲテ來テ、其ノ經營權ヲ例ヘバ國
ナリ國ノ指示ニ從フ地方、町村ノ農地
委員會ガ持ツテ居ツテ、サウシテ働ク
者ニ適當ニ土地ノ分配ヲナシテ行クト
云フコトガ日本農村將來ノアリ方デア
ルトハ考ヘマスガ、是ハ根本論デアツ
テ、私ノ議論デアツテ、本法直接ノ質
疑ノ對象ニハナリマセウカラソレハ措
キマス、サウ云フコトガ出來ナイナラ
バ、驕ツテ現實ノ問題トシテ考ヘナケ
レバナラナイトハ、現ニ今ヤ先祖傳
來ノ其ノ農地ヲ此ノ法律ニ依ツテ日本

ノ農村民主革命ニ捧ゲヨウトシテ居ル
地主諸君ノ今ノ立場デアラウト私ハ考
ヘルノデアリマス、斷ジテ私ハ地主擁
護ノ建前ト云フモノヲ一片モ持ツテ居
ラナイ積リデアリマスガ、現實ニ於テ
伴ガ農業大學ヲ出タ、其ノ妻ニ百姓ニ
適當ナル者ヲ娶ツタ、今此ノ曠古未會
ハ自作農家トシテ起テ上ラウト考ヘテ
居ル人々モ、此ノ第五條ノ規定ハ餘
リニモ狹イモノデハナカラウカ、私ガ
最初ニ指摘致シマシタ、極メテ畸形的
ナ耕作狀態ヲ續ケテ居ル日本ノ農村ノ
アリ方ニ於テ、丁度歸農ノドサクサ約
レニ——「アノ戰時ノドサクサ紛レニ耕
作權ヲ獲得シタ者ニハ極メテ手厚イ保
護ガナサレテ居ル、而モ其ノ時期ハ戰
時ト云フ、凡ソ平常ノ時期ヲ以テハ豫
測スルコトノ出來ナイ時期ニ定メラレ
タ此ノ一線ガ、而モ今後平和ニナリ、
今後永ク繼續セラルベキ農村ノ姿ニ押
付ケラレルト云フコトニ於テハ、其處
ニ私ハ社會公平ノ原則ニ缺クル所ガア
ルノデハナカラウカ、之ヲ換言スレ
バ、現ニ土地ノ耕作者ガ所有權ヲ持ツ
テ居ツテモ、此ノ所有權ハ耕作權ヲ持
タナイ一片ノ、例ヘバ債務ノヤウナモ
ノデアルト假定致スナラバ、最早是ハ
地方的ニ考ヘテ見テモ、其ノ家屋ノ構
造ガ、其ノ農業ノ設備ガ直チニ自作農
タルニ轉換シ得ル幾多ノ群ヲ空シク失
望ノ彼方ニ追ヒ去ルト云フコトガ、曠
古未會有ノ此ノ法案ヲ實行スルニ當ツ
テノ正シイ考ヘデアルカドウカ、友愛
ヲ基調トシテ居ル現内閣ノ農政トシテ
考ヘラレル一項デアルカ、端的ニ結論
ヲ急ギマスナラバ、私ハ此ノ第五條
ノ第六號若シクハ第七號ノ中間邊リ
ニ、例ヘバ此處ニ、決シテ是ハ地主ノ

諸君ニ對シテ擁護ノ立場デハナク、斯
カル社會公平ノ原則ノ上ニ立ツテ、一
例セバ、農地所有者ニ其ノ家族ガ其ノ
所有農地ニ就キ自作ヲ耕作スルコトヲ
適當トシ、且ツ市町村農地委員會ガ妥
當ト認ム場合ニ於テハ、第三條第二
號ノ範圍ヲ超エナイ農地耕作部分ニ付
テハ買上ヲ行ハナイト云フヤウナ一
目ヲ、此ノ法ノ明文ノ上ニ殘シテ置
ト云フコトモ亦、私ハ凹凸澁シテ現狀
ニ於テハ、農地革命ヲ圓滿ニ行フ上ニ
於テ必要デハナイカト云フノガ、私ノ
御伺ヒシタイト考ヘテ居ル第一點、是
ガ其ノ筋ノ「ディレクティヴ」ニ依ツテ
不可能ナリト農相御考ヘノ場合ニ於テ
ハ、例ヘバ私ガ今披露致シマシタヤウナ
場合ニ於テハ、此ノ睡リ所有權ニナツテ
居ル土地ノ耕作權ハ、町村ノ農地委員
會ガ適當ト認メ、且ツ明日カラ鐵ヲ握
ツテ田圃ヘ行ツテ、他ノ一方ニ於テハ
農村文化ヲ背負ヒ、一方ニ於テハ村ノ
中堅タルコトガ出來ルヤウナ者ニ、例
ヘバ其ノ所有權ニ對シテ或ル程度ノ耕
作權ヲ認メテ行クト云フヤウナ法ノ措
置ヲ第二ニ於テ御考ヘ願フコトガ出來
ナイカドウカ、ソレガ出來ナイトセ
バ、セメテ第十六條ニ於テ「政府ハ、
第三條ノ規定により買収シタ農地及ビ
政府ノ所有ニ屬する農地ニ命令で定め
るものを、命令の定めるところによ
り、その買収の時期において當該農地
に就キ耕作の業務を営む小作農その他
命令で定める者で、自作農として農業
に精進する見込のあるもの」詰リ自作
農トシテ農業ニ精進スル見込アル者
ニ、優先的ニ是等ノ諸君ヲ加ヘルノ御
意思ガアルカドウカ、此ノ三點ハ私ハ
本案ヲ極メテ圓滿ニ遂行スル上ニ於
テ、例ヘバ所有權ト耕作權トノ上ニ物

件トシテ經營權ト云フモノヲ政府ガ
設定シテ、自分自身ガ働ク者ニ農地ヲ
分配スルノダト云フヤウナ、農業一本
ニ專心行フコトガ困難ナリト思考セラ
ル、内外ノ情勢ニ於テハ、セメテ本法
ニ於テ此ノ程度ノコトガアツテ然ルベ
キデハナカラウカト私ハ考ヘルノデア
リマスガ、農林大臣ノ御考ヘ一ツ承
リタイノデアリマス
○山添政府委員 只今ノ問題デゴザイ
マスケレドモ、是ハ今ノ土地ガ根本的
ニ足リナイト云フ所カラサウ云フヤウ
ナ事情モ起ツテ來ル譯デゴザイマス
ガ、此ノ法案ノ全體ノ建前ト致シマシ
テハ、現狀ニ立脚ヲシテ、サウシテ土
地改革ノ仕事ヲヤツテ行クノデアリマ
シテ、之ヲ將來ノ期待ト云フ所マデ擴
ゲテ參リマス、結局實行ノ場合ニ於
キマシテ、此ノ法案ガ實施出來ナイ、
斯ウ云フヤウナ結果ニ立至ルダラウト
思フノデアリマス、隨テ今御話ニナリ
マシタヤウナ場合ト雖モ、結局其ノ若
イ人ガ自作ヲシヨウトル土地ハ、他
ニ耕作シテ居ル人ガアル譯デアリマ
ス、隨テ是ハ其ノ事實ニ基イテ之ヲ現
ニ耕作ヲシテ居ル人ノ自作地ニシテ參
ル、斯ウ云フ風ナ建前ニナツテ居ル、
ソレヲ將來ノ事柄ヲ考慮ニ入レテ、其
ノ儘ニシテ置クト言ヒマシテモ、ソコ
ニ確實性モナケレバ、又一波瀾ヲ起サ
ズニハ已マス、斯ウ云フコトニナルダ
ラウト思フノデアリマス、ヤハリ此ノ
法案ニアリマス通りノコトデ進ンデ行
クコトガ實際適切ダラウ、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、又第十六
條ノ關係ニ於テ同様ナコトヲ述ベラレ
タノデアリマスガ、此ノ第十六條ノ關
係ニ於テ覽渡ス人ト言ヒマシテモ、結
局現實ニ其ノ土地ノ上ニ耕作シテ居ル

相當トスル、而モ農地委員會ガソレヲ
認メル、斯ウ云フ一ツノ「システム」ニ
依リマシテ、其ノ問題ヲ具體的ニ解決
シテ行クト云フコトニ致シテ居ルノデ
アリマス

ソレカラモウ一ツノ問題ハ、家族勞
働ノ變化ト土地ノ保有關係ノ問題デア
リマスガ、是ハアナタノ御言葉ノ中ニ
アリマシタヤウニ、假ニ今家族勞働ノ
點カラ言ツテ、「マキシマム」ナ勞働ニ
ナツテ居ルモノガアル、ソレガ三町步
ナラ三町步ト云フモノヲ耕作シテ居ル
ト假定スル、ソレガ何年カノ後ニハ、

家族が死ンダリシテズツト滅ツテ行ツ
テ二町歩シカ耕ヤセナイト云フコトニ
ナルト、今ノ事情デ行ケバアトノ一町
歩ト云フモノハ小作ニ出セル、地主バ
一町歩持チ得ルコトニナツテ居リマ

ス、而シテ此ノ一町歩ヲ保有スルコトハ、成程一面ノ論理カラ言ヘバ如何ニモ矛盾シテ居ルヤウデハアリマスガ、長イ將來ヲ見テ見レバ、サウ云フ「ケース」モ起ツテ來ルノデ、是ハ經營面ニ一ツノ幅ヲ持タセルト云フ點カラ言ヘ

バ、ヤハリ一町歩程度ノモノハ保有セ
 シメテ置クト云フコトモ、日本ノ農政
 ニ取ツテハ十分意味ガアルノデハナイ
 カ、斯ウ私ハ思ツテ居ルノデアリマシ
 テ、只今ノ所サウ云フヤウナ建前カラ
 其ノ法案ガ出来テ居ル、斯ウ云フヤウ

ニ考ヘテ居リマス
○寺島委員 大臣ノ御意向モ能ク分リ
マシタ、第五條乃至第十六條ノ建前ニ
於テハ、第十六條ノ例ヘバ追加其ノ他
ニ依ツテハ大體ヤリタクナイト云フヤ
ウナ風ニ私ハ只今了解致シタノデアリ

マスガ、地主小作ノ相對ノ場合ニノミ
是ガ認メラレルト云フヤウニ結論ハ相
成ルノデアツテ、此ノ點ハ後來本法ガ

適用ザル場合ニ於テ、現實農村ノ中ニ幾ツカノ排撃トナツテ、我々が當面シ、政治家トシテ農村ヲ經過リ歩ク場合ニ於テハ、回答ニ是レ第スルヤウナ問題トシテ殘ルト云フコトヲ、我々本案ノ審議ニ當リテ委員ノ一人トシテ認メザルヲ得ナイト云フコトヲ考ヘルト、是ハ一片ノ誤ナキヲ得ナイ問題デアリマス、サレバ私ハ日本ノ土地ノ所有形態乃至耕作形態ヲ、今日ノヤウナ單ナル所有權トカ耕作權トカ云フ兩者ノ對立ノ儘ニ置イテオカラスウ云フヤウナコトニナルノダ、大臣が先日モ述ベテ居ラレタヤウニ、日本ノ農業ノ上ニ今後企テラレベキ幾ツカノ機械化ナリ、或ハ耕作面積ヲ擴ゲルコトニ依ツテ生ズル勞働ノ負荷率ノ遞減、斯ウ云フヤウナ問題ヲ取上ゲル上ニ付テモ、寧ロ耕作權、所有權ノ上ニ、例ヘバ經營權ト云フヤウナモノヲ設定シテ、耕作權ト云フヤウナモノハ、ソレニ睡ラセテ、是ハ個人ノ取扱フベキ問題カラ、更ニ國ナリ或ハ國ノ委託ニ依ル地方ノ團體ナリガ、取扱フト云フヤウナ措置ヲ將來ニ於テ御考ヘカドウカ、是ダケヲ大臣ニ御伺ヒシテ置キマス

ノデアリマス、現在ノ農地ノ改革ニ於キマシテモ、勿論最後ノ判定ニナリマス所ハ、只今申上ゲマシタヤウニ、耕作權トカ、所有權ト云フコトヨリモ、モウ一ツ高イ國民ノ經濟ノ上カラ言ツテ、ドチラガ増産ニナルカ、ドチラガ、土地ノ生産力ヲ上ゲテ國全體ノ爲ニナルカト云フ點カヲ判定ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマスノデ、現在ノ農地制度ノ改革ト云フモノハ、自作農ト云フモノヲ作りマシテ、其ノ自作農ト云フ中小農民ヲ基礎ニシテ、今後ノ勤キ、色々ノ農政ヲ行フテ、斯ウ云フヤウナ建前ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ基礎ニシテ、今後ハサウ云フモノノ實際ノ經營ナリ、構成ナリト云フモノヲ、國民經濟ノニ最大ノ效果ガ舉リマスヤウニ、色々ナ手段ト云フモノヲ、今後農林行政トシテ考ヘテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○寺島委員 宜シウゴザイマス
○藥製委員長 平野君
○平野(市)委員 第五條ノ第三號ノ第四號ニ付テ御尋ネ致シタイと思ヒマス、試驗場或ハ農學校ガ試驗ノ爲ニ土地ヲ使ツテ居リマス、是ガ縣有地、國有地デアツタラ問題デハナイガ、試驗場ト雖モ、農學校ト雖モ地主カラ土地ヲ借りテ作ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ土地ハ本法カラ言ツテドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスガ、買收ノ對象ニナラヌデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シテ置キマス
○山添政府委員 第三號ノ場合ニ問題ニナリマスノハ、結局農學校等デ試驗研究ニ使ツテ居リ、且ツ其ノ土地ヲ他ノ人カラ借りテ居ルト云フ場合デアリマス、其ノ場合ニ、其ノ借りタ土地ヲ國ガ買收シテ農學校ノ所有ニスル、斯ウ云フコトヲシナイト云フノガ第五條ノ意味デアリマス、隨テ地方長官ノ指定シマシタサウ云フモノハ、小作地デアリマシテモ買收ノ對象ニナラナイ、斯ウ云フ意味デアリマス
○平野(市)委員 ソレハ能ク分ツテ居ルノデス、此ノ法案デアリナイ土地ヲ今度地主ガ宅地トシテ賣ル場合ニ、地主ガ自分ノ勝手ナ値デ以テ賣レルノデアリマスガ、之ヲ尋ネテ居ルノデアリマス

圓、否何百圓賣ルト云フヤウナ計畫ヲシテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ計畫ハ、今後私ハ絕對ニ許スベキデナカラウト存ジマス、何年先ニ家ガ建ツカ分ラヌヤウナモノハ、現在畑デアツタナラ畑ノ相場デ、田デアツタナラ田ノ相場デ一旦國ガ買上ゲテ、サウシテ之ヲ小作人ニ讓ツヤルベキガ正シイノダと思ヒマス、サウシテ如何ニ土地ガ發展シテ宅地ニナツテモ、其ノ價格ハ坪何十圓、坪何百圓ト云フヤウナ價格デナク、ヤハリ實價價格ノ何倍ト現在決メテアル位ノ相場賣却スベキガ正シイと思フノデアリマス、不勞所得ニ依ツテ莫大ナ利潤ヲ取ルト云フヤウナコトハ、今後許シテハナラヌと思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイ

○山添政府委員 第三號ノ場合ニ問題ニナリマスノハ、結局農學校等デ試驗研究ニ使ツテ居リ、且ツ其ノ土地ヲ他ノ人カラ借りテ居ルト云フ場合デアリマス、其ノ場合ニ、其ノ借りタ土地ヲ國ガ買收シテ農學校ノ所有ニスル、斯ウ云フコトヲシナイト云フノガ第五條ノ意味デアリマス、隨テ地方長官ノ指定シマシタサウ云フモノハ、小作地デアリマシテモ買收ノ對象ニナラナイ、斯ウ云フ意味デアリマス
○平野(市)委員 ソレハ能ク分ツテ居ルノデス、此ノ法案デアリナイ土地ヲ今度地主ガ宅地トシテ賣ル場合ニ、地主ガ自分ノ勝手ナ値デ以テ賣レルノデアリマスガ、之ヲ尋ネテ居ルノデアリマス
○山添政府委員 ソレハ價格統制ガゴザイマスレバソレニ依リテ賣ルヤウナ計畫、自由デアレバ自由ト云フコトデ、此ノ農地ノ價格ニハ農地デナイモノトシテ賣ル場合ニハ關係ガゴザイマセ

ス、但シソレデモ農地トシテ賣ル場合
ニハ農地ノ價格ニ依ル、斯ウ云フ譯デ
アリマス

○藥梨委員長 麻生君

○麻生委員 今ノ問題ニ關聯シテデゴ
ザイマスガ、第五號ニ付テデアリマス
ガ、都市計畫事業ニ依ツテ新築又ハ改
築シテ道路ノ兩側、道路ノ幅員ノ約五
倍ノ土地ハ事業費ノ三分ノ一又ハ四分
ノ一ニ相當スル金額ヲ受登者負擔トシ
テ徵收シテ居ル、サウ云フ場合は等ハ
第五號「詰リ」近く土地使用ノ目的を變
更することを相當とする農地」トシテ
認メラレカドウカ

○山添政府委員 費用負擔ヲシタト云

フコトハ、必ズシモ其ノ儘デ以テ農地
以外ニナルモノト云フ風ニ確實ニ見ル
ト云フコトニハナラヌト思ヒマス、併
シソレハ具體的ナ場合ニ於キマシテ判
斷スレバ宜イ譯デアリマシテ、今ノ
所費用負擔ヲシタカラ直チニト云フ譯
ニハ參リマセウガ、一般ノ狀況ヲ考ヘ
テ判定サレト思ヒマス

○麻生委員 ヤハリ其ノ條項ニ該當ス

ルヤウナコトデスガ、都市計畫ニ依リ
マシテ現ニ區劃整理ヲ行ツテ居リマス
ガ、形式的ニハ耕地整理組合ニ依ツ
テヤツテ居ルノガ各所ニ相當アル、サ
ウ云フ場合ニソレラドウ云フ風ニ御認
メニナルカ

○山添政府委員 是ハ第五號ニ書イテ

アルコトデアリマス、是ハ前ニモ二度
バカリ御答ヘ致シタコトガアリマス
ガ、ソレナルガ故ニ直チニ宅地ニナル
ト云フコトニハナリマセウ、ヤハリ具
體的ナ判斷ガ要ル、斯ウ云フコトナ
デス

○麻生委員 ソレカラ第六號ノ場合

ニ、一時預ケタ自作農地ノ外ニ、地主

的ナ所有一町歩ト云フモノヲ御認メニ
ナルノカドウカ

此ノ項デ御質問シタ方ガ宜イカドウ
カ分リマセウガ、序デアリマスカラ御
尋ネシタイト思ヒマスガ、耕地整理施
行中ノモノデ、マダ換地配當未了ノモ
ノニ付テハ、農地ノ耕作或ハ耕地整理
施行ノ便宜其ノ他ノ理由ニ依ツテ、一
時假配當の耕作セシメテアルモノガ
アルノガ普通ノ狀態デアリマス、ソコ
デ此ノ場合ニ自作農地設定ニ基準トナ
ルベキ耕作ノ段別ト云フモノハ、整
理施行前ノ各耕作段別ヲ基準トシテ
定メルノデハナイカト思フノデアリマ
スガ、其ノ點ヲ一ツ確カメテ置キタイ
ト思ヒマス

○山添政府委員 第六號ノ場合ニ於キ

マシテハ、結局一町歩ノ外ニ、元自作
ヲシテ居リマシタ範圍ノ土地ガ一町歩
ヲ超シテ居ル部分デケル認メルノデア
リマシテ、原則トシテ一町歩ノ保有ヲ
認メルト云フノガ、別口トシテ加ハ
ル、斯ウ云フ意味デハゴザイマセウ、
隨テ一町歩同時ニ二町歩ヲ自作シ
テ居ツタ、其ノ二町歩ヲ自作シ
タト云フ場合ニ於キマシテハ、其ノ二
町歩方返シテ賣ヘルト云ヒマスガ、政
府ガ買収シナイト云フコトデアリマシ
テ、其ノ外ニ更ニ一町歩保有出來ル、
斯ウ云フ意味デハゴザイマセウ

○山添政府委員 是ハ第五號ニ書イテ

アルコトデアリマス、是ハ前ニモ二度
バカリ御答ヘ致シタコトガアリマス
ガ、ソレナルガ故ニ直チニ宅地ニナル
ト云フコトニハナリマセウ、ヤハリ具
體的ナ判斷ガ要ル、斯ウ云フコトナ
デス

○麻生委員 ソレカラ第六號ノ場合

ニ、一時預ケタ自作農地ノ外ニ、地主

的ナ所有一町歩ト云フモノヲ御認メニ
ナルノカドウカ

此ノ項デ御質問シタ方ガ宜イカドウ
カ分リマセウガ、序デアリマスカラ御
尋ネシタイト思ヒマスガ、耕地整理施
行中ノモノデ、マダ換地配當未了ノモ
ノニ付テハ、農地ノ耕作或ハ耕地整理
施行ノ便宜其ノ他ノ理由ニ依ツテ、一
時假配當の耕作セシメテアルモノガ
アルノガ普通ノ狀態デアリマス、ソコ
デ此ノ場合ニ自作農地設定ニ基準トナ
ルベキ耕作ノ段別ト云フモノハ、整
理施行前ノ各耕作段別ヲ基準トシテ
定メルノデハナイカト思フノデアリマ
スガ、其ノ點ヲ一ツ確カメテ置キタイ
ト思ヒマス

○麻生委員 第六號ノ自作農地ノ所謂一
時預ケタ土地、之ニ對シテ一寸合點ガ
行カスト思ヒマスガ、此ノ預ケタ土地
ハ近ク自作スルモノト認メテ、其ノ土
地デケハ買上ゲナイ、斯ウ云フノデス
カラソレ以外ニ尙ホ一町歩デケハヤハ
リ地主的所有トシテ認メラレルヤウニ
考ヘラレルガ、其ノ認メラレナイ根據
ハ何處ニアルノデスカ

○和田國務大臣 例ハ自作農地ガ疾病

其ノ他ノ理由デ二町歩耕シテ居ルノ
二町歩全部一時貸シテ居ル、斯ウ云フ
場合、ソレガ全部自作農地ニ相當スル
モノトシテサウ云フ時ハ二町歩ガ全部歸
ツテ來ル譯デアリマス

○麻生委員 其ノ以外ニ若シモ其ノ人

ガ或ハ三町歩以上持ツテ居ル場合、モ
ウアト一町歩デケハ持テ居ルト云フコト
ガ當然ノヤウニ考ヘラレルノデアリマ
スガ……

○山添政府委員 是ハ本來第六號ノ場合

ハ小作地ノ保有ハ一町歩ニ制限スルト
云フノガ原則デアリマシテ、第五條ノ
六ハ、其ノ場合ニ例外的ニ元自作シテ
居ツタ範圍マデハ認メヨウト云フコト
デアリマスカラ當然其ノ一町歩ガ基礎
ニナル、元自作シテ居ツタモノガソレ
ヨリモ廣イ場合ニ、其ノ廣イ部分デケ
ル例外ノ意味デアリマス、隨テ又法制的
ニ見マシテモ、第四頁ノ二行目等ニ書
イテアリマスコト、斯ウ云フコトノ反
射的ニモサウ云フ意味ガ出ル、斯ウ云
フ譯デス

○北(政)委員 第一項「國又は公共

團體ガ云々、是ハ國家ガ借りテ居
ル土地ノコトヲ意味スルモノカ、貸シ
テ居ル土地ノコトヲ意味スルモノカ、一
分リニクイト思ヒマスガ、私ハ國家ガ
借りテ居ル場合ニ於テ、サウスルト今

公共ノ用ニ供シテ居ルガ、來年カヲ是
ハ止メルカモ知レヌト云フモノニ對シ
テハ自作農創設ヲスル意思ガアルノカ
ナイノカ、斯ウ云フコトヲ聽キタイ
其ノ次ハ「試驗研究又は農事指導」
ウ分ケテ書イテアリマスガ、ソレナラ
バ採種圃ハ指導トモ言ハレルシ、試驗
研究トモ言ハレル、優良品種採種圃ヲ
農業會其ノ他デヤツテ居ルト云フモノ
ハ、是ハ當然書ク必要ガナイ

其ノ次ハ都市計畫ノ場合デスガ、都
市計畫ヲヤル場合ニ於キマシテハ、都
市計畫委員ノ方デ勝手ニ決メマシテ、
其ノ地方ノ市町村農地委員會ニ何等ノ
相談モナク地方長官ガ勝手ニヤラレ
ル、大體ニ於テ日本ニ於テハ都市ノ勢
力ガ強イ、都市ノ運動ハ直ク總ク農
村ノ運動ハ殆ド總ク農地ニ下サラス、
斯ニ意味合ニ於テ私ハ明カニ其ノ場合ニ
ハ農地委員會ニ協議スベキコトカ、
或ハ農地委員會ノ承認シタモノデナケ
レバ都市計畫ノ區域ト云フモノニ編入
スルコトガ出來ヌト云フヤウナコトヲ
ハツキリシテ置ク必要ガアルノデハザ
イカト思フ、都市ハ實ニ勝手ニ甚ダ廣
イ面積ヲ其ノ都市ノ區域ニ入レ、色々
ナ計畫ヲシテ、計畫デハ道路デケラ作
ツテ居ルガ、先刻御話ノ如ク實際作ラ
ヌ、實際ニ於テハ其處ハ小作地ニナツ
テ居ル、斯ウ云フ關係ヲ此ノ際ニ一掃
シテ置ク必要ガアルノデハナイカ、斯
ウ考ヘルノデアリマスガ、御所見ヲ承
リタイ

○山添政府委員 國又ハ公共團體ガ所
有シテナイ、詰リ人カラ借りテ居ル土
地ト云フコトガ當然コト、ニ書イテアル
意味デアリマシテ、國自體ガ持つテ居
ルト云フコトデアレバ、本來買フトカ
買ハヌト云フ問題ハ起ラナイノデアリ

○山添政府委員 來年カラ止メルト云

フコトガハツキリシテ居レバ勿論對象
ニナリマス

○江川委員 先程ノ麻生君ノ質問ニ對

シテノ御答辭ニ一寸若シミ込メナイ所ガ
アツタノデスガ、具體的ニ申シマス
ト、斯ウ云フ場合デハナイカト思フノ
デス、不耕作地主トシテ一町歩持つテ
居ツタ人ガ、二町歩ノ田圃ヲ預ケテア
シテ賣ツタト云フ場合、其ノ人ハ、自作
トシテハ二町歩デアリ、不耕作地主ト
シテハ一町歩デアリ、斯ウ云フ人ハ一
町歩持つテモ差支ヘナイノデハナイカ
ト云フコトヲ御尋ネシタイノデス

○和田國務大臣 是ハ第三條第四項ニ

「第五條第七號に規定する農地で命令
で定めるものの面積は、第一項第二號

マ
ス
ソレカラ優良種苗ノ配付ニ當ツテ居
ル農場デゴザイマスガ、是ハ農事指導
ノ目的ニ供シテ居ル土地ト解釋シテ行
ケバ宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘ
マス

ソレカラ都市計畫ノ區域ヲ決マル場
合ニ、農村方面ノ意見ヲ反映シテ決定
スベシト云フ御意見ハ、同感デアリマ
ス、隨テ今後ニ於キマシテハサウ云フ
風ニナリマスヤウニ、關係方面トモ十
分話合ヒラシタイト考ヘマス

○北(政)委員 國ガ買取ルニ違ヒナイ
ガ、來年カラハ國ガ買取ル見込ガナイト
云フノハ、自作農創設ノ對象ニシテ宜
シイノデハナイカ、斯ウ云フコトナ
デス、又都市計畫ノ方ハ分リマシタ
ガ、最初ノ方ハ明文ニ書カヌデモ、農
事指導ノ目的ニ供シテ居ル農地ニハツ
キリ入ル、斯ウ云フコトナラソレ宜
シイ

○山添政府委員 來年カラ止メルト云

フコトガハツキリシテ居レバ勿論對象
ニナリマス

○江川委員 先程ノ麻生君ノ質問ニ對

シテノ御答辭ニ一寸若シミ込メナイ所ガ
アツタノデスガ、具體的ニ申シマス
ト、斯ウ云フ場合デハナイカト思フノ
デス、不耕作地主トシテ一町歩持つテ
居ツタ人ガ、二町歩ノ田圃ヲ預ケテア
シテ賣ツタト云フ場合、其ノ人ハ、自作
トシテハ二町歩デアリ、不耕作地主ト
シテハ一町歩デアリ、斯ウ云フ人ハ一
町歩持つテモ差支ヘナイノデハナイカ
ト云フコトヲ御尋ネシタイノデス

○和田國務大臣 是ハ第三條第四項ニ

「第五條第七號に規定する農地で命令
で定めるものの面積は、第一項第二號

マ
ス
ソレカラ優良種苗ノ配付ニ當ツテ居
ル農場デゴザイマスガ、是ハ農事指導
ノ目的ニ供シテ居ル土地ト解釋シテ行
ケバ宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘ
マス

ソレカラ都市計畫ノ區域ヲ決マル場
合ニ、農村方面ノ意見ヲ反映シテ決定
スベシト云フ御意見ハ、同感デアリマ
ス、隨テ今後ニ於キマシテハサウ云フ
風ニナリマスヤウニ、關係方面トモ十
分話合ヒラシタイト考ヘマス

又は第三號に規定する小作地又は自作地の面積にこれを算入しない。斯ウ云フ規定ガアル譯デアリマスカラ、隨テ茲ニ載セテ居ナイ、七號以外ノモノハ自作地ノ面積ニ之ヲ算入スル、斯ウ云フ解釋ニナリマシテ、今麻生サノノ仰シヤツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ其ノ他ニ尙且ツ一町歩ガ持テルト云フコトニハナラナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○葉梨委員長 ソレハ大臣斯ウ云フコトデハナイノデスカ、例ヘバ、五町歩ナラ五町歩持ッテ居ル者ガ出征シタ、其ノ出征スル前ニ其ノ人ハ二町歩ナラ二町歩ヲ耕シテ居ッタガ、應召カラ復員シテ其ノ二町歩ヲ再ビ耕スト云フ時ニ、今現ニ五町歩ノ地主デアッテ、サウシテ二町歩ヲ自作スルノダト云フ時ニハモウ一町歩持テテハナイカ、當然サウ解釋出來ルノデアリマセムカ、サウデナケレバワカシナ法律ニナリマス

○和田國務大臣 ヲカシイノデアアリマセム、第五條ノ六號ト云フモノガ茲ニ書イテアルコトハ、國ガ自作農地ノ創定スル場合ニ、買収ノ對象ニナラナイ土地ヲ例外的ニ認メテ居ル譯ナノデアリマシテ、原則トシテハ一町歩シカ認メナイ、斯ウ云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、此ノ一町歩ニ算入シナイ面積ハ、唯第五條ノ七號ニ規定スル農地ヲ命令デ定メルモノダケニ限ッテ居ルノデアリマス、隨テソレ以外ノモノハ當然算入スル、斯ウ云フコトニ法律ノ趣旨ガナッテ居リマス

○葉梨委員長 サウスルト第六號ノ「疾病その他命令で定める事由に因つて」云々ノ所ハ、今マデ作ッテ居ッタ者ガ去年ノ十一月二十三日現在ノ際ニ

於テ偶々自作シテ居ナカッタト云フ爲ニ、一町歩以外ハ失効スルト云フ意味デアリマス、サウスルト此ノ法律ハ特ニ此ノ規定スル理由ガ失ハレルヤウニ感ジマスガドウナリマス

○和田國務大臣 サウデアアリマセム、假ニ自作農ガ十一月ノ一定ノ期日ニ耕シテ居ナイ土地ガアル、ソレ等ノモノデ、本來カラ言ヘバ、是ハ面積關係カラ當然買収ノ對象ニナルモノガアル譯デアリマス、併シ其ノ買収ノ對象ガ適當ト認メテ、本當ニ自作スルノ述ベタヤウナ理由ニ依ッテ農地委員會ガ適當ト認メテ、付テハ自作農トシテ從來通り自作サセテモ宜イノデアリカ、許サレタ範圍内デアル、ソレダケノコトナノデアリマス

○葉梨委員長 サウスルト地主トシテノ保有一町歩ノ點ハ當然棄權サセラレルト云フノデスカ

○和田國務大臣 隨テ其ノ一町歩ト云フモノハ、是レ以外ニ「アラス」一町歩ト云フコトニハナラナイ

○松澤(一)委員 調停裁判ナド使用貸借ノ地主ガ意地ニナッテ、仕様ガナイ一年モ貸スカ、マア其ノ中ニハ何トカナルドラウト云フノデ、調停ナド使用貸借トシテ貸借ニシテ置ク小作契約ナドガアリマスガ、サウ云フノモノニ入りマス、サウ云フ調停成立主義デヤツタト云フヤウナコトモ疾病其ノ他サウ云フ命令ニ入ルカドウカ

○和田國務大臣 是ハ市町村農地委員會ガ兎ニ角適當ト認メナケレバドウモ入ルトハ簡單ニ言ヘナイノデス

○松澤(二)委員 ソレガ法律的ニドウ打突カルカト云フコトデス、假ニ使用貸借ガ調停ナド成立シテ居ル、農地

委員會ハ、アレハ調停デ技術的ニヤツタノダカラ買収ノ對象ニシヨウト言ツテ置イタ場合ニ、ソツチノ方カラ異議ガ出タラドウナリマス、今度ハ調停裁判所ト農地委員會トノ經緯ガドウナルカドツチガ強イモノカ、司法省ノ方ガ居ラレナケレバ、農林省ノ方ダケノ意見デ宜イノデス、農林省ノ方ガ強イノダト云フナラソレデモ宜シイ

○和田國務大臣 私ハ買収ノ對象ニナルト思ッテ居リマス

○大澤委員 此ノ第五條ハ、總括的ニ考ヘテ見テ、其ノ用ヒ方ニ依ッテハ、小作人ガ自作農ニナリタイニモ拘ラズナレナイト云フヤウナ被害ガ相當甚大ナモノガアルト思フノデス、其ノ字句ノ點ヲハツキリシテ戴キタイト思フノデス、例ヘバ第五條ノ五號デスガ、是ハ多分舊農地調整法ノ第七條ノ二ヲ此ノ五號ニ變ヘタモノダト思フノデスガ、詰リ「近く土地使用の目的を變更することを相當とする農地」云々、是ハ市街地ノ農地委員會ガ都道府縣ノ農地委員會ノ承認ヲ得ルト「近く土地使用の目的」云々ニ依ッテ、國家ニ土地ヲ賣ラヌデモ宜イト云フコトニナル譯デスネ、ソコデ其ノ「近く」ト云フノハ、一體ドウ位ノ時間ヲ概念トシタモノカ、之ヲ一應ハツキリサセテ貰ヒタイト思フノデス

○和田國務大臣 「近く」ト云フノハ、法律デハ振ッテ例ガ餘リナイノデアリマス、此ノ前ノ農地調整法ノ時ニ使ツタノデスガ、アレト同ジヤウニ解釋シテ居リマシテ、個々ノ具體的ナ色々ナ事情カラ見テ、極ク近イ將來ト云フ意味デアッテ、是ハ其ノ時ノ事情ニ依ッテ判定スル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

○大澤委員 是ハ將來市街地アタリノ農地委員會デハ非常ニ問題ニナルト思フノデスガ、ドウモハツキリシマセム、大體二年位デスカ、前ノ農地調整法ヲ見ルト、第一條ノ二ニハ二年ト云フコトヲ謳ッテ居リマスガ、是ハ此ノ前後デスカ

○和田國務大臣 ソンナニ長クハナイノデアリマス、他ノ所デ遲滞ナクトカ、サウ云ツタ言葉ヲ使ッテ居ル譯デアリマスガ、ソレヨリハ何デスケレドモ、具體的ナ事情ニ依ッテ決定スルノデ、二年トカ何トカ、ソナ長イ期間ハ豫定シテ居リマセム

○大澤委員 第七號ノ新開墾地ト云フモノハ、收購ノ著シク不定ナル農地トシテ委員會ガ認メタ場合ニハ買収スルコトヲ相當ト認メル、斯ウアリマスガ、此ノ新開墾地ト云フ概念、最モ今「近く」ト同ジデ、今マデノ開墾地ノ中デモ所謂此ノ新開墾地ニ該當スルモノハ相當アルト云フ見込、ソレトモ是カラ相當新開墾地ト云フモノガ出來ル譯デスガ、ソレヲ主ニ對象トシテ、其ノ場合ノ新開墾地ト云フモノモ諷ツタ譯デセウカ、收購ノ著シク不定ナル農地ト云フノモ、用ヒ方ニ依ッテハ不相當ナルコトニナルコトガアルト思フガ、立案者ノ方デハ大體ドウ位ノ見當デ第七號ノ内容ヲ考ヘテ居ルノデスカ

○和田國務大臣 御話ノ點ハ御尤モナ點モアルノデアリマシテ、是ハ前ニ私讀ミマシタヤウニ、第三條ノ所デ、第七號ニ規定シマスモノハ、此ノ小作地又ハ自作地ノ一町歩ト云フコト、アレニ算入シナイト云フコトニナッテ居リマスノデ、其ノ算入シナイ理由ハ、非常ニ收穫ガ不定デアッテ、之ヲ算入シテ自作農ヲ創定スルト云フコトガ實

際上ドウモ殆ド無意味ダ、斯ウ云フ點カラ考ヘテ居ルノデアリマシテ、具體的ナ例トシマスレバ、近イ過去ニ於キマシテ開墾サレタ土地モ勿論入リマスガ、何處マデモ收購ノ非常ニ不定ナル農地、斯ウ云フコトニ重キヲ置イテ居ル譯デアリマシテ、法ヲ精神ハサウ云フ所ニアリ譯デアリマス

○松浦(憲)委員 サウシマス、若シ國ガ買収シナイ場合デアレバ、或ハ一町歩以上小作地トシテ殘シ得ルト云フヤウナコトニモナルノデスカ、如何デスカ

○和田國務大臣 左様デアリマス、併シ開墾地、燒畑等デ、市町村ノ農地委員會ガ是ハ政府デ買収スルコトハ相當ダ、斯ウ認メマシタモノハ、アノ制限ノ面積ノ中ニ如ヘナイ譯デアリマスカラ、或ハ一町歩デモ二町歩デモ持テルトコトニナルドラウト思ヒマス

○松浦(憲)委員 デハ、若シ斯ウ云フ土地ガアリマシテ、斯ウ云フ土地バカリヲ殘サレタ場合ニ於キマシテモ、地主ハ之ニ對シテ何等異議ヲ申立テルコトハ出來ナイノハドウ云フモノデセウカ

○山添政府委員 此ノ第三條ノ、要スルニ四頁ニ書イテアルモノニハ算入シナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、隨テ粹外デアリマス、又算入シナイノデアリマスカラ、例ヘバ小作地デアリマシテ、斯ウ云フ土地ヲ三町歩持ッテ居ル、ソレデハ三町歩アルカラ、普通ノ、是レ以上ノ土地ハ含マナイノカト云フト、サウデアハナイノデアッテ、其ノ以外ノ土地ハヤハリ含ム、是ハ本來粹ノ外ニアル、斯ウ云フ譯デアリマス

○葉梨委員長 第五條ハ宜シウゴザイマス

○宜シイト呼ブ者アリ

○養梨委員長 ソレデハ第六條ニ入リマス

○大和田説明員 (朗讀)

第六條 政府が第三條の規定による買収をするには、市町村農地委員会の定める農地買収計画によらなければならない。

農地買収計画においては、買収すべき農地並びに買収の時期及び對價を定めなければならない。

前項の對價は當該農地につき地租法による賃賃價格があるときは、田にあつては當該賃賃價格に四十(農地調整法第六條の三第一項の規定により地方長官の定めた率があるときは、その率)、畑にあつては當該賃賃價格に四十八(同條同項の規定により地方長官の定めた率があるときは、その率)を乗じて得た額(同條同項の規定により地方長官の定めた額があるときは、その額)の範圍内においてこれを定め、當該農地につき地租法による賃賃價格がないときは、市町村農地委員会が地方長官の認可を受けて定めた額による。但し、特別の事情に因つて市町村農地委員会が地方長官の認可を受けて當該農地につき額を定めたときは、その額による。

市町村農地委員会は、農地買収計画を定めるには、左の事項を勘案してこれをしなければならぬ。

一 自作農となるべき者の農地を買い受ける機會を公正にすること。

二 自作農となるべき者の耕作する農地を集團化し、且つ當該地方の状況に應じて當該農地につき田畑の割合を適正にすること。

市町村農地委員会は、農地買収計画を定めたときは、遅滞なくその旨を公告し、且つ公告から十日間市役所又は町村役場において左の事項を記載した書類を縦覧に供しなければならない。

一 買収すべき農地の所有者の氏名又は名稱及び住所

二 買収すべき農地の所在、地番、地目(土地臺帳の地目が現況と異なるときは、土地臺帳の地目及び現況による地目。以下同じ。)及び面積

三 對價

四 買収の時期

○江川委員 此の買収計画、是が非常ニ重大ナ事業デアルト同時ニ、色々ト問題ヲ起スアラウト思フノデアリマス、先程モアリマシタガ、都市計畫ノ區域附近ニアル土地ヲ買ツテ、ソレハ賣ルコトガ出來ルカドウカ、ソレハ非常ニ價格ノ問題ガ伴フノデアリマス、將來上ル見込ヲ持ツテ居ル所ハ、小作トシテハ買ヒタイ、地主トシテハ賣リタイ、斯ウ云フ問題ハ必ズ起ル、都市近郊ハ殊ニ起ルト思フ、所ガ自然ノ儘ニ今マデズツアル土地ヲ、移動ノナイ土地ナラバ、ソレハ先程話シタ通りニ不勞所得ノヤウナ關係ニナルガ、相當ニ高イ値段デ買ツタ土地デ、サウシテソレガ後ニアル所ノ乘率ニ依ツテ買ハレル、斯ウナリマス土地所有者ハ非常ナ大キナ損害ニナル、ソコデ是等ハ

甚ダシイ例デアリマスガ、例ヘバ一坪三十圓、四十圓、五十圓デモ買ツタ、而モソレハ宅地トナル可能性ノアル所デアリマスカラ、大抵畑ガ多イ、ソレヲ今ノ乘率デ行キマス二圓カ三圓デアリマスカラ、ソコニ爭ヒガ起ルノハ當然デアル、田ノ方デ參リマシテモソレハ色々良イ田モアレバ惡イ田モアレ、ソコデ計畫ヲ立テル場合ニ於テ、農地委員會ガ其ノ計畫ヲ立テルノドト云フコトデアリマスガ、ヤハリ土地ヲ所有シテ居ル者ノ意見ト云フモノハ相當ニ尊重サレナケレバナラヌト私ハ思フ、所有權ハ絕對ノモノデハナイト云フガ、私ハ或ル意味ニ於テソレハ絕對ノモノデアルト思フ、隨テ土地所有者ノ所有權ヲ相當ニ尊重シテ計畫ガ立テラレナクテハナラナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレノデアリマス

○和田國務大臣 土地ノ買収計畫ヲ決定致シマスルノハ農地委員會デアリマス、其ノ農地委員會ニハ地主ノ代表ト小作ノ代表トガ出テ來テ、ソレデ農地委員會ヲ構成致ス譯デアリマス、ソコデ兩方ノ利益ヲ代表スル者ガ出テ、買収計畫ヲ決メル譯デアリマス、民主的ニ決メル、斯ウ云フ意向ニナツテ居ルノデアリマス

○江川委員 言ツテ見レバ、地主ノ代表ト小作ノ代表トガ出テ來マシテ、サウ云フコトヲ決メルノドト云フコトニナリマスガ、ヤハリ案ヲ組ムト云フコトガ元ニナルノデ、サウ云フ案ヲ組ム時ニ、何カ地主ノ所有權ヲ相當ニ尊重シテ、サウ云フ方々ノ意見モ聽イテ案ガ組マレナクテハナラヌト思フ、サウ云フ點ニ付テ私ハ何カ別ナ偏ッ

タ考ヘデ申シテ居ルノデアリマセヌ、唯法律ダケデ行キマス、先程申シマシタヤウニ、三十圓、五十圓デ買ツタ土地二圓、三圓デ賣ラナクテハナラヌト云フヤウナ實情ニナツテ參リマス、サウ致シマスカラ、サウ云フ實情ニ即シテ案ト云フモノガ組マレナクテハナラヌト思フ、サリトテ、サウ云フ高イ價格デ買フベキモノデハナイトスレバ、サウ云フ土地ハヤハリ所有權ヲ持ツテ居ル人ニ持タセルコトガ本當デハナイカ、ソレヲ安ク二圓、三圓デ買ツタ人ハ難デ適當ナ時期ニナリマス、五十圓、七十圓ニ賣リ得ルト云フ土地デアリマス、ソレハ農地トシテ賣ハレナイ、併シナガラ宅地トシテ賣ルコトガ出來ル、私先般質問ノ時ニ、地方長官ノ許可サヘ取ルコトガ出來ルナラバ、是ハヤハリ例外ノ價格ヲ以テ處分スルコトガ出來ルカドウカ、現在ハサウ云フコトニナツテ居ルガ、將來ハドウカト云フコトヲ御尋ネ致シタノデアリマスガ、小作人ガ現在二圓、三圓デ買ツタモノヲ、三十圓、五十圓ニ賣ルト云フコトハ非常ナ利益デアル、其ノ反面ニ於テ、現在ノ地主ガ三十圓、五十圓出シタモノヲ、二圓、三圓デ賣渡スルコト云フコトモ非常ナ大キナ損害デアル、斯ウ云フ點ハ十分所有者ノ意見ヲ尊重シテ計畫ガ立テラレベキモノデハナイカ

○和田國務大臣 御話ノ點ニ於テ、買収計畫ヲ立テマスル時ニ、其ノ前提トシテドウ云フ土地ヲ買フカト云フコトニ付テ、只今第五條ニ於テ御審議ヲ願ヒマシタヤウニ、將來宅地ニナルコトガハツキリシテ居ルヤウナモノハ、先ヅ最初ニ買収計畫カラ抜イテシマフノデアリマス、第五條ノ一項ノ四號、五

號ト云フヤウナ所デモウ抜イテ居ルノデアリマス、又買収計畫ヲ立テテ、小作人ガ自作農ニナリマス其ノ時ニ、小作人ハ農業ニ精進シマスト云フ條件ヲ付ケテ居リマス、隨テ何處マデモ農業者トシテ立ツテ行ク者ガ先ヅ土地ヲ得ルノデアリマス、ソコデソレ等ノ者ガ安イ値段デ買ツテ後ニ高イ値段デ賣ルト云フコトハ、サウ云フ面カラヤレナイヤウニナツテ居ル譯デアリマス、假ニソレガ自作農ニナリマシテ、將來土地ヲ處分スル時デモ、地方長官ノ許可ヲ要スルノデアリマシテ、サウ任意ニ安ク買ツタモノヲ高ク賣ルト云フコトハ出來ナイコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ只今、地主ガ過去ニ於テ高ク買ツタモノヲ安クト云フコトヲ仰セラレマスガ、過去ノ事情ト云フ個人的ナ理由ハ、土地價格ヲ決メル時ニハ考慮ノ中ニ入ツテ居リマセヌ、サウデハナク、土地其ノモノニ付テ、ソレガ生産力ト云フモノヲ正確ニ反映シテ居ルカドウカ、斯ウ云フ見地カラ此ノ價格ト云フモノハ決メテ居ルシ、又ソレガ特別ノ事情ガアル場合ニハ動カセルヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○江川委員 サウ云フ土地ハ賣ラナイコトニナツテ居ルト云フコトハ分リマシタガ、高ク買ツタトカ、サウ云フコトハ考慮ニ入レナイコトニナツテ居ルト云フヤウナコトハ、法律上考慮ニ入レナイコトニナツテ居ルツデモ、實際上ハサウ云フコトニナツテ居ル土地ガ非常ニ多イ、而モ將來自分ノ家ヲスルトカ色々ノ事情デ、此處ノ宅地ニシヨウト云フヤウナ豫定ノ下ニ買ツテ置イタト云フヤウナ所ガ相當ニアル、サウ

云フコトヲ實際問題トシテ考慮ニ加フベキモノデハナイカ、買上ノ際ニ於テ考慮ニ加フベキモノト云フ問題デハナクシテ、サウ云フモノハ、ヤハリ買取ノ際ニ取外スベキモノデハナイカト云フコトヲ申上ゲタリマスガ、只今ノ御話デ能ク分リマシタ

次ニオ終ヒノ方ニ参リマシテ、今度ノ計畫ヲ立テルニ當リマシテ、或ハ耕作スル農地ヲ集團化スル、交換分合ノ關係ヲ考慮スルカ云フヤウナコトヲ計畫ノ上ニ表ハシテ、實行スルコトニナツテ居リマス、是ハ中々大切ナコトデハアリマスガ、又中々容易ニ農村ヲ交換分合トカ農地ヲ集團化ガ出來ルモノデハナク、今マデ農林省等ニ於テ此ノ點ニ非常ナ力ヲ入レ、又其ノ方針ヲ受ケテ、我々地方ノ其ノ方面ノ仕事ヲスル者トシテハ相當無理ヲ掛ケテマデヤツテ居リマスガ、中々容易ニ行カナイ、所ガサウ云フ今マデ容易ニ行カナカッタコト、ソレヲ今度一舉ニ、而モ二年間ニ大體此ノ事業ヲ完成シヨウト云フ方針ノ下ニ、此ノ大キナ事業モ含ンデヤラウト云フノデアリマス、ソコデ大臣ハ本會議デ、此ノ事業ハ強力ナ政府ノ政治力ニ依ツテヤルト云フヤウナ御演説ガアツタノデアリマスガ、斯ウ云フ難カシイ事業ノ前提トシテ、強力ナ政府ノ政治力ト云フコトハ、ドウ云フ意味デアルカ、一寸御聴キ致シタイ

○和田國務大臣 ドウ云フ言葉デ正確ニ表現シマシタカ、一寸私記憶ニナイノデアリマスガ、兎モ角大キナ仕事デアリマスノデ、政府トシテモ本當ニ吐ヲ据エテ仕事ガ出來ルヤウナ機構ヲソレゾレ整ヘテ之ヲヤル、斯ウ云フ譯デアリマス

○江川委員 近頃言フ民主的ニヤツテモ、民主的ニヤレバヤル程中々抄ラナイ、ソレヲ二年間デ民主的ニヤラウト云フノデアリマスカラ、本當ニヤラウトスルナラバ、官僚的ナ、モット強イ何カノ力デヤルヨリ方法ハナイノデハナイカ、サウ云フコトヲ今ノ時代ニ中ヤレモノデハナイイガ、サウ云フ大キナ仕事ヲスルノハ、農地委員會ニ對スル國ノ助成金ト申シマスルカ、サウ云フモノハ極メテ少イヤウニ考ヘマシ、アレハ一體一農地委員會ニ對シテ何程ノ金ヲ助成シ、サウシテソレハドウ云フ者ヲ其ノ農地委員會ニ職員トシテ置ク御考ヘデアアルカ、之ヲ承リタイデアリマス

○山添政府委員 農地委員會ニ投ジマス費用デゴザイマスガ、是ハ本年度分ハ半年分ノ經費ガ計上シテアル譯デアリマシテ、之ヲ一年分ニ引伸バシテ考ヘルト、事業ノ非常ニ進ムベキ豫定ノ農地委員會ニ對シテハ四萬圓、然ラザルモノニ對シテハ三萬六千圓デゴザイマスガ、一農地委員會當リサウ云フコトニ致シテ居リマス、三人ノ書記ヲ置クコトニ致シテ居リマスガ、此ノ三人ノ書記ニ付キマシテハ、特別ニドウ云フ者ト云フヤウナ資格制限ハ設ケテ居リマセメケレドモ、事柄ノ性質ニ鑑ミテ、農業方面ノ知識アリ、特ニ土地ニ付テモ相當ノ心得ノアル人ト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○吉澤委員 今ノ江川委員ノ質問ニ關聯シテ御伺ヒ致シマス、先程上林山委員カラモ御質問ガアツタノデアリマスガ、此ノ農地委員會ノ性格ヲマダハツキリ吞込メナイノデアリマス、農地委員會ハ行政廳デアアル、斯ウ云フ大臣ノ御答辯デアリマスガ、ドウモ此ノ條章ヲ通覽シマシテモ、又農地委員會ニ關スル條章ヲ見マシテモ、何ダカ一種ノ議決機關ノヤウデアリ、何等其ノ性格ガハツキリシテ居ナイ、此ノ大事業ヲ遂行スル上ニドウモアヤナ點ガアルト思フ、サウシテ又市町村トハ何等ノ連繫モナイ、唯農地委員會ノ選舉ラスル時ニ、町村長ガ之ヲ擔當スルコト云フ時シカナイト思フノデアリマシテ、其ノ市町村ノ農地委員長ニ町村長以外ノ者ガナルト云フコトハ當然考ヘラレルコトデアリマスガ、サウ云フ場合ニ、其ノ廳舍モナケレバ、又其ノ下部組織モ持ツテ居ラヌノデアリマシテ、役場ト相反シタ考ヘヲ持ツテ居ルトカ、或ハ餘リ仲ノ好イモノデナイト云フヤウナ人ガ委員長ニナツタ場合ニハ、一體ドウ運營シテ行クカト云フコトハ、全然見當ガ付カヌコトニナリマセヌカト思フノデアリマス、村長ガ農地委員會ノ委員長ニナツタヤウナ場合ニハ、ソレハ運營ガ圓滑ニ行クハ思ヒマスガ、ドウモサウデナイ場合ガ多クアリ勝チナノデアリマスカラ、其ノ個個ノ運營ガ、何處ヲ擱メバ圓滑ニスルコトガ出來ルカト云フコトガ全然分ラナイノデアリマス、サウシテ又行政廳トシマシテ委員會ハアリマシテモ、勿論事務ヲ擔當スルノデアリマスカラ、責任ガゴザイマスガ、其ノ責任ハ委員長ガ負フノカ、委員ガ負フノカ、ソレ等ノ點ニ付テモヤハリ不明確デアリマス、農地調整法ニ其ノ事ガアルト云フ最前ノ御話デアリマシタガ、之ニハ又別ニ勅令ヲ以テ定ムルト云フヤウナコトモ書イテアルヤウデアリマスシ、サウ云フ時ニ、勅令ニ依ツテ其ノ性格或ハ職制、職務ト云フヤウナモノヲ御制定ニナル御見込カラ承リタイト思ヒマス、又今ノ江川委員ノ御質疑ニ關聯シ

テ、此ノ農地調整法ニ於ケル農地委員ノ經費ハ、道府縣ノモノハ道府縣デ持ツ、市町村ノモノハ市町村デ持ツト書イテアルマスガ、今ノ農政局長ノ御答辯ハ、ソレドウ云フ面ニ對スル國費ノ補助或ハ負擔デアアルカ、モウ少シ明確ニ御話願ヒタイト思ヒマス

○山添政府委員 只今ノ市町村農地委員會等ニ關シマス事柄ハ、此ノ法律ノ中ニ組織モ書イテゴザイマスレバ、權限モハツキリ致シテ居ル譯デアリマシテ、隨テ是レ以上勅令デ其ノコトヲ書ク——是ハ非常ナ特例デハゴザイマスガ、其ノ特例ト云フコトハ是レ以上書クコト云フコトハ、別ニ其ノ必要ヲ考ヘテ居リマセス、是ハ勞働委員會等ニ於テモサウデアリマスシ、ソレカラ先程出マシタ土地收用委員會ニ付テモサウデアリマスル、大體法人格ト云フヤウナモノハ勿論持ツテ居リマセヌケレドモ、組織權限サハハツキリシテ居レバ、モウソレ以外ニ關係ノアルコトハナイト思フノデアリマス、又之ノヤリマスル仕事ニ付キマシテハ、農地ノ買收計畫トカ資源計畫ト云フヤウナコトガ主デ、勿論其ノ他ニ此ノ農地調整法ニ書イテ居リマス小作關係ノ處理其ノ他色々ゴザイマスガ、今回ノ自作農創設事業ニ付テ見マスレバ、今ノ計畫ヲ立テルト云フコトガ主デアリマシテ、ソレヲ具體的ニ手續ヲ運ブト云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハ別ノ仕事トシテ府縣或ハ市町村長ト云フヤウナ經路ヲ經テ、例ヘバ買收令書ヲドウ云フ經路デ送達スルカ、或ハ農地證券ヲドウ云フ經路デ交付スルカ云フコトニナリマスルト、是ハ又別ノ系統ノ仕事ニナル譯デアリマス、ソレカラドウ云フ經費ニ對シテ費用ヲ交付スルカト云フ

問題デゴザイマスガ、是ハ法制的ニ見マスルト、市町村ニ市町村農地委員會ヲ置クコト云フコトデゴザイマシテ、其ノ費用ハ市町村デ持ツコトニナツテ居リマス、併シ其ノ實質ニ於キマシテハ、市町村ニ成ベク御迷惑ヲ掛ケナイヤウニ國費ヲ出スノデアリマス、其ノ内譯ノ費用ト致シマシテハ、是ハ委員ノ手當デゴザイマスルカ、先程申シマシタ書記ノ手當ト云フヤウナモノガ一番大キイ譯デアリマシテ、書記三名、一人當リ約五千圓ヲ豫算ノ單價ニ致シテ居リマス、其ノ他ニ委員ノ手當、或ハ各部落ニ委員補助ト云フモノヲ設置致シマス、是ハ實際上農地關係ヲ色々調ベテ貰フ手傳ヒニ必要デアアルノデアリマス、サウ云フヤウナ人ニ對スル費用、ソレカラ事務費ガ相當要ル譯デアリマスカラ、サウ云フ事務費ト云フヤウナモノ、又初年度ニ於キマシテハ、土地ノ一筆調査ヲ致スト云フヤウナコトデ、五千圓バカリヲ豫定シテ居ル、或ハ又初年度ニ付キマシテハ選舉ノ費用、斯ウ云フモノヲ見込ンデ居ル譯デアリマシテ、サウ云フモノヲ引括メマシテ先程申上ゲマシタヤウナ額ヲ豫算トシテ計上致シテ居ルノデアリマス

ソレカラ役場トノ連絡關係デゴザイマスガ、是ハ農地委員會ト致シマシテハ、役場トモ能ク協力ヲ願ハナケレバナリマセヌシ、又地元ノ農業會ノ支援ヲモ受ケナケレバナラヌ譯デアリマスシ、其ノ間緊密ナ連絡ヲ必要トスル譯デアリ、又仕事ノ上デ手傳ツテ戴キマス便宜ト致シマシテ、町村ノ人、又ハ農業會ノ人ニ、兼任ノ書記ト云フヤウナ名前ヲ付ケテ手傳ツテ貰フコト云フコトモ考ヘテ居ルノデアリマス、市町村

長モ當然其ノ地位ニ基クモノトシテ、從來ノヤウニ委員會ノ委員長ニスルトカ、委員ノ中ニ加ヘルトカ云ヒマス事柄ハ、今度ノ委員會ノ構成、即チ地主側及ビ小作側ヲ同數代表セシメルト云フ此ノ基本ノ線ニ沿ヒマシテ、サウ云フ措置ヲ執リマスコトハ不適當ダト考ヘテ居ルノデアリマス、事實上役場ト農業會トハ十分緊密ニ連絡ヲシ、又援助ヲ受ケテヤツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○吉澤委員 今ノ御説明デ大體分リマシタガ、役場トノ連絡關係ニ付テハ、ソレハアナタノ御意見トシテ、アナタノ御希望ニ止マツテ居ルノデアツテ、實際ニ臨ンデハ農業會ト役場ガドウモ互ヒニ見解ヲ異ニシテ、色々ナ問題ガ現ニ起リツ、アル所モアリマス、ソレハ農業會ト云フモノト、役場ト云フモノガ、全然異ナツタ使命ト、異ナツタ仕事ヲヤツテ居リマスカラ、ソレデ起ルノデアリマスアレドモ、農地委員會ガ若シ役場側ト相反シタ色々ナ方向ニ向ツテ行クト云フコトニナルト、中々容易デナイと思ヒマス、ソコデ私ハ、ヤハリ是ハ法案ノ中ニ、市町村長ニ何等カ、監督、ト云フト一寸又語解ガアリマスシ、ドウカト思ヒマスガ、連絡ヲ保チ得ベキ何カ法條ヲ挿入スル御意思アリヤ否ヤト云フコトヲ、イマ一度承リタイ

○和田國務大臣 ソレハ實質のニハヤハリ連絡ヲ取ツテ職ヲト云フコトニシマシテ、法律ノ中ニハドウモソレヲ置キタクナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○北(政)委員 此ノ價格ヲ決定シマスノニ、賃賃價格決定シテ行ク、此ノ決定方ガ地方長官ニナツテ居リマスルガ、是ハ地方ノ農地委員會ニシタ方

ガ民主的デハナイカ、是ハ全クノ官僚獨善のナ行キ方デハナイカと思フノデアリマス

其ノ次ハ鐵道ノ敷設ニ依リマシテ價格ニ非常ナ差ガ起ル、我々ノ方デ、新設ノ所ニ付キマシテハ、既ニ土地ノ價格ガ數倍ニ上ツテ居ル、斯ウ云フモノニ對シテハドウ云フ計算スルカ、ソレカラ又十日間ノ告示、又決定シテカラ十日間ト斯ウ云フコトニナツテ居リマスアレドモ、此ノ十日間ト云フノハ、餘リニ日ガ短カ過ルデハナイカ、告示ダケデハ駄目デ、ヤハリ通牒ヲヤル必要ガアルノデアリマス、實ハ私共北海道ノ新十津川村ハ、大キサハ香川縣ト同シ面積ヲ持ツテ居リマスガ、ソコデ告示ヲ出シテ一體誰ニ分ルノデアリマスカ、分ルモノデハナイ、ソコデ是ハヤハリ通牒スルカ何カノ手段ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマス、又土地臺帳ト登記所ノ臺帳ト非常ニ差ガアル、合フベキデアリガ中ニ合ツテ居ラヌ、町村ノ農地委員會ガ計畫シタモノ、ソレガ必ズ登記簿ト合ツテ實ニタイト云フヤウナコトデ、此ノ町村ダケデソレヲ發表シテ、買収ニナル面積トカ、對價トカ、之ヲ決メルガ、對價ガ既ニ出ナイト云フヤウナ實際上ノ心配ガアルノデアリマス、又田舎ニ居リマシテ、ヤツト知ツタ時ニ出テ行ツテ見ルト、時既ニ遅シト云フコトニナルノデ、此ノ十日間ト云フモノト、延長スル必要ガアル、通知ヲ受ケテカラ何日トスベキモノデハナイカ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマス、尙又異議申立ニシマシテモ、決定シタラ十日間、一體何時決ツタノカ今ノ郵便デサハ、此處カラ北海道マデ一週間以上ドウシテ掛カル、

又地方長官カラ各町村ノ郵便デ出シテモ分ラナイ、ソコデ本人ガ受取ツタ時ニハ異議ノ申立モ何モ出來ナイコトニナル、是ナドモ非常ニ無理デハナイカト云フ感ジガ致スノデアリマスガ、是ダケ一寸先ニ承リマス

○山添政府委員 鐵道ガ付イタ爲ニ大分地價ガ變ツテ居ルダラウト云フヤウナ場合デアリマスガ、ソレハ取引トシテハサウ云フコトガアルト思ヒマス、併シ是ハ公定價格デ行ツテ居ルノデアリマシテ、今ノ農地ノ利用價值、嚴密ニ申セバ、其ノ地帯一帯トシテ上ルト云フコトハアル譯デアリマスガ、ソレハ公定價格ト致シマシテハ、サウ云フ事情ヲ一々考ヘテ行ク必要ハナイモノト考ヘテ居リマス、況ヤ其ノ鐵道ニ近イ所ガ地價ガ上ツタト云フヤウナコトデアレバ、ソレハ事實農地トシテノ利用價值ガソレ程上ツタト云フコトデハナイ、御話ノ意味ハ、色々ノ意味デ地價ガ上ツテ居リハセムカト云フヤウナ意味トアレバ、是ハ全然農地ノ價格ト云フモノニハ關係ナシニヤツテ行クト云フコトガ適當デアルト思ツテ居リマス

ソレカラ十日間ガ非常ニ短イト云フコトデザイマスガ、此ノ農地委員會デ色々計畫ヲ立テマスノニ付キマシテモ、大體農地委員會ニ於キマシテハ餘程研究ヲ重ネテ事ガ決マルモノト考ヘルノデアリマス、且ツ其ノ農地委員會ノ仕事ハ萬事公開サレ、且ツ其ノ記錄モ會議ノ決議録ハ絶エズ覽ニ供サレテ居ル、平生カラドウ云フヤウニ行ツテ居ルカト云フコトヲ明カニ致シテ置ク譯デアリマス、村ニ於テハ大體サウ云フモノガ出來上ル時ニハ、話ノ内容ハ概分ツテ居ル、斯ウ云フ狀況デ

進ムモノト考ヘマス、隨テ是ハ村ト致シマシテハ相當ノ問題デアリマスカラ、表面デハ皆大抵ハ分ル譯デアリマスカラ、是ハ十日間デ十分間ニ合フト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ不服ノアル人ハ十日間ヲ經過シタ時ハ此ノ限りデナイト云フ點ノ十日間デゴザイマスルガ、是ハ出シタケレドモ受取ラナカッタ、斯ウ云フノデアレバ、是ハヤハリ其ノ人ガ知ツテカラト云フコトニナル譯デアリマス

○北政委員 地方長官ガ、賃賃價格ノ決マラナイモノヲ決メルコトニ付テハ、御返事ガナカッタヤウニ思ヒマスガ、ソレヲ一寸伺ヒタイ、ドウ考ヘテモ、今言ハレハヤウニ十日間位デ委員會ノアルコトガ分ラナケレバナラヌノデスカラ、ソレヲ一般的ニ知ラセル、或ハ今度農地委員會ガアリサウダト云フ評判ガ立ツ、併シナガラ委員會ヲ招集シテ、委員會ガ開催シラレト云フコトハ、廣イ所デハ決シテ分ラナイノデアリマス、殊ニ我々ノ方ハ隣村ヘ行クノニニツモ三ツモノヲ通ツテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ所ガ澤山アルノデアリマス、是ナドモドウモ十日間位デハ餘リニ短イ、寧ロソレヨリハソコニ十分時間ヲ置イテ、決定シタアトノ仕事ガ「スピード」デ行クヤウニヤラレラドウカ

ソレカラ今一ツ先程御話ノアツタ町長關係ノコトデアリマスガ、之ヲ委員會トシテ入レルコトハドウカ、政府ノ主張モ御尤モト思フノデアリマスガ、一體此ノ準備事務ニ付テ、町村長ガ權利ナシニ他ノ職員ヲ使フ、ソレガ出來ナイ、又サウナルド町村長トシテハ非常ニ置キ去リニナルヤウナ感ジモ持チマス、ドノ職員ヲ指名スルカ、是ハ特

ニ委員會ガ出來上ルマデノ準備、大體選舉名簿ヲ排ヘルニシテモサウデアリマス、相當ノ仕事ガアルノドト思フ、是ハ何等カノ形式ニ於テ町村長トシツカリ結ビ付ケル必要ガアル、是ハ事務的ニサウ考ヘマスガ、ソレニ付テハ此ノ法律ノ何處ニモ見エテ居ラヌヤウニ思フガ、其ノ點ハ如何デスカ

○山添政府委員 地方長官ガ率ヲ定メルト云フコトニ付テ、地方長官ヨリモ農地委員會ノ方ガ宜イデハナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ農地調整法ニ依リマシテ地方長官カ決メマス時ハ、都道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽キマシテ、ソレニ諮問ヲシタ上デ何十倍ト云フ率ヲ決メル譯デアリマシテ、實質上ニ於キマシテハ御意見ノ通りニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス

ソレカラ十日間ハ長イカ短イカ、專ラ短イ問題デゴザイマスガ、是ハ此ノ期間ヨリ長クスルトカ短クスルトカ云フ問題ヨリモ、當時此ノ問題ニ付テ能ク皆知ラシテ置クト云フコトガ必要デゴザイマス、例ヘバ農地ノ買収計畫ニ致シマシテモ、農地委員會デ決メタラ、ソレヲ役場ニ貼紙ヲシテ、ソレデ知ラヌ、是デハイケンナイノデアリマシテ、一々其ノ部落ノ方ニ帳面等モ廻シテ、各戸別ニ話スルトカ、見セテ廻ストカ、何トカサウ云フ色々ノ方法ニ依リマシテ、是ハ當然關係者ガ漏レナク其ノコトヲ知り、又市町村農地委員會デ、異議ガアツテ異議ヲ述べルト云フナラバ、十分述べテ貰フ、斯ウ云フ風ニ專ラ所謂民主的ニ事柄ヲ運営シテ行ク、サウ云フ積リデゴザイマシテ、是ハ期間ヲ制限スルト云フ、期間ノ問題ヨリモ、運用ノヤリ方ト云フコトニ十分氣ヲ付ケテ行クベキデアルト

云フ風ニ考ヘテ居ルシ、又サウ云フ風ニ指導致ス積リデゴザイマス

必要アリ、又御願ヒシナケレバコトハ御話ノ通りデゴザイマス、併シソレヲ法制的ニ關聯付ケマスト云フコトニ付キマシテハ、是ハ先程申シマシタヤウ事情デ望マシタナイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○北(政)委員 今ノ御話ノヤウニ町村内ハ或ル程度知ラセマスガ、村外地主ノ土地ハ取ツテシマフシ、村外ニハ知ラセヤウガナイ、町村ノコトハ新聞ナドニモ出サナイ、大キナ新聞デスト新開廣告ニモ出マスガ、小サイ所ハ皆揭示板ガアツテ、其處ニ貼出シテ公告シテ居ルノデアリマスカラ、村外デハ全然知リヤウガナイ、ソレニ付テハ何カ方法ヲ講ジテ分ルヤウニシテ戴ケレバ結構ダト思ヒマス

○江川委員 價格ニ關聯シテ御伺ヒシマス、貨賃價格ニ或ハ四十乃至四十八ヲ掛ケタモノト云フコトニナツテ居リマスガ、是モ十年前ニ決メタ貨賃價格デアリマシテ、ソレヲ基本トシテソレニ乘ズルコト云フコトハ、果シテ公正ヲ得テ居ルカドウカ、ソレデ之ニ依ルト云フト、其ノ時ヨリモ變化ヲ來シテ、惡クナツタ所ハ割高ニ買ハナクテハナラヌ、併シ良クナツタ所ハ割安ニ賣ラナケレバナラヌ、非常ナ不公正ナモノヲ支拂フコトニナルノデアリマス

ルガ、是ハハ急ギノ關係上サウ云フコトニナツタカモ知レマセヌガ、貨賃價格更正ノ時期ガ來テ居ルノデアリマスカラ、之ヲ更正シマシテ、然ル後ニ正確ナ價格ヲ賣買スルト云フコトガ本當デハナイカト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○山添政府委員 是ハ著シク事情ガ違ツテ參ツテ、隨テ均衡ガ破レデ居ル、例ヘバ或ル土地ガ土地改良ヲシタ、然ルニモ拘ラズ元ノ値ノ貨賃價格デ、土地ノ生産力ヲ公正ニ反映シテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニハソレヲ修正スル途ガ開イテアル譯デアリマシテ、原則論ト致シマシテ、其ノ貨賃價格ニ依ルト云フコトハソレデ結構デアラウ、例外的ニ著シク狀況ガ變ツテ來タト云フ、今ノヤウナ特別ノ事情ノゴザイマス土地ニ付キマシテハ、ソレハ修正スル途ガ開ケテアル譯デアリマス

○麻生委員 ヤハリ價格ニ關係スルコトデアリマシテ、先程モ一寸質問致シマシタガ、都市計畫地ニ對シテ、都市計畫ノ所謂利用者ノ受益負擔ト云フモノガ掲ゲテアリマスガ、斯ウ云フモノハ負擔金ガ上ツテ居リマスノデ、土地買上ゲニ對シテハドンナ風ニナツテナサイマスカ

ソレカラ第三點ハ、今御話ガアリマシタケレドモ、土地改良事業、或ハ耕地整理ト云ツタヤウナコトデ、從前ノ耕地ト著シク違ツタ狀態ニナリマシタ際ニ、農地委員會ガ一括的ニ之ヲ決定セテ、サウシテ地方長官ノ認可ヲ受ケルコトニスル、又此ノ場合ニ價格ノ基準ガ、最近ニ於テ農地調整法第六條ノ二ニ依リマシテ、地方長官ノ認可ヲ受ケタ價格ノ農地ガ事實アリマスレバ、ソレヲ基準ニシテ農地委員會ガ立テタ方ガ宜イヤウニ思ハレマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

ソレカラ第三點ハ、耕地整理施行濟ノモノデ、既ニ換地配當濟ノモノガアリマシテ、ソレ等ノモノハ元ノ貨賃價格デ以テ割當テテ、貨賃價格ト云フモノハ定メラレテ居ルノデアリマス、併

シ實質的ニハ從前ノ耕地ト非常ナ相違ノアルモノニナツテ居リマスノデ、斯様ナ土地ニ對シテハ、實際ハ小作料ニ於キマシテモ、從前カラ見レバ非常ニ高クナツテ居ルト云フ實情ニアルノデ、斯ウ云フ場合ニハ、之ヲ單純ニ貨賃價格ノ一般倍率ト云フコトニ致シマスト、非常ニ其ノ間實際ニ符合セヌモノガ出來ルノデアリマス、是モ前同様、地方長官ノ認可ヲ受ケテ農地委員會ガ定メタ場合ニ、ソレニ依ルモノカドウカ

第四點ハ、先程モ一寸話ガ出テ居リマシタガ、農地ノ所有者ガ農地ヲ耕作以外ノ目的ニ供セントスル時ニ於テ、農地調整法第六條ニ依ツテ地方長官ノ認可ヲ要スルコトニナツテ居リマスガ、此ノ場合ニ認可ヲ受ケマシテ、其ノ後デ之ヲ他ニ賣却シタト云ツタヤウナ場合ニ、其ノ土地ヲ自作農地トシテ買受ケマシタ場合ニハ、其ノ土地ノ價格ト云フモノハ如何程ニ公定スベキモノデアルカ、詰リ先ニ自作農地トシテ安ク買ツテ、地目變換ヲヤリマシテ、ソレヲ宅地ナリ何ナリニ變ヘテサウシテ之ヲ宅地トシテ賣ル場合ニハ高ク賣レルト云ツタヤウナコトニナリマス、先程ノヤウニ市街地ニ於ケル農地ノデニ付テハ可ナリ問題ガ起リマスノデ、サウ云フ地目變換ヲヤリマシタ際、其ノ後ノ土地價格ト云フモノハドウ云フ風ニ定メラレタコト云フコト

ソレカラ第五點ハ、耕地整理ノ施行地デアリマシテ、換地ノ未濟ノモノハ、所謂、確定地番ト云フモノハナイ譯デアリマス、隨テ換地處分ノ手續ガ終了後デナイスト、買收計畫ト云フモノハ立タヌ譯デス、サウ云フ場合ニ於テハ、買收時期ニ相當ノ猶餘期間

ヲ必要トスルヤウニナル譯デ、是ハ是非トモ必要トスルノデアリマス、之ニ對スル御考ヘヲ伺ヒタイ、以上デアリマス

○山添政府委員 區劃整理ヲ致シマシタ時ノ地價デゴザイマスガ、ソレハ區劃整理ノ費用ト云フモノヲ參酌シテ農地ノ價格ガ決メラレラレタ譯デアリマス、其ノ事柄ハ、第三番目トシテ御述ベニデリマシタ耕地整理ヲシテ土地ノ生産力ヲ増進シタト云フ場合ト同様デゴザイマシテ、其ノ耕地整理ノ爲ニ要シタル費用ヲ參酌サレラレタ譯デアリマス、何レノ場合ニ於キマシテモ、投シタル費用ハ參酌サレラレタ譯デアリマス、同時ニ其ノコトノ爲ニ土地ノ利用價值ガ上ツテ居ル限リニ於テ、今ノ費用ハ土地價格ノ中ニ抛リ込マレル、斯ウ云フ風ニ特別ノ價格ヲ作ツテ行クノデアリマス

ラ宜イト思ヒマス

○磯崎委員 此ノ土地立法ニ於ケル最モ重大ナ要點デアアル買收價格ノ問題デゴザイマスガ、先程來色ノ同僚カラ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ極メテ公正妥當ニ行ハレナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、而シテ今日法ノ規定シテ居ル所ノ根據、所謂貨賃價格ト云フ制度ニ付キマシテハ、先般來色ノ論議セラレタノデアリマスガ、今日著シク不公正ニナツテ居ル、極メテ近イニ又其ノ改正モ行ハレルト云フヤウナ段階ニ入ツテ居ルノデアリマスガ、殊ニ又最近ニ於ケル土地改良或ハ暗渠排水、サウシタ形カラ著シク其

○山添政府委員 サウデス

○磯崎委員 此ノ土地立法ニ於ケル最モ重大ナ要點デアアル買收價格ノ問題デゴザイマスガ、先程來色ノ同僚カラ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ極メテ公正妥當ニ行ハレナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、而シテ今日法ノ規定シテ居ル所ノ根據、所謂貨賃價格ト云フ制度ニ付キマシテハ、先般來色ノ論議セラレタノデアリマスガ、今日著シク不公正ニナツテ居ル、極メテ近イニ又其ノ改正モ行ハレルト云フヤウナ段階ニ入ツテ居ルノデアリマスガ、殊ニ又最近ニ於ケル土地改良或ハ暗渠排水、サウシタ形カラ著シク其

ノ耕地ノ利用價值ト云フモノガ變化シテ居リマス、隨ヒマシテ今江川氏ノ言ヒマスルガ如キ、近ク更正ノ行ハレル機會ニ於テ、公正妥當ニ一ツノ標準ヲ決メテ戴ク、是モ一ツノ方法デアリマセウ、併シ當局デハ本案ノ遂行ヲ御意ギニナツテ居ル、是モ相當考ヘナケレバナラヌコトデゴザイマスガ、私ハドウシテモ斯ウシタ土地ノ買収ニ當リマシテ、ソレハ安クナルカ高クナルカハ別トシマシテ、根據アル價格ニ於テ公正ニ行ハナケレバナラヌト云フ觀點カラ、幸ヒ今日デハモウ何處ノ土地ニ於キマシテモ一枚ノ地番ニハ皆小作料ト云フモノガ打ツテアル、而モ其ノ小作料ト云フモノニ付キマシテハ、數度ノ農地調整法ニ基イテ地方ノ小作官等ガ立會ツテ、現代的ナ形デ兩方共ニ宜イト云フ形ノ物納制度デ存在シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ取ツテ以テ、一ツ法ニ認メテオイデニナル所ノ融資ノ三分二厘デモ宜シウゴザイマス、一ツソレデヤツテ戴クコトガ私ハ一番妥當デハナイカ、此ノ意見ハ、只今江川氏ノ申サレル、貸貸價格ヲ更生シテ、ソレカラ又ソレニ對シテ一定ノ方針ヲ決メテ戴クト云フコトナラバ別問題デアアルガ、サウシタコトガ近イ内ニ行ハレナイト云フコトナラバ、只今申シマスル所謂現在ノ小作料ヲ基準ニシテ、サウシテ適算ニ行クコトガ一番妥當デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、一ツ重要ナル當局ノ御考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス

カトカ何トカ云フヤウナ意見モ新聞等デ隨分拜見スルノデアリマス、ソレハ一ツノ基準デハゴザイマスガ、小作料其ノモノモ隨分「アンパランス」ガアル、隨ア小作料ノ合理化運動ト云フヤウナコトヲ農林省トシテモ今マデヤツテ參ツタ、斯ウ云フコトモ御承知ノ點デアリマシテ、是ハ土地貸賃價格ヲ基準ニスル、而モ是ガ一番用ヒルノニ都合ガ好イ、色々ナ點カラ見マシテ便宜デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○磯崎委員 事ヲ御意ギニナルノニハ、現在ノ貸賃價格ニ據ルノガ一番早イデゴザイマセウガ、サウシタ拙速ハ私ハドウモ好ンデ居リマセウ、公正妥當ニ願フト云フコトニ付キマシテハ、サウシタ根據ニ依ツタ形デオヤリニナルノガ妥當デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、是ハ私ハ方ノ意見デ、オヒヒノ意見ノ間ニ相當ノ距離ガアルヤウデアリマスカラ是ハ私此ノ邊テ止メテ置キマス

今一ツ此處デ先程カラ御話ガアリマシタル餘裕イ十日間、是ハ私ハ二十日間ト云フコトニ願ヒタイト思フ、此ノ重大ナ案件ニ對スル公示期間ト云フモノハ當然二十日間程度ガ宜シイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテモ併セテ申上ゲテ置キマス

○葉梨委員長 磯崎君ハ答辯ハ必要ゴザイマセヌネ

○磯崎委員 宜シウゴザイマス

○青木清委員 農ニ耕地整理ノ問題ニ付テ御答辯ガアツタノデスガ、耕地整理ヲシテ土地ノ利用價值ガ上ツタモノニ對スル價格ノ算定ノ仕方デスガ、ズツト以前ニ耕地整理ヲヤツタノト、現在ヤツタノトノ間ニ、掛ケタオ金ノ相違ガアル譯デアリマス、ドレヲ基準

トシテヤルカ、現在ノ利用價值デアアルカラ、結局現在掛ケタ、成ベク最近ニ要シタル費用ヲ加算スルト云フコトニナルノデアリマスガ、サウデナクテ、以前ノナラバ、物價ニ高低ガアルカラ以前ノ金額ニスル、サウ云フコトニナルノデスカ、ドウ云フモノヲ基準ニシテオヤリニナルノカ、モウ少シ細カク御説明願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ只今私ノ方ノ土地ナドハ、一村トカ一字デハナシニ、郡全體ガ何千町歩ト云フ廣イ範圍ニ互ツテ用水ノ改良工事ヲヤラウトシテ、今其ノ準備トシテ一段歩ニ對シテ、モウ百圓、二百圓ト云フ大キナ金額ガ今掛ツテ來、尙ホ其ノ一部ヲ今地主ガ支拂ヒツツアルノデアリマス、サウ云フ問題ハ、實際ノ支拂ツタ金額ヲ、賣買ノ時ニ我々ノ方デ貰フコトガ出來ルノカドウカ、我々ト云フノハ語弊ガアリマスカ、地主ノ方ハ小作ノ方カラ貰フノデアルカドウカ、其ノ金額ガ一段歩五千圓ノ中百圓、二百圓ナラ問題ハナイ、併シ七百圓ト云フヤウナ小サイ金額ノ頭ノ上デ今一段歩ニ付テ百圓、二百圓ト云フコトニナルト、大キナ開キガ出ル、ソレガ兎ニ角加算サレルノカドウカ、其ノ邊ノ所ヲモウ少シハツキリシテ戴キマセヌト、現在ノ地主ノ方デ其ノ賦課金ヲ滞納スルト云フ問題ニナルノデスガ……

○山添政府委員 是ハ物ノ値段ノ關係デゴザイマスルカラ、結局ソレデケノ價值ガナクテハナラヌ、斯ウ云フ譯デアリマス、先程申シマシタヤウニ、其ノ投シ居ル費用、是ガ生産力ニ現ハレテ居ル範圍ニ於テ斟酌スル申上ゲタノハ、要スルニ、ソレガ現ニ殘ツテ居ル費用ト云フコトト、ソレカラソレガ爲ニ現ニ生産力ガソレデケ高マツテ、ソレデケ値打ガアル、斯ウ云フ兩方ノ事情ヲ見マシテ、サウシテ其ノ農地ノ上ニソレデケノ生産力ガ高マリ、隨テ値段ガ上ツテ居ル、斯ウ云フ限度ニ於テ見テ行ク譯デアリマス、理論的ニ申シマスルト、サウ云フコトデゴザイマシテ、後ハ其ノ具體的ナ時ニ公正妥當ニ決定スル、斯ウ云フヨリ外ハナイト思ヒマス

○青木(清)委員 過去ノ耕地ノ問題ハ公正妥當ヨリ以外ニ問題ハナイト思フガ、現在ノ賦課金ヲ徵收サレツ、アル問題ノ如キモノハ、其ノ金額ノ儘加算スレバ宜イデハアリマセウカ、サウシナケレバ賦課金ノ滞納ト云フ問題ガ起リマス、モウ少シハツキリ其ノ點ヲ伺ヒタイ、現在進行シツ、アルモノ、ソレハ其ノ耕地ノ改良事業或ハ用水改良事業ガ果シテ效果ガ收メルカドウカ分ラヌシ、又色々ナ關係デ中斷サレルカモ分ラヌノデスカ、今現ニ金ヲ掛ケツツアルノデスカ、是ハ其ノ金ヲ加算サレルノガ至當デアルト思フ、私ハ加算スルト云フコトヲハツキリ申サレテモ一向差支ヘナイト思フノデス

○山添政府委員 御話ヲ通りニ考ヘテ居リマス

○松澤(一)委員 「自作農」となるべき者の農地を買ひ受ける機会を公正にする、斯ウナルト、小作農ハ殆ド自作サセルヤウニ自作地ヲ與ヘルト云フ變ヘ方ト、其ノ次ノ第二號ノ「自作農」となるべき者の耕作する農地を集團化」スル、斯ウ云フコトヲ關聯シテ見テ來ルハ、地主ノ土地ハ點々トシテ殘シテ宜イノカ、自作農ヲ中心トシテ土地ノ買収計畫ヲ立テ行クノカ、是ハ此ノ項ガ農地委員會ノ運営上重大ナ項デアアル

ガ故ニ一應懸イテ置キタイト思フノデアリマス

○和田國務大臣 一寸私ニハツキリ致サナカツタノデアリマスガ……

○葉梨委員長 自作農トナルベキ者ノ耕作スル農地ハ集團化スルガ、地主ノ持つ土地ハ詰リ切レ、ニナツテモ宜シイノカ、斯ウ云フコトナラデス

○和田國務大臣 二號ニ付テサウ云フコトマデハ考ヘテ居ナイノカ、斯ウ云フ御質問デスカ

○松澤(一)委員 ソレデ宜イノカト云フコトデス

○和田國務大臣 地主ノ持つ居ル土地ガ切レ、ニナツタヤウナ結果ヲ生ジテモ構ハヌカ、斯ウ言ハレルノデスネ——ソレハ買収計畫ト賣渡計畫ニ依ツテ行ク譯デアリマシテ、必ズシモ輕マツタ所ガ地主ニ殘ルト云フコトニモ或ハナラヌカト思フノデアリマス

○松澤(一)委員 是ハ農地委員會ノ運営上非常ニ重大ナコトデス、其ノ答辯デ結構デスガ、自作農ヲ中心トスルヤウナ方法ニ畫イテアルカラ、要スルニ自作農ニナル人ニ都合ノ好イ土地ヲ買フ、但シ其ノ田畑ハ適正ニ買ツタリ適正ニ殘サナケレバイカヌト云フコトヲ考慮ノ中ニ入レテ、自作農ヲ中心トシテ農地委員會ヲ運営シテ宜イノデスネ、地主ノ土地ナラバ點々トシテ殘シテ置イテモ宜イノカ、ソレカラ自作農ニナル人ノ買フ機會ヲ均等ニスル爲ニハ、ドノ人ニモ持タセルト云フコトヲ考ヘレバ、地主ノ方ハ何處ヘドウ殘シテ置イテモ宜イ、結局私ガ委員會ノ邊頭ニ御質問申上ゲタヤウニ、小作制度ヲ殘シテ自作農ヲ創設スルト云フノデカラ、自作農ヲ中心ニシテ土地ノ計畫ヲ考ヘレバ宜イノデセウ

○和田國務大臣 農地ノ買収計畫ヲ定メル時ニハ、斯ウ云フ二ツノ事柄ヲ勘案シナケレバナラヌノデアリマス。カ、ヤハリ自作農トナル者ガ耕作スル農地ヲ集團化スルト云フヤウニ考ヘヨコトニナルノデアリマス、御承知ノヤウニ地主側モ澤山ノ小作人ニ貸シテ居リマスシ、小作人モ澤山ノ地主カラ借リテ居ルノガ日本ノ現状デアリマス。カ、結局斯ウ云フヤウナ耕作者ニナル者ノ農地ヲ集團化シマスルコトヲヤリマス、或ハ其ノ結果トシテ地主ノ土地所有カラ言ヘバ、分散シタ結果モ出ルト云フ場合モアリ得ルト思フノデアリマス。

○井出委員 本會議デ大臣ニ御尋ネシマシタ農地價格ノ問題ニ付テ若干御尋ネ致シマス、私ハ、賃賃價格ヲ基礎ニスルコト、之ニハ問題ナイト致シマシテ、今度ノ價格ヲ決定スルニ當リテ、之ヲ構成スル考ヘ方トシテ、地主探算價格ト自作收益價格ト云フモノヲ構想シテ居ラレバヤウニ伺ヒマスガ、其ノ調整ノ上ニ今度ノ價格ガ算定セラレ、此ノ場合地主探算價格ニ付テハ現在米價ガ釘付ケニサレテ居リマスノデ、是ハハマダ問題ヲ含ンデ居ラヌ、斯ウ思ヒマス、所デ自作收益價格デアリマスガ、昨年ノ十二月ニ第一次改革案ヲ決定シマシタ時ニハ、米ガ百五十圓デアリマシタ、所ガ現在米ハ三百圓デアリ、又六百圓ニモナラウト致シテ居ル、此ノ場合自作收益價格カラ割出シタ農地價格ト云フモノハ、當然變ツテ來テモ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシタ大臣ノ御答ヘハ、ソレハ一應サウデハアルガ、其ノ中ニ於ケル土地資本利子ト云フモノハ不變デア

ル、隨デアル、隨テ土地資本利子カラ割

出サレタ所ノ農地價格、是ハ變ラナクテモ宜イノダト云フ風ニ私ハ伺ツタノデアリマスガ、只今ノヤウナ「インフレーション」激動下ニアリマシテ、物價ノ事情ト云ヒ、或ハ賃金ノ事情ト云ヒ、昨年ノ十二月カラ見マスト非常ニ大キナ變化ガ現在アルノデアリマシテ、サウ云フ意味カラ土地資本利子モ貨幣額ニ表現セラレタ數字ト云フモノハ、ヤハリ「インフレーション」影響ヲ受ケテ當然變化ガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘマス時ニ、土地價格ト云フモノハ當然變化ヲ來シテ宜イノデハナイカ、嚴密ニ言ヘバサウ考ヘルノデスガ、實際ニハ是ハモウ昨年トサウエライ日子ヲ經テ居ルノデハナイノデ、當局ノ四十倍ナリ四十八倍ナリ實際ニ適用スルコト云フコトハ、別ニ問題ハアリマセヌガ、理論的ニ言ヘバ、此ノ九箇月ノ間ニ變化ガアツテ然ルベキモノデハナイカ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○和田國務大臣 體カ私ガ御答ヘ致シマシタノハ、米價ガ上ツタ時ニ直グ土地價格ヲ變ヘルカ、斯ウ云フ御質問ニ對シテ、米價ガ上ツタト云フノハ、米價ヲ構成スル生産費ノ中ノ色々要素ガ上ツタト云フコトニ依ツテノ値上リナノデアリテ、土地資本利子其ノモノノ値上リニ依ツテデハナイノダカラ、隨テ直チニ之ヲ變ヘルト云フ譯ニハ行カヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、是ハ只今ノヤウナ御意見モアリマスガ、結局土地ノ價格ト自作農ノ方ノ價格ニ付テ言ヘバ、是ハ自作人ニナリマスル者ガ自作人ニナルコトニ依リマシテ、小作人デアリマスル時ヨリモ負擔ガ殖エルト云フコトガアツテハナリマセヌ

ノト、モウ一ツハソレヲ出シマス根柢

ニ於テハ、自作農收益價格ト云フモノハ、結局自作農ガ其ノ土地ヲ耕スヨトニ依ツテ得ル收入、サウ云フモノガ基準ニナツテ居リマスノデ、隨ヒマシテ只今申上ゲマシタヤウニ、直チニ米價其ノモノガ變シタカラト申シテ、直グ此ノ爲メ値段ヲ上ゲテ行クト云フ方式ハ執レナカッタ次第デアリマ

○井出委員 理論的ニハ、斯ウ云フ經濟事情ノ下ニアツテハ變化ヲスベキモノデアアルガ、現實的ニ言フナラバ據置クノハ已ムヲ得ナイ、左様ナ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○和田國務大臣 是ハ理論的ニ言ヒマス、却テアナタノ仰シヤルヤウニ上ルト云フ結果ガ必ズ出ナイト思フノデ、ト云フノハ、生産費其ノ他ノモノノ昂騰ガアリマスルノデ、問題ハ結局自作收益ト云フコトニナルカラ、ソレ等ノ點ニ付テ言ヘバ或ハ下ル場合モ一應アルノデアリマシテ、一概ニ上ルト云フコトハ出來ナイト思ヒマス

○井出委員 私人ハ上リ下リト云フコトデナクテ、變動ト云フ意味デゴザイマス、是レ以上宜シウゴザイマス

○葉製委員長 本條項ハ大體質問モ盡キタヤウニ思ハレマス、第七條ニ是カラ入ル譯デアリマスガ、一點委員長トシテ農林大臣ニ付テ置キタイト思ヒマス、八頁ノ四、五行目ノ「乘じて得た額の範圍内においてこれを定め」ト云フ所デアリマス、此ノ範圍内ト云フコトハ、此ノ前モ一寸他ノ委員カラ質問ノアツタ點デアリマスガ、昨日御説明ノアリマシタ關係筋トノ交渉ニ於テモ、範圍内トサレル必要ハナイ、寧ロ日本政府案ハ承認サレルト云フ條項ニ依ツテ、金額ハ限定サレテ來テ居リマ

ス、特ニコ、ニ範圍内ト云フコトヲ決

メル必要ハナイノデハナイカト感ズルノデアリマスガ、其ノ範圍内ト云フ言葉ヲ置カレタ理由ハ、ドウ云フ理由デアリマスカ

○和田國務大臣 此ノ點ハ範圍内ト書キマセスト、却テ一本ニナツテシマヒマシテ、ヲカシナコトニナルノデアリマス、體カアノ七百幾ラト云フノハ標準價格ダト思フノデアリマス、標準價格ニ於テ七百五十六圓ト、斯ウ云フ意味デアリマス、隨テ賃賃價格ニ於ケル倍率ト云フモノハ、アノ標準價格ニ於テハ、標準ノ賃賃價格デ割リマス

ト田ニ於テハ四十倍、畑ニ於テハ四十八倍ト云フコトニナルノデアリマス、隨テ其ノ點ニ於テハ最高ノ標準ガアレデアルト云フ意味ナノデアリマシテ、範圍内ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ價格ノ點ニ付テ一應申上ゲマスガ、ソレハ藥師神サカラ質問ガアツタノデアリマスガ、農地價格ハ

公定價格ニ依ルコトガ原則デアルト云ハコトハ勿論デアリマス、併シ特別ノ事情ガアリマス場合ハ、公定價格ヲ超エル場合、ソレカラソレ以下ニナル場合モアルト云フコトニナツテ居リマス、公定價格ヲ基準トシテ、例外的ノ場合ニ之ヲ適當ニ變更スル、斯ウ云フ意味デアリマス、公定價格カラ高ク決メマス場合ハ、只今色々議論ニナリマシタヤウニ、例ヘバ前回ノ賃賃價格ノ設定ノ際ニ何カノ理由デ、地租ヲ輕減スル爲メ賃賃價格ヲ特ニ低ク設定サレタ場合、是ハ青森デアルトカ、其ノ他ノ地域ニアリマス、ソレカラ耕地整理等

ニ依リマシテ非常ニ賃賃價格ガ低クナツテ居ル、斯ウ云フコトガゴザイマス、サウ云フヤウナモノ、ソレカラ其

ノ後ニナリマシテ相當ノ費用ヲ投ジマ

シテ土地改良ヲ施シタ、斯ウ云フモノハ是ハ公定價格ヲ標準ニシテ變更致シマスカラ高クナルコト思ヒマス、公定價格カラ低クナルコト思ヒマス、永小作權トカ又作殊ノ存在シテ居ル土地、是ハ作殊ニ相當ノ價格ガアリマスカラ、隨テ其ノ土地ノ價格ト云フモノハ、作殊價格ヲ加ヘタモノガ公定價格、隨テ其素朴地ノ價格ト云フモノハ公定價格ヨリ低クナリマス、ソレカラ耕地整理ノ結果、其ノ土地ニ附イテ居ル債務ヲ小作人トシテ引受ケナケレバナラヌヤウナ場合モアリマス、サウ云フ時ニハ買受ハガ其ノ土地ニ附イテ居ル負債ヲ引受ケマスカラ、負債ヲ現在ノ公定價格カラ差引イタモノト云フコトニナル譯デアリマス、尤モ用排水トカ其ノ他ノ恒常的ニ其ノ土地ニ掛ツテ來ル費用ハ勿論差引キマセヌガ、只今申シマシタヤウニ、一般ノ負債デ、小作人ガ買ツタ爲メ引受ケルト云フヤウナモノハ當然差引クコトニナルノデアリマス、併シ耕地整理費等ヲ控除シマス場合ハ、既ニ特別價格トシテ申請サレテ居ル場合ガ多イノデハナイカト思フノデアリマスガ、只今言ヒマシタヤウニ、現ニ一角一應サウ云フ場合ニ於テ土地ニ附イテ居ル債務ヲ小作人ガ引受ケネバナラスト云ツタ際ハ、公定價格ヨリモ低ク決マルコトニナル、小作料ガ非常ニ安イ場合ガアリマス、賃賃價格ハ普通ニ設定サレテハ居リマスガ、其ノ土地ノ小作料ガ類似ノ小作料ニ比べマシテ何等カノ意味デ特別ニ低ク決定サレテ居ツテ、且ツ將來ニ互ツテモ當然サウ云フ事情ガ續クダラウト云フ場合ニ於テハ、ヤハリ買收價格ヲ決定シマス時ニハ公定價格ヨリ低ク決メル方

マ

が妥當デアリマスノデ、サウ云フ場合ハ低ク決メル、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス、併シ此ノ公定價格ヨリモ農地ノ價格ガ低ク價ニ決メラレテモ、地主側トシテハ異議ノ申立モ出來マスルシ、又都道府縣ノ農地委員會ニハ訴願モ出來ルヤウニナツテ居リマスシ、買收價格其ノモノニ付テハ通常裁判所ニ出訴モ出來ル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス

○葉梨委員長 ソレカラ去ル九月十八日ノ藤本君及北君、兩委員ノ質問ニ對スル大藏大臣ノ答辯ノ中ニ斯様ナコトガアルノデアリマス、現在ノ通貨價值ヲ以テ國內ノ經濟界ニ波瀾ヲ起サヌ範圍ニ於テ物價價值ヲ決定スル、斯ウ云フ答辯ガアツタノデアリマスガ、之ニ農林大臣ハ關係トシテ御同意ナサル御意思ガアルカ

○和田國務大臣 ソレハドウ云フ意味デスカ、私能ク内容モ分リマセヌガ、現在ノ通貨價值ヲ攪亂シナイト云フコトハドウニデモ解釋出來ルノデアリマシテ……

○葉梨委員長 イヤ、現在ノ通貨價值ヲ以テ國內ノ經濟界ニ波瀾ヲ起サヌ範圍ニテ物價價值ヲ決定スベキモノト……

○和田國務大臣 ソレハ物價水準ヲ決メル、斯ウ云フ譯デアリマスカ、其ノ點ニ付キマシテハドウモ私個人トシテハ色々ノ意見ヲ物價水準ニ付テハ持つテ居ル譯デス

○葉梨委員長 農林大臣トシテノアナタノ御意見ヲ……

○和田國務大臣 ソレハ大藏大臣ノ大臣トシテノ意見デスカ
○葉梨委員長 大藏大臣トシテノ答辯デアツタ譯デアリマス
○和田國務大臣 ドウモ是ハ簡單ニ

ハ……私内容ヲ能ク理解モ出來マセヌカラ、ハツキリソレハ宜イト、斯ウ云フ譯ニハ私トシテハ參ラス、隨テドウ云フ意味カ、ハツキリ御答ヘ致シ兼ねルト思ヒマス、物價水準其ノモノニ付キマシテハ、私共モ相當ノ意見ヲ持つテ居リマスノデ、日本ノ物價水準ヲ何處ニ安定スルトカ云フコトニ付キマシテハ、關係トシテモサウ云フモノガ關議ニ掛ツテ決定サレタモノデナイノデアリマシテ、ソレハ大藏大臣自體ノ恐ラク御意見デアラウト思ヒマス、私トシテ其ノモノヲ直チニ同意意見ダト、斯ウ言フ譯ニハ一寸參ラナイノデアリマス

○葉梨委員長 ソレハ大藏大臣トシテ當委員會ニ出席サレテ、公ノ席ニ於テ答辯サレタ言葉デアリマス、仍テ是ハ大藏大臣ノ所謂個人ノ意見トシテ委員會ハ聽イタノデハナイノデアリマス、委員會ニ於テハ、大藏大臣ノ物價基準ノ決定ニ關スル意見トシテ之ヲ伺ツタノデアリマス

○和田國務大臣 私ハドウモ直ダニハ同意致シ兼ねマス、別ノ意見ヲ持つテ居リマス

○葉梨委員長 然ラバ農林大臣ハ同意致シ兼ねルト了解シテ宜シイカ

○和田國務大臣 別ノ意見ヲ持つテ居リマス

○葉梨委員長 其ノ別ノ意見ハ此處デ御發表願ヘマセスカ

○和田國務大臣 個人的ノ意見デアリマスカ……
○葉梨委員長 ソレハ伺ハナイト之ノ關係ヲ決定スルノ非常ニ不都合ニナルト思フノデアリマスガ、ソレハ伺ハシテ貰フ譯ニハ參リマセヌカ、只今デナクテモ宜シイガ……

○和田國務大臣 ドウ云フ關係ガアルノデスカ、物價水準ノ決定ニ對スル私ノ意見ガ假ニ大藏大臣ノ……
○葉梨委員長 農林大臣トシテ大藏大臣ノ意見ト違フコト云フコトニナリマスト、ソレハ伺ツテ置キタイ
○和田國務大臣 ソレハドウ云フ關係ニナルノデスカ

○葉梨委員長 ソレハ物價ノ基準ガ……此ノ農地ノ買上價格ノ決定ハ、所謂政府ノ説明ハ説明デアアルガ、現在ノ物價ノ基準ト云フモノニ依ツテ考フベキ必要ガアルト云フ論ガアル、ソコデ現在ノ物價ヲ非常ニ變動期ノ物價ト認メルカ、或ハ大藏大臣ノ言フヤウニ、現在ノ通貨價值ヲ以テ物價ヲ決定スル基準ニシテ行クノダト云フ意見ニナルト、是ハ相當考慮シナクテハナラヌコトニナルカラ、ソレデ之ヲ伺ツテ居ルノデス

○和田國務大臣 考慮スルコトニナルト云フコトハ、現在ノ公定價格トシテ決メラレテ居ルモノヲ考慮シナクテバナラヌ、斯ウ云フコトデスカ

○葉梨委員長 サウ云フコトデス、例ヘバ米價ノ決定モ變更サレルト云フコト、ソレハドウ云フ基準ニ依ツテ變更スルノカ、サウスルト物價ノ基準ヲ何處ニ置イテ變更スルノダト云フコトノ説明ガ自ラ行ハレル譯デス

○和田國務大臣 例ヘバ現在ノ米價ヲ變更スル時、變更ニ付テ物價水準ヲ決定スル爲ニソレハドウ云フ意味ヲ持つカ、斯ウ云フコトニ付テハ色々ノ意見ガアリ得ルト思ヒマスノデ、只今ノ大藏大臣ノ御意見ガ直チニ農地ノ委員會ハ、例ヘバ農地價格ニ付テノ内面的ナル關聯ト云フノハ一寸私ニハ吞込メナイノデアリマス

○葉梨委員長 私ハ是ガ必要デアルカラ伺ツテ居ルノデアリマス
○和田國務大臣 私ハ一寸其ノ點ハ……
○葉梨委員長 ソレハ大藏大臣ノ説明ト言ヒマスカ、意見ニハ農林大臣ハ同意致シ兼ねル……

○和田國務大臣 ト云フコトハドウ云フ意味ナノダカ、具體的ナ意味ガハツキリ分ラナイカラ、前後ノ關係ガ分ラナイカラ、ソレデケデ「イエス」「ノー」トハ言ヘナイノデス、ドウ云フ意味ナノカハツキリシマセヌ、是ハドウモ非常ニ無理ナコトダト思フ、例ヘバ大藏大臣ノ言葉ハドウ云フ意味デ御聽キニナツテドウ云フ内面的ナル關聯ガアルイカ……

○葉梨委員長 ソレデハ北君御説明願ヒマス

○北(政)委員 私ノ間ヒマシタ目、ハ、實ハ通貨價值ノ間ウタノダケレドモ、大藏大臣ハ通貨價值ノ安定ニ付テ申サレタ、議論シタトテ仕様ガナイト思ツテアノ程度デ置イタノデス、一體私ハ今相當「フインフレ」時代ダト考ヘル、ソコデ是ハ貿易再開ノ時ニ於ケル日本ノ通貨置ト非常ナル關係ヲ持つ譯デス、而モ是ハ長イコトナイ、コ、一、二年デ何トカ安定セセバナラヌ、而モ小作人ハ將來三十年ニ亘ツテ拂ハネバナラヌカラ、今眼ニ見エテ此ノ札ガ半分ニナルデハナイイカ、ダカラ私共ハ小作人ノ儲デヤツタモ、物價ガ今ノヤウニ上納制度ニシテモ、物價ガ今ノヤウニ上ツテ居ル時ニハ金納制度モ大變宜シイケレドモ、下ツタ時ニハ隣リノ土地マデ皆賣ラナケレバヤレヌノダカラ大變ナコトニナルト言ツテ、私が百億圓位出セト言ツタノモソコニ端ヲ發シテ居ル、實ニ重大ナル問題デス、買上價格ハ

今ノ金デアルノダカラ宜シイケレドモ、買フ人ハ、是デヤラレテハ大變ダ、今關ノ金ヲウント持つテ居ツテ、現金デ拂フ人ハ宜イカ知ラナイガ、サウデナイ、今ノ米價デ眞面目ニヤ、居ル者ハ金ハナイ、ドウシテモ年賦償還デ拂ハネバナラヌ、サウスルト拂フ時ニハ數倍拂ハネバナラヌ、決シテ今ノ小作料ヤソシナコトドコロデハナイ、此ノ間カラ小作料ノ高イ安イハ、五圓、十圓違フ違ハデハナイ、ソレデハ小作人迫出シニナルト云フノガ私ノ根本理念デアアル、アレヤツテハ大變ダ、今「フインフレ」紙幣ヲ何年續ケル積リダ、今大藏大臣ノ言ツタノハ、今ダケノ安定策ヲ言ウテ居ルノデ、三十年先ノコトニナツタラドウ云フコトニナルノダト云フコトハ答辯シナイ、農民ハトシテモナイ目ニ達フ、ダカラ私ハ是ハ重大ナル問題ダト思フ、其ノ點ニ付テハツキリ聽イデ置キタイ

○葉梨委員長 農林大臣ニ申上ゲマスガ、丁度其ノ日ハアナタハ缺席シテ居ラレタノデス、ダカラ或ハドナタカラカ御聽キニナツタカト思フノダガ、御聽キニナツテ居ラナカツタ、是ハ中々重要ナル問題デスカ、能ク御調べ下サツテ御返事下サツテモ結構デス

○和田國務大臣 通貨置ニ對スル質問ノヤウニ思フノデスカ、結局今ノヤウナ「フインフレ」ガ續イテ行クナラバ、是ハ農民ニ取ツテ非常ニ困ルヤウナ結果ニナルノダガト云フ御話デスカ

○北(政)委員 「フインフレ」ガ續イテ居ルノニ、「デフレ」ニシナイデヤレルカト云フ、其ノ御見込ヲハツキリシテ貰ヒタイ、「フインフレ」ノ紙幣ヲ「デフレ」ノ紙幣デハ拂ヘナイ……

○和田國務大臣 唯「フインフレ」ノ紙幣

ト「デフレ」ヲ紙幣ト云フコトダケデ議論ヲサレテハ困ルノデアリテ、「デフレ」ノ政策ノ下ニ於テモ、尙且ツ農民ガ自己ノ農業經營ノ收益ノ中カラ十分之ヲ拂ツテ、而モ後ノ農業經營ヲサツテ行ケルカドウカト云フコトニ私ハ歸著スルノデアラウト思フガ、勿論貨幣價值ノ變動ニ付テ見レバ、ソレハ「インフレ」ノ時ノ貨幣價值ハ、「デフレ」ノ時ノ貨幣價值トハ違ヒマセウケレドモ、三十年ノ間ニハ「インフレ」ノ時期モアラウ、或ハ「デフレ」ノ時期モアラウト思フノデアリマス、併シソレハ何時來ルカ分ラナイ、長イコトデアリマスカラ——ソコデ或ル程度ノ相殺ハ出來マス、ソレカラモウツ小作人ニ繰上償還ノ途ガ開カレテ居リマスガ故ニ、若シモ餘力ガアレバ早イコト「インフレ」ヲ除キ得ル途ガアル、其ノ點ニ付テハ左様ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ通貨量ノ問題ハ、私ハ量ダケデ問題ニサレルハ多少異論ガアリマス、通貨量ガナゼ殖エテ居ルカト云フト、ソコニ通貨ノ流通速度ノ問題ガアル、ソレカラアナタノ通貨量ノ問題ハ、是ハ日本ガ今ノ賠償デアリマストカ、色々其ノ問題ニ付テノ經濟機構ノ問題ト表裏致シテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ問題ヲ前提ニシマスレバ、只今言ツタヤウニ經濟界ニ變動ヲ與ヘナイヤウニスルト云フコト、斯ウ云フ事柄ニ付テハ調ベタ上デ御話ヲスルヨリ仕方ガナイノデアリマス

○葉梨委員長 結局農林大臣ガ當時大藏大臣ノ發言ノ時ニハ丁度出席シテ居ラレナカッタ、ソレハ今委員會ノ事務局當局カラ注意ヲ受ケテ、私モハツキリシタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、アナタノ仰シヤルコトモ、私ガ農

林大臣ニ御禮キシタイト思フコトモ、共ニ此ノ席デ只今答辯ヲ求メルト云フコトハ無理ノヤウデアリマスカラ、私ハ單ニ農林大臣トシテノ意見ト申シテモイケン、此ノ法案ハ内閣ノ法案デアリマス、内閣、所謂政府ノ之ニ對スル態度ヲ決メテ、サウシテ此ノ委員會ニ報告シテ戴ク、斯ウ云フコトニシテ農林大臣ガ大藏大臣ト能ク御協議ナサレテ、御答辯ヲ願フト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○北(政)委員 唯一言私農林大臣ニ申上ゲタイノデアリマス、今ノ御話ダガ、難カシイ議論ハ拔キニシテ、ザツクバランニ申上ゲル、昔米ガ石十三圓五十錢、ソレガ昭和八年御承知ノ通り十五、六圓 其ノ際ニ於テハ小作料ハ金納ニナリマスト大分高イモノニナル、是ハ火ヲ賭ルヨリ明カデアル、何ト言ツテモ今ノ金ハ金ノ裏付ケノナイ金デアアル、金ヲ引渡スト書イテナイ、金ノ裏付ケナシノ流通紙幣ヲ以テ外國ト貿易ガ出來ルカ、今ノヤウナ物々交換ナラソレデ宜シイガ、本當ニ貿易ヲヤラウト云フ時ノ爲替ハ、フラノノ爲替デハ取引ハ出來ナイ、私ハ外國貿易モヤツテ來テ居リマス、フラノノモノデハ出來ルモノデハナイ、サウスルト金ノ裏付ケヲシナイ以上ハ、日本ノ貿易ノ再開ハ絕對ニ出來ナイ、物々交換デ行クヨリ仕樣ガナイ、デアリマスカラ今ノ大多數ノ流通貨幣ノ儘デ行ケルモノデナイト云フコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カデアル、今ノ七十五圓ノ米ガ將來十五圓ニ下ツタラ、一體下レダケ持ツテ行ケバ宜イ、ソレト同ジコトダ

今ノ「インフレ」ノ借金ヲ拂フノニ、「デフレ」ノ正金デ拂フ、是ガ問題ナノダ、ソレダカラ小作人ガ買ハスト言フ

ノダ、此ノ事實ヲ知ツタラ誰モ買フ者ハナイ、恐ロシクテ買ヘナイ、實ニ恐ロシイ、是ハ小作人カラ自作人ヲ作ルノデハナイ、農村カラ皆追出ス、大變ナ問題ダカラ能ク御研究ヲ願ヒマス、答辯ハ要リマセヌ

○和田國務大臣 答辯ハ申上ゲマセヌガ、今ノ「デフレ」論ヲヤルト、意見ニナルト思ヒマス、殊ニ北君ノ意見ニ對シテハ、反駁シヨウトスレバ出來ルダケノ意見ヲ私持ツテ居リマスガ、併シ議論ハシテモ仕樣ガアリマセヌ、能ク私ノ方トシテモ事情ヲ聽キマシタ上デ相談ハ致シマス

○葉梨委員長 ドウゾ左様ノコトニ願ヒマス、本日ハ此ノ程度ニテ散會スルコトニ致シマシテ、明日ハ午前十時ヨリ續行致シマス
午後四時四十五分散會